

## 「暫定版」における注意事項

「生物多様性保全利用指針 OKINAWA」は、令和 3 年度までに「沖縄島編」、「八重山編」、「宮古・久米島編」、「沖縄島周辺離島編」の 4 編の作成を予定しており、現在、各編について順次情報収集、調査、解析を進めているところである。このたび一連の作業が完了した沖縄島編について、県民の皆さまにいち早くお届けするために【暫定版】を公開する。

暫定公開である理由は、本指針の中核である生物多様性の解析評価手法の特性上、各島毎の解析ではなく、本県全体での解析を行う必要があるためである。また、事業期間中に追加されたデータを加えることで、より解析精度を高めることが想定されている。このような事業デザインのため、今回の沖縄島編【暫定版】に掲載された情報は暫定的なものであり、今後八重山等の情報が加わることで最終版策定まで毎年更新される。なお、本県全体で解析を行っているため、本編で対象としない地域の解析結果等が図表に示されている場合がある。

本指針【暫定版】については、上記の事項についてご理解いただき、本県全体の解析が完了し、最終版（令和 3 年度末を予定）が策定されるまでは、引き続き「自然環境の保全に関する指針」（沖縄県 1998～2000）を参照いただきたい。

## 第4章

## 参考資料

### 1. 生物多様性保全利用指針検討委員会名簿（令和2年3月現在）

（50音順）

氏名（敬称略）	所属・役職	備考
久保田 康裕	琉球大学理学部 教授	
当山 昌直	沖縄国際大学南島文化研究所 特別研究員	
藤田 喜久	沖縄県立芸術大学全学教育センター 准教授	
宮城 邦治	沖縄国際大学 名誉教授	委員長
盛口 満	沖縄大学人文学部 教授	

### 2. 委員会における検討過程

平成28年11月28日	平成28年度第1回検討委員会開催
平成29年3月23日	平成28年度第2回検討委員会開催
平成29年11月22日	平成29年度第1回検討委員会開催
平成30年3月12日	平成29年度第2回検討委員会開催
平成30年7月3日	生物文化に関する第1回WG（ワーキンググループ）開催
平成30年7月19日	解析に関する第1回WG開催
平成30年10月1日	生物文化に関する第2回WG開催
平成30年10月4日	解析に関する第2回WG開催
平成30年12月18日	平成30年度第1回検討委員会開催
平成31年3月12日	平成30年度第2回検討委員会開催
令和元年7月31日	平成31年度第1回検討委員会開催
令和2年3月4日	平成31年度第2回検討委員会開催

### 3. 生物多様性保全利用指針に関するホームページについて

生物多様性保全利用指針の内容については、下記ホームページにて公表している。ホームページ上では、本指針以外にも、本指針の普及を目的に本県に生息する生物の画像や自然環境に関する映像等の掲載を行っている。

オキナワイキモノラボ <<http://www.biodiversity.okinawa/>>

English

はじめに

生物多様性  
保全利用指針  
OKINAWA

映像で見る  
沖縄の生き物

オキナワイキモノ ラボへようこそ！  
このサイトでは生物多様性の宝庫である  
沖縄の自然環境についてご紹介します

TOP

当サイトをご閲覧いただき誠にありがとうございます。

2020/01/17  
「映像で見る沖縄の生き物」ダイトウオオコウモリ・ツダリノフシ・ニライカノイゴウノ・ミノミキヌタ  
アゲマキのページを追加しました。

2019/11/19  
「映像で見る沖縄の生き物」ギャラリー」に西表島の自然－崎山湾・網取湾の動画を追加しました。

2019/10/04  
「沖縄の干潟と海草藻場の貝類展」を開催しました！

2019/09/30  
「生物多様性おきなわブランド発信事業シンポジウム」を開催しました。

過去のニュース一覧へ

アンケートにご協力下さい！

●お問い合わせ ●生物多様性保全利用指針OKINAWA ●利用規約（振計データ） ●利用規約（映像データ） お問い合わせ  
TEL: 098-866-2243  
MAIL: [info@biodiversity.okinawa](mailto:info@biodiversity.okinawa)

## 4. 用語集

本指針に関連する用語を以下に解説した。かっこ内は用語が使われている章を示す。

なお、作成にあたっては、書籍、論文、報告書、官公庁のウェブサイト（沖縄県、環境省、国土地理院等）、環境用語に詳しいウェブサイト（EIC ネット）、各種団体のウェブサイト等を参考にした。これらの情報源は5. 参考文献に掲載した。各説明文末尾の<sup>[数字]</sup>は参考文献番号を示す。

### あ行

#### アンブレラ種（第2章-1）

地域の食物連鎖のピラミッドの最高位に位置する消費者のこと。アンブレラ種を保全することで、その生息に必要な他の種も保全することができる。例として、西表島におけるイリオモテヤマネコなど。<sup>[1]</sup>

#### 維管束植物（第2章-1）

維管束と呼ばれる通道組織を有する植物の総称。被子植物、裸子植物、シダ植物が含まれ、コケ植物などは含まれない。<sup>[1]</sup>

#### インフォーマント（第2章-2）

研究対象となる社会、文化の一員であり、調査者が知りたい事柄に精通し、概念、言語、世界観、具体的事例などに関して口述で詳細な表現ができる情報提供者のこと。本指針作成にあたっては、生物文化の聞き取り対象として、地域に長年住み、生物の方言や活用法に詳しい年配の方を主なインフォーマントとした。<sup>[2]</sup>

#### インベントリー調査（第2章-1）

インベントリーとは生物学においては、地域に分布する動植物の種の目録や分布図などのこと。このような目録を作成するための調査がインベントリー調査であり、目視や採捕等によって生物の存在を確認し、文献資料と比較して特定の種であることを同定した上で出現種の一覧を作成する。<sup>[1]</sup>

#### エントロピー最大化法（第2章-1）

必要な全ての情報が揃っていない場合に、観測や測定などで値が確定している部分を拘束条件として、全ての情報を統計学的に推定する際の手法のひとつ。すでに得ている制限条件を満たしつつ得ていない情報は最も確率が高いと考えられる推定値を選ぶ。本指針作成にあたっては、生物調査等による生息データから生息域を推定する際に使われている。<sup>[3]</sup>

#### 沖縄21世紀ビジョン（第1章）

平成22年に策定された県政の基本構想のこと。県民の参画と協働のもとに、将来（概ね2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにした。自然環境保全に関しては、めざすべき将来像のひとつとして「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島」があり、「沖縄グリーン・イニシアティブ」として自然環境の持続的な利活用の推進が示されている。<sup>[4]</sup>

### 沖縄県環境管理計画（第 1 章）

沖縄県における環境問題と、それを解決するための総合的な施策が示された計画のこと。平成 5 年に策定された。本指針の前身である「自然環境の保全に関する指針」は、同計画における自然環境を保全する施策のひとつと位置づけられている。<sup>[5]</sup>

### 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）（第 1 章、第 2 章 - 4,5）

沖縄県内を対象とした、絶滅のおそれのある動植物種の生育・生息状況等を明らかにした資料のこと。環境省や国際自然保護連合（IUCN）が作成した継続的な調査研究データを参考に、地域性の視点から独自の規準を交えて作成している。1996 年に初版、2005～2006 年に改訂第 2 版、2017～2018 年に改訂第 3 版が公表された。第 3 版では動物 991 種、植物 938 種、菌類 85 種が掲載されており、危機の状況や情報量によって 8 つのカテゴリーに分類されている。<sup>[6]</sup>

## か行

### 海域区分（第 1 章、第 2 章 - 1、第 2 章 - 5、第 3 章）

海域を何らかの目的、条件によって区切ったそれぞれのこと。本指針においては、前指針である「自然環境の保全に関する指針」における海域区分及びサンゴ礁資源情報整備事業（沖縄県環境生活部自然保護課、平成 21～23 年度）における海域区分を参考に、一部修正を加えたものを環境カルテ（海域）の作成単位とした。サンゴ礁自然情報整備事業における海域区分は、岬、水路、礁原（礁嶺）などの地形が半閉鎖的な系を形成していることに注目し、それらを一つの生態学的な単位として捉えたものであり、陸域の流域に相当する。本指針の海域区分も基本的に同様の考え方に基づいて設定した。<sup>[7]</sup>

### 外来種（第 2 章 - 1）

何らかの人の活動によって、本来の生息地域の外にもたらされた生物種のこと。本来生息していた生きもの（在来種）にとって脅威となる場合は侵略的外来種と呼ばれる。沖縄県における侵略的外来種として、ネズミやハブの駆除を目的として導入されたマングース（ファイリマンングース）が有名である。一方で、米（イネ）や多くの野菜、家畜なども元をたどれば外来種であり、社会的、文化的に定着している場合も多い。<sup>[8]</sup>

### 河床勾配（第 2 章 - 4）

川の流れる方向の川底の傾きのこと。山間部では急になり、平野部では穏やかになる。<sup>[9]</sup>

### 国内希少野生動植物種（第 3 章）

国内に生息・生育する絶滅危惧種のうち、特に人為的な影響で数が減っており、種の保存法で指定された種のこと。平成 31 年 2 月現在、293 種が指定されている。沖縄県に生息する種では、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ、イボイモリ、ヤンバルテナガコガネ、ヒメタニワタリなどが指定されている。<sup>[10]</sup>

### 固有種（第 1 章、第 2 章 - 1）

分布が特定の地域に限定される種や亜種のこと。この場合、特定の地域には、国レベル、都道府県レベル、地域レベルなどさまざまなとらえ方がある。たとえば、ヤンバルクイナは、日本の固有種であるだけでなく、沖縄県沖縄島、やんばる地域の固有種である。<sup>[11]</sup>

## さ行

### 在来種（第 2 章 - 1）

本来の地域に自然分布していた種のこと。<sup>[12]</sup>

### **サロゲート（第 2 章 - 1）**

ある地域の生物多様性を代替的に表す指標のこと。生態系の基盤分類群、分布情報が豊富な生物分類群、保全上重要な分類群が一般的に用いられる。本指針においては、陸域の 10 分類群、海域の 6 分類群をサロゲートとした。<sup>[13]</sup>

### **ジオコーディング（第 2 章 - 1）**

住所や場所の名前といった位置を表す情報を、緯度経度情報に変換する処理のこと。この処理を行うことで、GIS（地理情報システム）上で位置の検索や分析等が可能になる。<sup>[14]</sup>

### **シノニム（第 2 章 - 1）**

同じ種に付けられた複数の学名（標準学名）のこと。シノニムのうち、最も古い学名が有効だという原則がある（先取権）。ある種について有効な学名は 1 つだけなのにも関わらずシノニムが生まれる過程としては、すでに新種記載されているのを知らずに改めて記載してしまった場合や、分類体系の見直しで属名が変更された場合などがある。

### **象徴種（第 2 章 - 1）**

特徴的な容姿や馴染み深さなどから、地域の象徴となって人々の環境保全・保護の関心を高めることが期待される種のこと。

### **生態系サービス（第 1 章）**

人々が生態系から得られる恵みのこと。2000 年代初めに UNEP（国連環境計画）が行った「ミレニアム生態系評価」では、供給サービス（食料や水、原材料など）、調整サービス（自然災害の緩和、水質浄化など）、文化的サービス（レクリエーションや観光など）、基盤サービス（土壌、酸素、栄養分など）の 4 つに分類される。<sup>[15]</sup>

### **生物多様性（第 1 章）**

生物が長い歴史の中で獲得した、様々な姿形や生活様式といった生物間の違いのこと。遺伝的多様性、種の多様性、生態系の多様性という 3 つのレベルで捉えられる。遺伝的多様性とは、種が同じでも持っている遺伝子がことなることを指す。種の多様性とは、様々な生物種が存在する状態を指す。生態系の多様性は、様々な生物の相互作用から構成される様々な生態系が存在することを指す。<sup>[1]</sup>

### **生物多様性おきなわ戦略（第 1 章）**

平成 25 年に策定された、沖縄の生物多様性の保全と持続可能な利用を図るための基本計画のこと。戦略では目標達成に向けた 5 つの基本施策（1.生物多様性の損失を止める、2.生物多様性を保全・維持し、回復する、3.自然からの恵みを賢明に利用する、4.生物多様性に対する認識を向上させる、5.生物多様性の保全に関する取組に県民参加を促す）を展開していくこととなっており、そのための行動計画、推進体制が示されている。<sup>[16]</sup>

### **生物多様性条約（第 1 章、第 2 章 - 1）**

生物多様性の保全と持続可能な利用、遺伝資源による利益の公正な配分を目的とした条約のこと。1992 年にブラジルのリオで開催された国連環境開発会議（地球サミット）において署名が開始され、1993 年に発効した。生物多様性の保全だけでなく、持続的な利用を明記していることが特徴である。2018 年現在、194 カ国が締結しており、日本は 1993 年に締結している。<sup>[17]</sup>

### 生物多様性条約第 10 回締約国会議（CBD-COP10）（第 1 章）

生物多様性条約の 10 回目となる国際会議のこと。2010 年 10 月に名古屋市で開催され、2020 年を目標とした「愛知目標」を含む新戦略計画 2011－2020 が採択された。愛知目標は 20 項目からなり、数値目標を含む具体的なものである。例えば「少なくとも陸域 17%、海域 10% が保護地域などにより保全される」という目標があり、日本を含む各国の国家戦略に影響を与えている。<sup>[17]</sup>

### 生物文化（第 2 章－2）

動植物とつながった文化のこと。地域毎に動植物に付けられた方言名や、動植物の利活用方法などが含まれる。本指針では、生物多様性と文化多様性のつながりとして生物文化を位置づけ、県内各地の生物文化について文献調査及び聞き取り調査を実施し、環境カルテに記載した。生物文化多様性につながる概念だが、本指針の生物文化は個別の生物の方言名と利用に注目している、特に野生生物に関連するものを重視して抽出しているなどの独自性がある。

### 生物文化多様性（第 2 章－2）

自然と人間（文化）が互いを活かしながら存在する相互作用関係に注目し、それを一体的に保全しようとする分野横断的な考え方のこと。ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）と生物多様性条約事務局によって生物多様性と文化多様性をつなぐ共同プログラムが発足し、生物多様性条約締結国第 10 回会議（CBD-COP10）で正式に位置づけられている。<sup>[18]</sup>

### 絶滅危惧種（第 1 章、第 2 章－1）

様々な要因により個体数が減少し、絶滅のおそれがある種や亜種のこと。沖縄県内の絶滅危惧種は、「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生動物（レッドデータおきなわ）」にまとめられている。<sup>[6]</sup>

### 全天日射量（第 2 章－1）

天空の全方向からの太陽放射（全天日射）を、水平面で受けた単位面積あたりの全天日射エネルギー量のこと。<sup>[19]</sup>

## た行

### 天然記念物（第 3 章）

学術上貴重で、わが国の自然を記念するものとして国や自治体に指定された動物、植物、地質・鉱物、それらに富む天然保護区域などのこと。平成 30 年現在、沖縄県内には国指定が 65 件、県指定が 52 件、市町村指定が 123 件ある。例として、カンムリワシ（国指定特別天然記念物）、クロイトカゲモドキ（県指定天然記念物）、大浦のマングローブ林（名護市指定天然記念物）などがある。<sup>[20]</sup>

## は行

### ハビタット（第 2 章－1）

ある生物の種が生息・生育する環境のこと。地形などの物理的な側面と、大きな木の陰などの生物的な側面によって特徴づけられる。

### ビッグデータ（第 1 章）

これまでの単一データベースシステムで管理可能なデータではなく、様々な種類、形式が含まれた大量のデータのこと。情報通信技術（ICT）の進展により、このようなデータの生成・収集・蓄積等が容易に可能になってきており、自然環境保全においてもその活用事例が増えつつある。<sup>[21]</sup>

### 標準学名（第 2 章 - 1）

ラテン語で表した正式な生物の種名のこと。

### 保全利用協定（沖縄県）（第 2 章 - 3）

エコツアーに関わる事業者が、利用する自然環境の保全と持続的な利用を目的として、自主的に策定する自主ルールのこと。その内容が適切なものであれば、沖縄県知事がこれを適当なものとして認定することができる。平成 30 年現在、8 地区の協定が認定を受けており、主な協定項目は自然環境への配慮、安全管理、地域への配慮である。<sup>[22]</sup>

## ま行

### マングローブ（第 2 章 - 1）

熱帯、亜熱帯の汽水域の河口部などに生育する植物群の総称。マングローブを構成する植物種は、高塩分に対処する仕組みを持ち、湿地に適応した特徴的な根や種子を持つ。沖縄県内にはメヒルギ、オヒルギなど 7 種のマングローブ植物が生育する。<sup>[11]</sup>

### モニタリングサイト 1000（第 3 章）

環境省生物多様性センターが実施している生態系の長期的なモニタリングのこと。日本全国の 1000 ヶ所程度での長期モニタリングによって、生態系や自然環境の変化、生物種の減少等の問題を早期に把握することを目的としている。「森林・草原」「里地」「沿岸・浅海域」など生態系ごとにサイトが設置されており、サンゴ礁のモニタリングも行われている。本指針の環境カルテ（海域）に掲載した写真の一部は、モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査で得られたものである。<sup>[23]</sup>

## ら行

### ラプラシアン（第 2 章 - 1）

地形面の凹凸を表す指標として用いられる値。

### レッドリスト（第 2 章 - 1,5）

専門家の検討により選定された、絶滅の恐れがある野生生物の種のリストのこと。国際的には国際自然保護連合（IUCN）が作成しており、国内では環境省、水産庁のほか、地方公共団体や NPO などが作成している。<sup>[24]</sup>

## わ行

### 和名（第 2 章 - 1）

生物につけられた日本名のこと。各地域で使っている地方名と日本全国で共通な標準和名がある。例えば、同じ魚について、ハマサキノオクサンは八重山地域での地方名であり、トガリエビスは標準和名である。<sup>[25]</sup>

## 英数字

### Bioclim（第 2 章 - 1）

生物の分布生息にとって重要と考えられる気候変数のこと。種分布モデルなどの生態学的モデルで使用されることが多い。毎月の気温と降水量を元に算出される 19 の変数がある。<sup>[26]</sup>

### Darwin core（第 2 章 - 1）

生物標本や観察結果など、生物多様性の情報を記録、共有するために用いられる国際的な形式のこと。Biodiversity Information Standards (TDWG)によって提案されている。<sup>[27]</sup>



### GIS (第 1 章)

Geographic Information System (地理情報システム) の略。地理的情報 (例 : GPS 受信機で取得した位置情報) を持ったデータを管理・加工したり、地図上に分かりやすく表示したり、高度な分析を行ったりできる。身近な例として、スマートフォンのナビゲーション機能も GIS の活用例である。本指針作成にあたっては、生物多様性の解析や環境カルテの作成に活用されている。<sup>[28]</sup>

### SPSS (第 2 章 - 4)

Content of Suspended Particles in Sea Sediment の略で、海底の底質に含まれる懸濁物質含量のこと。1970 年代の開発工事等によって沖縄の海には大量の赤土が流れこみ、沿岸海域の環境に大きな悪影響を与えた。SPSS 法はこのような赤土汚染の状況をモニタリングするために、1980 年代に沖縄県衛生環境研究所によって開発された。特別な器具や高度な分析を要しない簡便な手法であること、サンゴの健全な生息等の指標として使用できることなどから、県内沿岸域の環境調査において広範に用いられている。<sup>[29]</sup>

### 3 次メッシュ (第 1 章、第 2 章 - 1)

日本全国を緯度経度でメッシュ (網目状) に区画したものを標準地域メッシュと呼び、各種統計の集計単位などとして活用されている。1 次メッシュ、2 次メッシュ、3 次メッシュの 3 段階に分けられる。3 次メッシュは 2 次メッシュ (およそ 10km×10km) を縦横に 10 等分したものであり、距離にしておよそ 1km×1km。ただし、各メッシュの東西方向の長さは緯度によって異なり、北海道と比較して沖縄では約 1.3 倍の長さである。本指針では、環境カルテ (陸域) を 3 次メッシュ単位で作成しており、生物多様性の情報等、多くのデータを 3 次メッシュ単位で整理している。<sup>[30]</sup>

## 5. 参考文献

本指針での生物多様性の解析、生物文化の抽出等に関して情報源とした文献、データベース、ウェブサイト等を以下に示す。

### (1) 生物多様性解析に関する引用文献

第2章-1及び第2章-5で解析手法を示した生物多様性解析について、引用文献を以下に示す。

1. 久保田康裕, 楠本聞太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之. 2017. 生物多様性の保全科学:システム化保全計画の概念と手法の概要. 日本生態学会誌 67: 267-286.
2. 米倉浩司, 梶田忠. 2003. BG Plants 和名-学名インデックス (YList), <<http://ylist.info>>
3. 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 東京.
4. 日本爬虫両棲類学会. 2015. 日本産爬虫両生類標準和名.  
<<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html>>
5. 中坊徹次 (編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
6. 西平守孝, Veron J. 1995. 日本の造礁サンゴ類. 海游舎, 東京.
7. 国土交通省. 2007. 国土交通省河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)  
<<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/>>
8. JODC. 2013. <[http://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/JODC\\_J-DOSS](http://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/JODC_J-DOSS)>
9. Wieczorek J., Bloom D., Guralnick FR., Blum S., Doring M., Giovanni R. Tim Robertson, David Vieglais 2012. Darwin Core: An Evolving Community-Developed Biodiversity Data Standard. PLoS ONE 7: e29715. doi:10.1371/journal.pone.0029715
10. 初島住彦, 天野鉄夫. 1994. 琉球植物目録. 沖縄生物学会.
11. 島袋敬一. 1997. 琉球列島維管束植物集覧. 九州大学出版会.
12. 阿部永, 石井信夫, 金子之史, 前出喜四雄, 三浦慎悟, 米田政明. 2005. 日本の哺乳類 (改訂版). 東海大学出版会, 東京.
13. 前之園唯史, 戸田守. 2007. 琉球列島における両生爬虫類の分布. Akamata 18: 28-46.
14. 吉郷英範, Motomura H., Dewa S., Furuta K., Matsuura K. 2014. 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuana 9: 1-153.
15. Hirao T., Kubota Y., Murakami M. 2015. Geographical patterns of butterfly species

- diversity in the subtropical Ryukyu Islands: the importance of a unidirectional filter between two source islands. *Journal of Biogeography* 42: 1418-1430.
16. McWhirter, D. W., 池長裕史, 五百沢日丸. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄県産鳥類目録. *沖縄県立博物館紀要* 22: 33-152.
  17. 沖縄野鳥研究会. 2002. 沖縄の野鳥. 新報出版, 那覇.
  18. Moilanen A. 2007. Landscape Zonation, benefit functions and target-based planning: Unifying reserve selection strategies. *Biological Conservation* 134: 571-579.
  19. Lehtomäki J. & Moilanen A. 2013. Methods and workflow for spatial conservation prioritization using Zonation. *Environmental Modelling & Software*, 47: 128-137.
  20. Lehtomäki J., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T., Kubota Y., Moilanen A. 2018. Spatial conservation prioritization for the East Asian islands: A balanced representation of multitaxon biogeography in a protected area network. *Diversity and Distributions*.
  21. Kubota Y., Hirao T., Fujii S., Shiono T., Kusumoto B. 2014. Beta diversity of woody plants in the Japanese archipelago: the roles of geohistorical and ecological processes. *Journal of Biogeography* 41: 1267-1276.
  22. Kubota Y., Shiono T., Kusumoto B. 2015. Role of climate and geohistorical factors in driving plant richness patterns and endemism on the east Asian continental islands. *Ecography* 38: 639-648.
  23. Kubota Y., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T. 2017. Phylogenetic properties of Tertiary relict flora in the East Asian continental islands: imprint of climatic niche conservatism and in situ diversification. *Ecography* 40: 436-447.
  24. Kusumoto B., Shiono T., Konoshima M., Yoshimoto A., Tanaka T., Kubota Y. 2017. How well are biodiversity drivers reflected in protected areas? A representativeness assessment of the geohistorical gradients that shaped endemic flora in Japan. *Ecological Research* 32: 299-311.
  24. Ladle, R.J. & Whittaker, R.J. 2011. *Conservation Biogeography*. John Wiley & Sons, Ltd., Publication, Oxford.
  25. Hortal J., de Bello F., Diniz-Filho J.A.F., Lewinsohn T.M., Lobo J.M., Ladle R.J. 2015. Seven shortfalls that beset large-Scale knowledge of biodiversity. *Annual Review of Ecology, Evolution, and Systematics* 46:523-549.
  26. Millien-Parra, V. & Jaeger, J.J. 1999. Island biogeography of the Japanese terrestrial mammal assemblages: an example of a relict fauna. *Journal of Biogeography*, 26, 959-

972.

27. Mittermeier, R.A., Turner, W.R., Larsen, F.W., Brooks, T.M. & Gascon, C. 2011. Global biodiversity conservation: the critical role of hotspots. Biodiversity hotspots (ed. by F.E. Zachos & J.C. Habel). 3–22. Springer Berlin Heidelberg.
28. 久保田康裕, 楠本聞太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之, 鈴木亮, 福島新, 小澤宏之, 宮良工. 2019. 生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する: 沖縄県の生物多様性保全利用指針 OKINAWA 作成の事例. 日本生態学会誌 69: 239-250.

(2) 生物分布情報に関する参考文献等

第2章－1で解析手法を示した生物分類群の空間分布情報について、情報源を表4－5－1に示す。

表 4-5-1 (1). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
(株)沖縄環境保全研究所. 2014. 石垣新川(河川)漁場環境調査業務報告書. 資料編2: 1-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318	76	328	13	0	0	0
Global Biodiversity Information Facility	0	0	1,049	679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0
2015. 一人一枚写真発表. 九州両生爬虫類研究会誌. 6: 54-59	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境省・モニタリングサイト1000プロジェクト	0	6,164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西表島生態系保護地域見直し調査	0	0	0	0	379	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2011. 平成22年度沖縄島北部地域におけるウミカメ類の生息実態調査業務報告書: 59-69	0	0	0	30	0	410	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012. 平成23年度やんばる地域の亜熱帯照葉樹林における林道バトロール検討業務報告書: 62-69	74	188	361	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013. 平成24年度やんばる地域における住民参加型の希少種等密猟・盗掘防止検討業務報告書: 17-28	28	756	609	112	0	0	0	0	28	7	0	0	0	7	0	0	0
2012. 平成24年度夏期におけるやんばる地域の林道バトロール等業務報告書: 17-60	210	826	3,227	553	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	0	0
2014. 平成25年度やんばる地域における希少種等密猟・盗掘防止のための林道バトロール業務報告書: 28-143	133	2,107	1,918	595	0	7	7	0	14	28	0	0	0	77	0	0	0
2016. 平成27年度やんばる地域における希少種等密猟・盗掘防止のための林道バトロール業務報告書: 29-206	180	3,303	1,782	729	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017. 平成28年度西表島湖サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 52-57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	0	232	0	0
名和文献干貝類データ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2,728	0	0	0	0	0
Akiho, Katsusuke Meguro. 2000. Review of the gobiid genus <i>Cristatogobius</i> found in Japan with description of a new species. Ichthyological Research. 47(3): 249-261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
Arie Y, Fujimoto T, Kouzuma T, Kobayashi M. 3. 底生生物・魚類調査. Bulletin of Fukuoka Fisheries and Marine Technology Research Center: (3-1)-(3-5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0
Ayako Shoji, Jun Yokoyama, Masakado Kawata. 2007. Molecular phylogeny and genetic divergence of the introduced populations of Japanese guppies, <i>Poecilia reticulata</i> . Conservation Genetics. 8: 261-271	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Douglas F. Hoese, Gerald R. Allen. 2011. A review of the amphidromous species of the <i>Glossogobius celebius</i> complex, with description of three new species. Cybium. 35(4): 269-284	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Fabienn Ziadi-Kunzuli and K. Tachihara. 2016. Female defence polygyny and plasticity in the mating system of the demersal triggerfish <i>Rhinecanthus aculeatus</i> (Pisces:Balistidae) from Okinawa Island. Marine Biology. 163: 27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Fabienne Kunzli, Katsunori Tachihara. 2012. Validation of age and growth of Picasso Triggerfish (Balistidae: <i>Rhinecanthus aculeatus</i> ) from Okinawa Island, Japan, using sectioned vertebrae and dorsal spines. Journal of Oceanography. 68: 817-829	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Fautin, Daphne G. 2013. Hexacoralians of the World	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0
Hajime Matsubara, Yuki Kubara, Hiroka Yoshikawa, Daisuke Iwata, Masaharu Shimizu, Yoshifumi Horie, Takuto Imai, Yuta Fukuoka, Ken-ichi Watanabe, Hidemasa Shione. 2013. Gonadal histology of wild giant mottled eel <i>Anguilla marmorata</i> in Okinawa, Japan. Biogeography. 15: 55-62	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Harumi SAKAI, Mitsuaki SATO. 1982. First Records of Five Teleostean Fishes and Three Second Records of Gobiid Fishes from Japan. Collected in Rivers on the Ryukyu Islands. 北海道大学水産学部研究報. 33(2): 79-88	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
HIDETOSHI OTA. 2003. A New Subspecies of the Agamid Lizard, <i>Japalura polygonata</i> (Hallowell, 1861) (Reptilia: Squamata), from Yonagunijima Island of the Yaeyama Group, Ryukyu Archipelago. Current Herpetology. 22(2): 61-71	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HIDETOSHI OTA. 1990. The Tree Gecko, <i>Hemiphyllodactylus typus typus</i> (Lacertilia: Gekkonidae): an Addition to the Herpetofauna of Japan. Japanese Journal of Herpetology. 13(3): 87-90	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Hiroshi Senou, Tetsuo Yoshino, Munee Okiyama. 1987. A Review of the Mulletes with a Keel on the Back, <i>Liza carinata</i> Complex (Pisces: Mugilidae). PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY. 32(4-6): 303-321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
I-Shiung Chen, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou. 2008. A NEW SPECIES OF GOBIID FISH, <i>LUCIOGOBIUS</i> FROM RYUKYUS, JAPAN (TELEOSTEI: GOBIIDAE). 16(4): 250-254	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Imai, H., Kashiwagi, F., Cheng, J. H., Chen, T. I., Tachihara, K., & Yoshino, T. 2009. Genetic and morphological evidence of hybridization between <i>Nematolosa japonica</i> and <i>N. come</i> (Clupeiformes: Clupeidae) off Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, Japan. Fisheries Science. 75: 343-350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
Ishikawa, T., T. Shimose and K. Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of Nile tilapia ( <i>Oreochromis niloticus</i> ) and geographical variation across its native and non-native ranges. Environmental Biology of Fishes. 96: 603-601	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kanak, M.K. and K. Tachihara. 2008. Reproductive biology of common silver biddy <i>Gerres oyena</i> in Okinawa Island of southern Japan. Fisheries Science. 74: 265-275	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
Katsunori TACHIHARA, Emi OBARA. 2003. 沖縄島源河川におけるカワスズメの年齢と成長. SUISANZOSHOKU. 51(3): 307-313	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Katsunori TACHIHARA, Emi OBARA. 2003. 直達発生型魚類カワスズメの卵内発生と稚魚への形態変化の過程. SUISANZOSHOKU. 51(3): 295-306	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Katsutoshi Watanabe, Keiichiroh Iguchi, Kazumi Hosoya, Mutsumi Nishida. 2000. Ichthyological Research. 47(1): 43-50	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kawakami, T. and K. Tachihara. 2011. Dispersal of land-locked larval Ryukyu-ayu, <i>Plecoglossus altivelis ryukyensis</i> , in the Fukuji Reservoir, Okinawa Island. Cybium. 35: 337-343	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2010. Diel and Seasonal Occurrence Patterns of Drifting Fish Larvae in the Teima Stream, Okinawa Island. Pacific Science. 64(2): 161-176	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2004. Instream distributions and feeding habits of two species of sleeper, <i>Eleotris acanthopoma</i> and <i>Eleotris fusca</i> , in the Teima River, Okinawa Island. Ichthyological Research. 51: 233-240	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2005. Recruitment of amphidromous sleepers <i>Eleotris acanthopoma</i> , <i>Eleotris melanosoma</i> , and <i>Eleotris fusca</i> into the Teima River, Okinawa Island. Ichthyological Research. 52: 325-335	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., K. Tsuzaki, N. Hayashida and K. Tachihara. 2014. First records of two rare snappers, <i>Lutjanus madras</i> and <i>L. dodecacthoides</i> , from Okinawan waters. Fauna Ryukyuna. ISSN2187-6657: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Fukagawa, T. Ishihara and K. Tachihara. 2013. Reproductive biology of nocturnal reef fish <i>Pempheris adusta</i> (Pempheiridae) in Okinawa Island, Japan. Galaxea, Journal of Coral Reef Studies: 221-228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Yoshino and K. Tachihara. 2013. <i>Pempheris ufuagari</i> sp. nov., a new species in the genus <i>Pempheris</i> (Perciformes, Pempheridae) from the oceanic islands of Japan. Zootaxa. 3609: 231-238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Yoshino, H. Imai and K. Tachihara. 2010. Description of new Japanese and northernmost records of a pempherid fish, <i>Pempheris vanicolensis</i> , from Iriomote Island, southern Ryukyu Archipelago. Biogeography. 12: 77-82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Koeda, Keita, Taiki Ishihara, Takanobu Fukagawa and Katsunori Tachihara. 2016. Life cycle differences between two species of genus <i>Pempheris</i> based on age determination around Okinawa-jima Island. Ichthyological Research. 63: 519-528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Gerald R. Allen. 2007. Review of the cheek-spine goby genus <i>Gladiogobius</i> , (Actinopterygii, Perciformes, Gobiidae), with descriptions of two new species from the Indo-West Pacific. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology., 33(4): 193-206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou, Korechika Yano. 2005. Records of Three Shrimp-goby Species (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) from the Ryukyu Archipelago, Japan. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology., 31(4): 191-204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Suzuki. 2005. Two New Species of the Gobiid Fish Genus <i>Eviota</i> (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) from the Western Pacific. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology., 31(2): 65-76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Yasuhiko Taki. 1996. A new gobiid fish, <i>Acanthogobius insularis</i> , from the Ryukyu Islands, Japan. Ichthyological Research. 43: 79-85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
Kondo, M., K. Maeda, N. Yamasaki and K. Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyensis</i> (Gobiidae). Environmental Biology of Fishes. 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (2). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
KOJICHI KAWAMURA, RYUJI YONEKURA, YUIKO OZAKI, OSAMU KATANO, YOSHINORI TANIGUCHI, KENJI SAITOH. 2010. The role of propagule pressure in the invasion success of bluegill sunfish, <i>Lepomis macrochirus</i> , in Japan. <i>Molecular Ecology</i> . 19: 5371-5388	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kusuto NANJO, Hiroyoshi KOHNO, Mitsuhiro SANO. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. <i>Fisheries Science</i> . 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0	
M Takada, K Tachihara. 2009. Comparisons of age, growth, and maturity between male and female, and diploid and triploid individuals in <i>Carassius auratus</i> from Okinawa-jima Island, Japan. <i>Aquatic Conservation: Marine and Freshwater Ecosystems</i> . 19: 806-814	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Maeda, K and K Tachihara. 2014. Larval fish fauna of a sandy beach and an estuary on Okinawa Island, focusing on larval habitat utilization by the suborder Gobioidae. <i>Fisheries Science</i> . 80: 1215-1229	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	
Maeshiro, R., Kusumoto, B., Fujii, S., Shiono, T., & Kubota, Y. 2013. Using tree functional diversity to evaluate management impacts in a subtropical forest. <i>Ecosphere</i> . 4(6): 1-7	0	0	0	0	0	1,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masafumi MATSUI, Takaji MATSUI. 1982. <i>Hyla hallowellii</i> Recorded from Iriomotejima, Yaeyama group, Ryukyu Archipelago. 爬虫両棲類学雑誌. 9(3): 79-86	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masaru Matsuda, Hiromichi Yonekawa, Satoshi Hamaguchi. 1997. Geographic Variation and Diversity in the Mitochondrial DNA of the Medaka, <i>Oryzias latipes</i> , as Determined by Restriction Endonuclease Analysis. <i>ZOOLOGICAL SCIENCE</i> . 14: 517-526	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masashi Kondo, Ken Maeda, Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyensis</i> (Gobiidae). <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masatsune TAKEDA, Sadayoshi MIYAKE. 1968. Six unrecorded xanthid crabs from the Ryukyu Islands preserved in the Zoological Laboratory, Kyushu University. <i>沖縄生物学会誌</i> . 5(7): 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	
Masatsune TAKEDA. 1972. Further Notes on the Unrecorded Xanthid Crabs from the Ryukyu Islands. <i>沖縄生物学会誌</i> . 9(11): 15-24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
Masaya Katoh. 1996. Seasonal variation in gonadal activity of females among four species of freshwater gobies in the <i>Rhinogobius brunneus</i> species complex in Okinawa, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 43(2): 169-174	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Md. Sirajul Islam, Shigemitsu Shokita, Takashi Nagai, Tohru Naruse, Akifumi YOGI, Tetsu OSHIRO. 2002. 沖縄島渡瀬湖波川のマンガロープ域における大型底生生物の分布と出現量. <i>沖縄生物学会誌</i> . (40): 15-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	33	0	0	
Mitsuaki Sato, Harumi Sakai, Morizumi Nakamura. 2004. <i>Kuhlia boninensis</i> (Fowler, 1907), a junior synonym of <i>Kuhlia munda</i> (De Vis, 1884) (Perciformes: Kuhlidiidae). <i>Ichthyological Research</i> . 51: 70-72	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Mutsumi Nishida, Yasumasa Sawash. 1987. Geographic Differences in the Number of Longitudinal Scales of the Ayu <i>Plecoglossus altivelis</i> . <i>Nippon Suisan Gakkaishi</i> . 53(11)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nakabo, T., Senou, H., & Aizawa, M. 1998. New species of <i>Pseudocallurichthys</i> (Teleostei: Callionymidae) from Iriomote Island, Japan. <i>Copeia</i> . 1998: 451-455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
National Museum of Natural History (NMNH), Smithsonian Institution. MNHN Invertebrate Zoology Collections	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara, Katsunori Tachihara. 2007. Pelagic larval duration and morphology at recruitment of <i>Stiphodon percnopterygius</i> (Gobiidae: Sicydiinae). <i>Raffles Bulletin of Zoology, supplement</i> , 14: 209-214	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2007. Eggs and larvae of <i>Awaous melanocephalus</i> (Teleostei: Gobiidae). <i>Ichthyological Research</i> . 54(1): 89-91	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2006. Reproductive biology and morphology of eggs and larvae of <i>Stiphodon percnopterygius</i> (Gobiidae: Sicydiinae) collected from Okinawa Island. <i>Ichthyological Research</i> . 53: 13-18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi YAMASAKI, masashi KONDO, ken MAEDA, katsunori TACHIHIRA. 2011. Reproductive biology of three amphidromous gobies, <i>Sicyopterus japonicus</i> , <i>Awaous melanocephalus</i> , and <i>Stenogobius</i> sp., on Okinawa Island. <i>Cybius</i> . 35(4): 345-359	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ohta, I. and K. Tachihara. 2004. Larval development and food habits of the marbled parrotfish, <i>Leptoscarus vaigiensis</i> , associated with drifting algae. <i>Ichthyological Research</i> . 51: 233-240	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	
Prince Akimoto, Katsusuke Meguro. 1975. <i>Pandaka trimaculata</i> , a New Species of Dwarf Goby from Okinawa Prefecture, Japan and the Philippines. <i>魚類学雑誌</i> . 22(2): 63-67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
Prince Akimoto, Katsusuke Meguro. 1975. Description of a New Gobiid Fish, <i>Glossogobius aureus</i> , with Notes on Related Species of the Genus. <i>魚類学雑誌</i> . 22(3): 127-142	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Rahman, M. H. and K. Tachihara. 2005. Age and Growth of <i>Sillago aeolus</i> in Okinawa Island, Japan. <i>Journal of Oceanography</i> . 61: 569-573	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
Ryohai Tatsuono, Miwako Shikina, Kiyoshi Soyano, Koichi Ikeda, Tomohiro Takatani, Osamu Arakawa. 2013. Maturation-associated changes in the internal distribution of tetrodotoxin in the female goby <i>Yongeleichthys criniger</i> . <i>Toxicon</i> . 63: 64-69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
Sadao IKEHARA, Takuya ABE, Matsuei SHIMOJANA, Yoshiharu YONASHIRO, Susumu MIYAGI. 1976. Nest site of Noguichigera or Okinawa Woodpecker, <i>Sapheopipo noguchii</i> . <i>沖縄生物学会誌</i> . (14): 55-60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Seiji MATSUMOTO, Haruhiko FUJIMOTO, Kenji TAKEHARA, Fumiyasu SATO, Mutsumi NISHIDA, Masanori KOHDA. 2007. ECOLOGY AND MORPH TRAITS OF THE SWAMP EEL <i>MONOPTERUS ALBUS</i> (SYNBRANCHIFORMES: SYNBRANCHIIDAE) ON THE RYUKYU ISLANDS, JAPAN. <i>関西自然保護機構会誌</i> . 29(1): 5-18	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Shimose, T. and K. Tachihara. 2005. Age, growth and maturation of the blackspot snapper <i>Lutjanus fulviflammus</i> around Okinawa Island, Japan. <i>Fisheries Science</i> . 71: 48-55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2001. Estimation of spawning sites in the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> , based on sperm motility. <i>Ichthyological Research</i> . 48: 425-427	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2008. Migratory history of the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> . <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 81: 321-327	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Suzuki, T. & H. Senou. 2013. Review of the sand-diving goby genus <i>Parkraemeria</i> (Perciformes: Gobiidae), with descriptions of two new species from the Ryukyu Islands. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement</i> , 7: 53-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
T. Ishikawa, K. Tachihara. 2011. Reproductive biology, growth, and age composition of non-native Indian glassy fish <i>Parambassis ranga</i> (Hamilton, 1822) in Haebaru Reservoir, Okinawa-jima Island, southern Japan. <i>Journal of Applied Ichthyology</i> . 28: 1-7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2008. Reproduction and early development of a freshwater pipefish <i>Microphis leiaspis</i> in Okinawa-jima Island, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 55(4): 349-355	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2009. The maturity and breeding season of the belly-barred pipefish <i>Hippichthys spicifer</i> , in Okinawa-jima Island rivers. <i>Ichthyological Research</i> . 56(4): 388-393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
Takuro Shibuno, Yohei Nakamura, Masahiro Horinouchi, Mitsuhiro Sano. 2008. Habitat use patterns of fishes across the mangrove-seagrass-coral reef seascape at Ishigaki Island, southern Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 55: 218-237	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	
Tatsuya Kawakami, Katsunori Tachihara. 2010. Occurrence and body size changes of drifting land-locked Ryukyu-ayu <i>Plecoglossus altivelis ryukyensis</i> larvae in the San-numata River, Okinawa-jima Island, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 57(2): 204-208	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou. 1998. First records of two freshwater pipefishes of the genus <i>Microphis</i> (Synbranchiformes: Syngnathidae) from Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 45(2): 201-204	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou, Hiroshi Senou. 2002. <i>Mesopristes irawi</i> , a new terapotid fish (Perciformes: Terapotidae) from rivers of Iriomote Island, the Ryukyu Islands. <i>Ichthyological Research</i> . 49: 234-239	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Tetsuo Yoshino, Hirokazu Kishimoto. 2008. <i>Plotosus japonicus</i> , a New Eeltail Catfish (Siluriformes: Plotosidae) from Japan. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement</i> , 2: 1-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
Tetsuo YOSHINO. 1976. Five Unrecorded Fishes from Japan, Collected from Sesoko Island, Okinawa. <i>沖縄生物学会誌</i> . (14): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	

表 4-5-1 (3). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
Tetsuroh ISHIKAWA, Katsunori TACHIYAMA. 2008. Age, growth and maturation of the redbelly tilapia <i>Tilapia zillii</i> introduced into the Haebaru Reservoir on Okinawa-jima Island. Fisheries Science. 74(3): 527-532	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuroh Ishikawa, Katsunori Tachihara. 2010. Life history of the nonnative convict cichlid <i>Amatitlania nigrofasciata</i> in the Haebaru Reservoir on Okinawa-jima Island, Japan. Environmental Biology of Fishes. 88: 283-292	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuroh Ishikawa, Tamaki Shimose, Katsunori Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of Nile tilapia ( <i>Oreochromis niloticus</i> ) and geographical variation across its native and non-native ranges. Environmental Biology of Fishes. 96: 603-616	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Uehara, M and K. Tachihara. 2015. Reproductive traits of the western Pacific gizzard shad <i>Nematalosa come</i> : implications for conservation and management in a population at its distributional margin. Environmental Biology of Fishes. 98: 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Uehara, M. and K. Tachihara. 2012. Reproductive biology of Japanese gizzard shad ( <i>Nematalosa japonica</i> ) in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Ichthyological Research. 59: 314-322	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
Uehara, M., F. Kashiwagi, H. Imai and K. Tachihara. 2011. Biological traits of naturally induced hybrid individuals of two gizzard shads, <i>Nematalosa come</i> and <i>N. japonica</i> , in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Ichthyological Research. 58: 344-349	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
Worawit Maneepitaksanti, Kazuya Nagasawa. 2012. Monogeneans of <i>Cyathostomum</i> sp. (Cyathostomidae, Dactylogyridae), gill parasites of tilapias, from Okinawa Prefecture, Japan. Biogeography. 14: 111-119	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Yuichi Kano, Shin Nishida, Jun Nakajima. 2012. Waterfalls drive parallel evolution in a freshwater goby. Ecology and Evolution. 2: 1805-1817	0	0	0	0	104	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
Yukio Iwatsuki, Masayuki Kume, Tetsuo Yoshino. 2010. A New Species, <i>Acanthopagrus pacificus</i> from the Western Pacific (Pisces, Sparidae). Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology. 36(4): 115-130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
Aleluia Taise, 須田彰一郎. 2015. 沖縄島沿岸の底生珪藻の出現記録. 沖縄生物学会誌. (55): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0
Atsushi Nanami, Moritaka Nishihira. 2002. The structures and dynamics of fish communities in an Okinawan coral reef: effects of coral-based habitat structures at sites with rocky and sandy sea bottoms. Environmental biology of fishes. 63: 353-372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	0
Beringer, G. 1976. Additions to the List of Okinawa Birds. Japanese Journal of Ornithology. 25: 116-117	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Brazil, M. and P. Snetsinger. 1991. The Little Gull <i>Larus minutus</i> in Japan. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 20: 80-82	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Brazil, M., H. Ikenaga. 1987. The Amami Woodcock <i>Scolopax mira</i> : its identity and identification. Forktail. 3: 3-16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Cogswell, H. 1948. Summer Observations of Birds of Okinawa, Ryukyu Islands. Condor. 50: 16-25	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ezaki, Y and Z. Miyara. 1995. Wintering of Oriental White Storks in Yonaguni Island, the Westernmost Japan. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 27: 92-97	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Katsunori TACHIYAMA, Kohei NAKAO, Keishi TOKUNAGA, Yuko TSUJIKAWA, Mikumi TAKADA, Tamaki SHIMOSE. 2003. Ichthyofauna in Mangrove Estuaries of the Okinawa, Miyako, Ishigaki and Iriomote Islands during August from 2000 to 2002. Bulletin of the Society of Sea Water Science, Japan. 57: 481-490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	0
Kohno H, Abe N, Mano T. 1986. Chick mortality of the Sooty Tern <i>Sterna fuscata</i> caused by Typhoon-8211 on Nakamokami-shima, South Ryukyu, Japan. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 18: 41-50	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
McCosker John E, Hatooka Kiyotaka, Sasaki Kunio and Moyer Jack T. 1984. Japanese moray eels of the genus <i>Uropterygius</i> . Japanese journal of ichthyology. 31(3): 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
McWhirter, D. 1985. Records of Pectoral Sandpiper ( <i>Calidris melanotos</i> ) for Okinawa Prefecture. Strix. 4: 57-60	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
McWhirter, D. 1985. 沖縄における鳥類の繁殖観察. Japanese Journal of Ornithology. 33: 123-125	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Nakamura, Y., & Tsuchiya, M. 2008. Spatial and temporal patterns of seagrass habitat use by fishes at the Ryukyu Islands, Japan. Estuarine, Coastal and Shelf Science. 76(2): 345-356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0
Nanjo, K., Kohno, H. & Sano, M. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. Fisheries Science. 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0	0
Naomasa Kawashima, Jack T. Moyer. 1982. 琉球列島から得られたオキスズメダイ <i>Pristotis jerdoni</i> とコハスズメダイ <i>Pomacentrus vaiuli</i> . 魚類学雑誌. 29: 260-266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
NPO 法人コーラル沖縄. 2009. 中城港海浜地区第1区域内サンゴ移植報告について: 1-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
NPO法人ホテルとサンゴの島から. 2014. 平成25年度キザトサワヘビ生息環境等調査業務報告書: 63p	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	0
NPO法人ホテルとサンゴの島から. 2015. 平成26年度キザトサワヘビ生息環境等調査業務報告書: 73p	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0	0
TETSUJI NAKABO. 1983. REVISIONS OF THE DRAGONETS (PISCES: CALLIONYMIDAE) FOUND IN THE WATERS OF JAPAN. PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY. 27(4-6): 193-259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
Tetsuo Takara, Nagahisa Kuroda. 1969. 琉球における未記録種および稀種. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 5: 547-562	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1986. Strix Field Note. Strix. 5: 89-98	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1987. Strix Field Note. Strix. 6: 110-118	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1989. Strix Field Note. Strix. 8: 347-349	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1990. Strix Field Note. Strix. 9: 265-268	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1991. Strix Field Note. Strix. 10: 315-318	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1993. Strix Field Note. Strix. 12: 259-264	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1994. Strix Field Note. Strix. 13: 265-274	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Wild Bird Society of Japan. 1996. 野鳥情報・観察記録 1994.8-1995.7. Strix. 14: 205-211	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WWFJ. 2009. 南西諸島生物多様性評価プロジェクト フィールド調査報告書: 1-242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	43	0	0
Yamashina, Y. and T. Mano. 1981. A New Species of Rail from Okinawa Island. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 13: 147-152	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Yossi Loya, 斎藤一彦. 2008. クサゼライ科サンゴの性転換. 琉球大学21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」平成19年度成果発表会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
Yukio Iwatsuki, Seishi Kimura, Tetsuo Yoshino. 2007. A review of the Genres <i>Gerres subfasciatus</i> complex from the Indo-West Pacific, with three new species (Perciformes: Gerreidae). Ichthyological research. 54: 168-185	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
いであ株式会社. 2011. 平成22年度慶良間地域周辺海域海草分布調査業務報告書: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0
カラ・カリスト地域学術調査委員会. 2007. カラ・カリスト地域における絶滅危惧種コウモリ類の生育実態調査 (2007年6月)報告: 42742	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダグラス・マックワーター. 池長裕史, 五百沢日丸, 庄山守, 高原健二. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄産鳥類目録. 沖縄県立博物館紀要. 22: 33-152	0	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チーム美らサンゴ. 2010. 万座周辺のサンゴ観察報告(万座. 平成21年9月): 1-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0
ヤマハリゾート株式会社. 1997. (仮称)はいむろふしゴルフ場開発計画に係る環境影響評価書 評価書: 750p	16	75	9	13	0	1,807	130	43	0	0	118	23	460	0	183	0	0
安座間安史, 島袋徳正. 1989. 特殊鳥類等生息調査及びノグチゲラの営巣本調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅱ中間報告書: 99-122	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安座間安史 島袋徳正. 1996. 大園林道(沖縄島ヤンバル地域)における倒壊落下動物一斉調査-倒壊設置状況からみた小動物の落下状況の分析-. 沖縄生物教育研究会誌. (28): 3-12	0	0	24	15	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
安座間安史, 島袋徳正. 1990. 辺野舎ダム・照山山周辺のノグチゲラ生息環境調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ中間報告書: 110-124	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安座間安史, 島袋徳正. 1984. ノグチゲラの育雛活動について. 沖縄生物学会誌. (22): 79-90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安田 富士郎, 富永 義昭. 1970. 三宅島および沖縄本島から得られたキンチャクダイ類の二新種. 魚類学雑誌. 17: 141-151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0





表 4-5-1 (5). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																			地域
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山			
沖縄県教育委員会. 1997. クマジマボタル生息態緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第37集: 61p	0	20	9	1	0	0	0	14	67	0	0	33	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1981. ケナガサミ美態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第22集: 65p	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1977. クラマシカ美態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第11集: 148p	0	0	0	0	0	2,057	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1978. クラマシカ美態調査報告書Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第12集: 209p	0	0	0	0	0	877	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1979. クラマシカ美態調査報告書Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第17集: 148p	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1996. クラマシカ保護対策緊急美態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第35集: 201p	58	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1992. タイワオオコウモリ保護対策緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第31集: 269p	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1976. ノグテラ美態調査連報(Ⅱ). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第5集: 48p	0	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 2003. リュウキュウヤマカマメ・セマルハコカメ生息態緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第41集: 99p	0	0	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1975. 塩川動態調査報告 予報 I. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第2集: 78p	0	0	0	0	0	1,606	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1976. 塩川動態調査報告 Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第6集: 91p	2	12	0	6	11	0	21	7	0	17	5	2	0	7	0					
沖縄県教育委員会. 1977. 塩川動態調査報告Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第9集: 51p	0	0	0	0	2	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県社寺・御厨林調査報告 I. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第15集: 120p	0	0	0	0	0	2,621	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県社寺・御厨林調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第18集: 210p	0	0	0	0	0	8,823	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1981. 沖縄県社寺・御厨林調査報告Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第21集: 316p	0	0	0	0	0	2,616	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県洞六美態調査報告Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第14集: 137p	7	0	14	24	0	1,174	0	0	72	0	0	14	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県洞六美態調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第16集: 156p	5	0	7	14	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1976. 慶佐次郎のヒルキ林緊急調査報告. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第6集: 60p	0	0	0	0	0	2,571	0	0	0	2	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1977. 慶佐次郎のヒルキ林緊急報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第10集: 88p	0	0	0	0	0	400	0	0	8	0	0	0	0	64	0					
沖縄県教育委員会. 1975. 指定候補地満洲市荒崎の岩礁海岸植物群集. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第4集: 22p	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県教育委員会. 1985. 西表島等天然記念物緊急調査Ⅲ 西表島天然記念物緊急調査報告書Ⅲ 動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第25集: 88p	8	94	40	114	0	0	2	0	127	0	0	0	0	4	0					
沖縄県教育委員会. 2009. 天然記念物緊急調査報告書(サンゴ礁). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第45集: 142p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73					
沖縄県教育委員会. 1975. 与那覇岳周辺のイタシヅメについて. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第3集: 73p	0	0	0	0	0	5,944	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県水産海洋研究所. 石垣支所. 八重山海域におけるシロカレハの分布: http://fra-seika.fra.affrc.go.jp/~dbmmr/cgi-bin/search/search_detail.cgi?RESULT_ID=3359&YEAR=2011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2004. 2線水系河川整備基本方針及び整備計画策定業務(石垣新川)報告書	0	144	0	0	34	610	0	33	19	22	20	15	0	51	0					
沖縄県土木建築部河川課. 1997. 安里川水系河川環境管理基本計画策定業務報告書(基礎資料編): 1-211	0	88	0	0	9	121	0	0	0	0	21	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部河川課. 1999. 田場川・安里川河川整備計画策定業務(資料編)Ⅲ. 河川環境編. 2章	0	123	0	0	32	1,061	0	12	16	9	41	36	0	138	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 中部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務報告書【第一編比謝川水系編】: 1-49	0	33	32	6	128	593	0	215	63	75	66	40	2	98	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2015. 田原川環境調査業務委託(H27) 報告書	0	101	0	0	22	96	0	25	14	20	12	37	0	40	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2016. 田原川環境調査業務委託(H28) 報告書	6	80	4	15	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南部地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(安謝川). 第7編	0	69	0	0	7	101	0	3	17	4	11	18	0	28	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南部地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(名蔵川). 第7編	4	126	15	21	11	25	0	12	7	30	19	14	0	30	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(幸地川)Ⅳ河川環境編	0	0	0	0	91	171	0	17	9	42	34	40	0	17	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(石川川)Ⅳ河川環境編	0	59	0	0	22	198	0	15	4	17	58	23	0	28	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(天願川)Ⅳ河川環境編	0	0	0	0	53	392	0	47	32	7	23	14	0	17	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(我部川)報告書	0	36	0	0	46	147	0	8	4	7	25	19	0	30	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(汀間川)報告書	0	30	0	0	56	142	0	13	9	35	53	28	0	91	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(湯名川)報告書	0	26	0	0	27	89	0	5	5	27	27	23	0	53	0					
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(与那川)報告書	0	24	0	0	42	159	0	9	7	47	17	25	0	37	0					
沖縄県土木建築部空港課. 1993. 北大東空港環境影響評価調査 協議国書	21	384	28	35	0	283	114	56	0	0	0	0	0	14	94					
沖縄県土木建築部都市計画、モノール課. 2011. 主要地方道南風原知念(地域高規格道路 南部東道路)整備事業に係る環境影響評価書: 6章	137	896	68	95	27	805	0	20	287	15	2	25	1,775	4	0					
沖縄県土木建築部都市計画課. 1998. 一般国道331号豊見城糸満バイパス建設事業: 102-140	5	299	9	16	1	0	3	4	0	0	31	20	0	56	0					
沖縄県土木建築部都市計画課. 1996. 沖縄都市モノレール計画事業に係る環境影響評価書. (5章): 102-145	0	1,872	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部都市計画課. 1993. 環境影響評価書 津嘉山北土地地区整備事業: 237-264	2	12	4	2	0	253	22	8	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部南部土木事務所. 2006. 平成17年度 国場川川川整備計画調査業務委託報告書: 1-45	0	99	0	0	0	32	197	0	15	18	5	24	14	0	29	0				
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 株式会社沖縄環境保全研究所. 2012. 石垣空港線環境調査業務委託(その2)報告書	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 株式会社沖縄環境保全研究所. 2012. 平成23年度石垣空港線環境調査業務委託報告書. 第4章: 1-328	15	87	0	19	57	431	83	60	49	58	163	130	0	208	0					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2017. H28船浮環環境保全推進業務委託報告書. 第2章	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2015. 小浜港環境調査業務委託報告書. 第4章	0	24	0	0	0	150	0	0	0	5	24	55	0	25	2					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2009. 石垣空港線(仮称)環境調査業務委託報告書: 90p	0	284	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2011. 石垣空港線環境調査業務委託報告書. 第3章	0	0	0	0	0	51	0	32	17	34	106	54	0	79	0					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2013. 船浦港(上原地区)環境調査業務委託報告書. 第3章	0	30	0	0	0	142	0	0	0	8	95	116	0	22	65					
沖縄県土木建築部八重山土木事務所. 2013. 平成25年度白浜湾環境調査業務委託(竹富町白浜地内)報告書. 第3章	0	23	0	0	0	266	0	0	0	5	37	50	0	16	38					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 1999. ハンパ公園自然生息態調査業務委託報告書	30	0	20	27	5	1,591	154	75	0	19	0	0	0	0	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2014. 浦内橋環境調査業務(その1)報告書	5	28	6	9	9	0	14	1	0	10	126	73	33	113	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2014. 浦内橋環境調査業務(その2)報告書	9	131	11	20	19	206	38	19	8	17	283	178	60	271	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2005. 浦内橋環境調査業務委託報告書: 12p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2006. 浦内橋環境調査業務委託報告書: 16p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2000. 大浜海岸環境調査業務委託報告書	0	68	0	0	6	104	0	0	0	3	150	268	146	132	52					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 1999. 平成11年度「前良橋環境調査」報告書	7	48	7	11	3	227	39	10	9	8	78	49	0	48	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2003. 平成13年度大浜海岸環境調査業務委託報告書	0	156	0	0	13	116	0	0	0	5	183	436	117	201	50					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2003. 平成14年度石垣新川川川環境整備検討業務委託報告書	5	535	28	38	14	109	44	31	19	7	7	14	0	19	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2005. 平成16年度 石垣港伊原間線(野呂水)環境調査業務委託報告書: 109p	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2005. 平成17年度 石垣港伊原間線(野呂水)環境調査業務委託(その2)報告書: 67p	6	49	11	17	0	0	0	26	16	0	0	0	0	0	3					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2006. 平成17年度 石垣港伊原間線(野呂水)環境調査業務委託(その3)報告書	0	16	0	2	0	1,078	12	3	1	2	0	0	0	0	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 2005. 平野伊原間線道路環境調査業務委託(その2)報告書. 資料編	4	13	32	6	0	0	0	0	0	50	0	0	0	51	0					
沖縄県八重山支庁土木建築課. 1998. 後良橋環境影響調査業務報告書: 128p	4	110	3	12	3	1,574	100	18	32	7	46	119	0	41	0					
沖縄県八重山土木事務所. 2014. 竹富東港環境調査業務委託報告書	0	16	0	0	0	111	0	0	0	2	177	148	150	31	73					
沖縄県八重山土木事務所. 2010~2015. 平成21年度~平成26年度 白浜南風見環環境調査業務委託報告書	1,064	1,135	80	67	0	0	0	0	0	23	10	0	0	40	0					
沖縄県文化環境部自然保護課. 2006. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(菌類編・植物編): 510	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
沖縄県北部土木事務所. 2000. 屋敷地仲宗根環境影響評価協議会回答書委託業務報告書. (5章): 81-255	41	194	28	53	0	1,194	172	28	0	0	33	0	0	11	0					
沖縄県北部土木事務所. 2015. 屋敷川水系環境調査業務委託(H26)報告書	0	29	0	0	0	32	248	0	9	6	14	15	12	0	12	0				
沖縄県北部土木事務所. 2016. 屋敷川水系環境調査業務委託(H27)報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	26	0	33	0					
沖縄市. 2007. 倉浜衛生施設組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価書: 6章	51	69	10	17	89	170	19	73	16	22	0	1	0	1	0					
沖縄市総務部総務課. 2007. 第4章 基地の自然 基地の中の自然. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 3																				

表 4-5-1 (6). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																		地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生昆虫類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山			
沖縄総合事務局北部ダム事務所. 2002. 貝類・甲殻類・大型水生昆虫類・魚類・潮間帯生物種. 沖縄本島北部地域における生物調査データ. 第3巻	0	0	0	0	668	0	0	457	445	970	203	242	0	521	0	0	0			
沖縄総合事務局北部ダム事務所. 1997. 大保ダム建設発生土の処分候補地に係る生物環境調査データ(陸域・海域): 49-60	0	0	52	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄総合事務局北部ダム事務所. 1998. 大保川生物環境調査データ: 253p	0	0	13	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄総合事務局北部ダム事務所. 2002. 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・陸上昆虫類編. 沖縄本島北部地域における生物調査データ. 第2巻	179	881	280	316	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄防衛局. いであ株式会社. 2014. 「シユワブ(H24)水域生物等調査」調査報告書: 3-183~3-302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	297	0	0			
沖縄防衛局. 2014. シユワブ(H24)水域生物等調査報告書: 518p	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄防衛局. 2015. シユワブ(H25)水域生物等調査報告書: 717p	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄防衛局. 2016. シユワブ(H26)水域生物等調査報告書	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄防衛局. 2011. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	0	0	0	0	0	0			
沖縄防衛局. 2012. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書 参考資料(平成21年度~平成22年度調査): 第2章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,403	0	0			
沖縄防衛局. 2011. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書. 資料編: 6章	1,813	128	9	26	27	908	16	32	66	57	31	328	1,809	375	789	0	0			
沖縄防衛局. 2012. 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書の修正後の環境影響評価書: 第3章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	0	0			
恩納村. 2005. サング礁の現状. 恩納村オオヒトデ対策ネットワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0			
恩納村漁業協同組合. 2010. 恩納村オオヒトデ駆除報告: 4-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0			
下郷名松栄. 1973. 八重山群島の石灰洞動物相調査報告. 沖縄生物教育研究会誌. (6): 1-26	5	0	3	3	0	0	0	0	26	1	0	1	0	2	0	0	0			
下郷名松栄. 1979. 沖縄島および周辺島嶼の洞窟動物. 沖縄県洞穴生態調査報告書Ⅱ: 97-153	0	0	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
下瀬環・立原一憲. 2005. 沖縄島沿岸におけるニセクロソビフタイ稚魚の出現と形態. 沖縄生物学会誌. (43): 35-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0			
加藤信一郎. 1991. 盛賀にオオゴマダラなどの異常集団をみる. 琉球の昆虫. (14): 31-32	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
加藤信一郎. 1987. 八重山諸島で6月に採集したチョウ. 琉球の昆虫. (11): 41-43	0	0	0	0	0	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河内紀浩, 佐々木健志. 2002. 沖縄島北部森林域における移入食肉類(ジャウマングース・ノネコ・ノイヌ)の分布及び食性について. 沖縄生物学会誌. (40): 41-50	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 水谷晃. 2009. 琉球列島南部西表島周辺で保護回収された3羽のヒメクロウミツリノ(Oceanodroma monorhis). 沖縄生物学会誌. (47): 33-39	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 安部直哉, 真野徹. 1986. 仲の神島の海鳥類. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 18: 1-27	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 水谷晃. 2015. 仲ノ神島および西表島におけるオシロワシの初越冬と繁殖海鳥類への影響. Strix: journal of field ornithology: 野鳥学論文集. 31: 125-134	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 太田英利. 1991. 海鳥繁殖地の爬虫類: 八重山諸島・仲の神島の爬虫類相. 沖縄島嶼研究. (9): 73-89	0	6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
花原芳. 2017. 今帰仁村におけるシロクイメンリノ繁殖期と水場の利用. 沖縄生物学会誌. (55): 1-10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
花崎 勝司. 1994. 沖縄島嶼本島沿岸における魚類相. 沖縄生物学会誌. (32): 17-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0	0	0	0	0	0			
花崎 勝司. 2005. 沖縄島北部における魚類相: 羽地内海. 沖縄生物学会誌. (43): 75-87	0	0	0	0	1	0	0	0	0	193	0	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1993. 名産海産物水産物管理事業及び治整浄水産物調査結果. 平成3年度沖縄県水産試験場事業報告書: 233-254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	0	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1992. 名産海産物水産物管理事業報告. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書: 222-243	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1991. 名産海産物水産物管理事業報告. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	0			
外間規雄, 末吉幸夫, 仲原秀明. 1973. 本部半島の森林植生. 沖縄県林業試験場研究報告. 16: 72-180	0	0	0	0	0	2,035	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
角田平平, 青柳亮, 徳山弘, 才木実善, 坂井隆秀, 戸田守, 前之園唯史. 2016. 宮古島および伊良部島における稀少なヘビ 2種, ミヤコヒバとサキシマハイカダの観察例. Akamata. 26: 25-30	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
角田平平, 木寺法子. 2010. 沖縄島やんばる地域で目撃されたワシガエルの一例報告. Akamata. 21: 27-28	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社 倉敷環境. 2010. 産業廃棄物処理施設再資源化施設の整備事業に係る環境影響評価報告書: 277-427	63	98	41	40	18	230	49	41	39	10	3	2	257	5	0	0	0			
株式会社 ニューエック. 2012. 平成23年度 カムリワシ生息状況等調査業務報告書: 99p	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社 ブレーク研究所. 2012. 平成23年度指定灌漑局敷設地区における保全事業検討調査業務報告書: 337p	14	392	0	0	12	0	0	0	18	12	120	132	0	279	0	0	0			
株式会社 沖縄環境科学研究所. 2011. 平成22年度平久保半島サカリノ生息調査業務報告書: 37p	0	0	0	0	0	317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社 水産科学コンサルタント. 2016. 平成27年度西表石垣国立公園西表島横断道モニタリング手法検討業務報告書: 56p	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
乾備大, 桑原宗, 鈴木賢, 川瀬成吾, 前海光弘. 2013. 沖縄県八重山諸島で確認されたチョウ類、陸水性魚類、鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 277-298	0	106	0	0	0	19	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0			
乾備大, 桑原宗, 鈴木賢, 川瀬成吾, 前海光弘. 2013. 沖縄県八重山諸島で記録されたチョウ類、陸水性魚類、鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 1-6	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2009. マングース捕獲事業	762	2,462	3,292	595	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2018. 国指定仲の神島鳥獣保護地区 仲の神島特別保護地区計画書【指定】(環境省案): 1-10	1	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2015. 第6回, 第7回自然環境保全基礎調査(種生調査)	0	0	0	0	0	0	8,799	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 第2-6回自然環境保全基礎調査, 動物種分布調査	103	0	367	719	59	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2004. 第6回自然環境保全基礎調査鳥類繁殖分布調査	0	1,362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省沖縄奄美地区自然保護事務所. 2005. 平成16年度カムリワシ生息状況等調査報告書(グリーンカー事業): 68p	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省沖縄地区自然保護事務所, 株式会社 西表環境研究所. 2002. 平成13年度 やんばる地域希少野生生物保全対策事業報告書: 21p	194	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人 自然研究センター. 2006. 平成17年度沖縄県八重山地域における特定外来生物防除業務(オオヒキガエル)調査報告書: 63p	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人 自然研究センター. 2008. 平成19年度沖縄県八重山地域におけるオオヒキガエル等外来生物防除事業報告書: 98p	28	0	169	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人 日本生態系協会. 2008. 平成19年度石西瀬川自然再生技術手法検討調査業務報告書: 141p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119	0	0	0	0	45	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2007. 平成18年度石西瀬川サンゴ群集変動調査報告書: 145p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	216	0	26	0	228	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度石西瀬川サンゴ群集変動調査報告書: 163p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353	0	84	0	228	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2009. 平成20年度宮古島における淡水性甲殻類等の現状把握調査業務報告書: 39p	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度石西瀬川サンゴ保全総合調査業務報告書: 1-281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	921	0	0	0	0	416	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園川平湾適正利用推進検討業務報告書: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	604	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園川平湾適正利用推進検討業務報告書: 78p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	466	107	50	31	248	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2013. 平成24年度石西瀬川サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 1-148	0	0	0	0	0	0	0	0	0	437	6	10	0	207	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2014. 平成25年度 石垣島におけるシロアゴエルの対策手法検討業務報告書: 99p	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2016. 平成27年度石西瀬川サンゴ群集モニタリング調査等業務報告書: 1-73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	0	231	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2017. 平成28年度 石垣島におけるカムリワシ生息状況等調査業務報告書: 75p	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所, アンア航測株式会社. 2014. 平成25年度 国指定大東島鳥獣保護地区における保全事業植生等把握業務報告書: 250p	0	0	0	0	0	430	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所, 那覇自然環境事務所, いであ株式会社. 2007. 平成18年度石西瀬川自然再生技術手法検討調査業務報告書: 119p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	544	0	0	0	93	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所, 那覇自然環境事務所, いであ株式会社. 2009. 平成20年度石西瀬川サンゴ保全総合調査業務報告書: 390p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182	0	32	0	207	0	0	0			

表 4-5-1 (7). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生昆虫類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類		サンゴ	本島
環境省九州地方環境事務所, 那覇自然環境事務所, いであ株式会社. 2011. 平成23年度西表石垣国立公園指定植物点検調査: 418p	0	0	0	0	0	5,896	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省九州地方環境事務所, 那覇自然環境事務所, いであ株式会社. 2010. 平成21年度慶良間地域における改正自然公園法に基づく海域公園地区及び特別地域指定動物種点検調査業務報告書: 37p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	○
環境省自然環境局 生物多様性センター. 2009. 平成20年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)サンゴ礁調査業務報告書: 1-238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	○	○
環境省自然環境局, 財団法人沖縄県環境科学センター. 2003. 平成14年度西表国立公園における海中公園計画作成に関する海域調査業務報告書: 174p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	367	13	53	0	228	○	○
環境省自然環境局, 有限会社海游. 2004. 平成15年度網取島自然環境保全対策検討調査業務報告書: 131p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324	32	132	4	167	○	○
環境省自然環境局. 2006. 平成17年度やんばる地域国立公園指定計画策定調査報告書: 18-19	121	466	64	37	0	38	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局. 2006. 平成17年度西表礁サンゴ群集変動調査報告書: 113p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	4	0	82	○	○
環境省自然環境局. 2011. 平成22年度自然環境保全地域等調査業務報告書 崎山自然環境保全地域周辺地域(網取島). 第4巻: 1-101	0	0	0	0	114	0	0	0	19	58	356	154	0	214	0	○	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 2004. 環境省モニタリングサイト1000 シギ・ネドリ類調査	0	3,313	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 環境省モニタリングサイト1000 プロジェクト	0	7,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1983-1999. 第3-5回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書	497	0	1,243	1,750	430	0	###	2,432	4,039	0	197	844	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1983-1988. 第3回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書	0	3,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局生物多様性センター. 1997-2002. 第6回自然環境保全基礎調査. 鳥類繁殖分布調査報告書	96	2,902	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省自然環境局. 2001. 平成12年度サンゴ礁研究・モニタリング活動推進事業業務報告書: 143p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	○	○
環境省自然環境局. 2003. 平成14年度サンゴ礁研究・モニタリング活動推進事業報告書: 256p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	○	○
環境省那覇自然環境事務所, 株式会社アー(中心)テクノロジーエンジニアリング. 2017. 平成28年度 慶良間諸島国立公園におけるグリーンアノール防除業務報告書: 29p	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所, 有限会社海游. 2006. 平成17年度西表重要遷地保全対策事業報告書: 103p	0	0	0	112	0	0	84	16	108	8	24	0	32	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度伊部島及び安波渡園地における自然環境等調査報告書: 70p	22	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度慶良間地域(座間味村)におけるニホンイタチの生息個体数および食性調査業務: 42p	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2009. 平成20年度西表島及び与那国島の水域及び集落周辺における希少野生動物の現状把握調査業務報告書: 110p	0	0	0	0	59	0	0	0	43	0	393	34	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2010. 平成21年度 集落周辺におけるヤンバルクイナ生息状況把握調査等業務報告書: 74p	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2010. 平成21年度イリオモテボタル緊急保全対策業務報告書: 83p	0	0	0	0	70	0	0	14	0	0	17	5	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度 八重山諸島におけるシロコガエル対策業務報告書: 71p	0	0	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度イリオモテボタル緊急保全対策業務報告書: 72p	0	0	0	0	86	0	0	32	0	0	50	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度ノグチラ生息調査総括報告書: 108p	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度やんばる地域における垂鈴節照葉樹林の森林環境に関する調査及び資料収集業務報告書: 156-157	0	0	0	0	1,560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園動物生息状況等調査業務報告書: 59p	10	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成24年度 ノグチラ追跡調査等業務報告書(資料編): 132p	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2013. 平成24年度西表石垣国立公園海域公園地区モニタリング業務報告書: 149p	0	0	0	0	14	0	0	0	0	31	83	31	107	159	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2012. 平成24年度西表島昆虫相点検調査業務報告書: 139p	0	0	0	0	0	125	269	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境省那覇自然環境事務所. 2017. 平成28年度 タイフーンシオの行動特性をふまえたトラップ開発等業務報告書: 45p	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1981. 第 2 回自然環境保全基礎調査 (水生調査)	0	0	0	0	0	879	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1988. 第 3 回自然環境保全基礎調査 (水生調査)	0	0	0	0	0	1,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書【鳥類】	0	622	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書【哺乳類】	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1988. 第3回自然環境保全基礎調査動物種点検調査報告書【鳥類】	0	1,826	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁. 1980. 日本の重要な植物群落 (南九州・沖縄県: 熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)	0	0	0	0	4,241	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
環境庁自然保護局, 国際自然保護連合日本委員会. 2000. 平成11年度名蔵川河口地域自然環境保全総合調査報告書: 125p	0	236	0	0	40	0	10	0	49	85	22	0	60	0	0	0	○
環境庁自然保護局, 財団法人海中公園センター. 1998. 平成9年度西表島生物多様性地域調査(石垣島東部及び平久保半島の沿岸海域)報告書: 174p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	313	10	88	0	159	0	○	
環境庁自然保護局. 1990. 崎山自然環境保全地域調査報告書: 225p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	853	0	163	0	27	0	○	
環境庁自然保護局. 1989. 昭和62年度沖縄島北部地域調査報告書 南西諸島における野生動物種の保存に不可欠な諸条件に関する研究: 1-509	8	2,086	126	104	0	356	590	290	16	0	14	0	63	0	0	0	○
環境庁自然保護局. 1987. 西表島マングローブ林の枯損の原因究明及び保全対策のための検討調査報告書 I: 52p	0	195	0	0	0	184	0	0	0	6	18	0	36	0	0	0	○
環境庁自然保護局. 1999. 平成10年度西表島多様な生態系自然環境保全地域調査報告書: 140p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148	0	0	0	0	0	○
環境庁自然保護局生物多様性センター. 2001. 海域自然環境保全基礎調査重要海岸域生物調査報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	0	0	○
関伸一. 2004. 多良間島におけるアカヒゲの秋期の渡り. 九州森林研究. 57: 246-247	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
丸山勝彦. 1993. 伊平屋島の哺乳類. 沖縄生物教育研究会誌. (25): 3-6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
丸山勝彦. 1999. 沖縄島島地における洞窟群コトモリ2種の前後長, 体重と種集の大きさの季節変化. 沖縄生物学会誌. (37): 15-19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
丸山勝彦. 1992. 沖縄県におけるヒナコワモリ科2種の新記録. 沖縄生物学会誌. (30): 55-57	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岸本眞男, 比嘉ヨシ子. 1978. 沖縄産の住家性スズメの種相構成と繁殖. 沖縄生物学会誌. (16): 1-9	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
岸野底, 四宮明彦. 2004. 奄美大島の役棚川と河内川におけるリュウキュウアユの孵化時期と体サイズ. 魚類学雑誌. 51(2): 149-156	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
若井嘉司, 仲本光男. 2001. 名産保護水面管理事業. 平成11年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	115	0	0	0	0	0	0	0	○
若槻孝雄, 瀬能宏, 鈴木寿之. 1989. ワエタイ科魚類ミナミエタイの日本からの記録および稚魚期における近視種との区別点. 魚類学雑誌. 35(4): 469-478	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	○
亀崎直樹. 1985. 八重山群島新島におけるタイマイ <i>Eretmochelys imbricata</i> (Linnaeus) の産卵場の新記録. 沖縄生物学会誌. (23): 41-42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
亀崎直樹. 1991. 琉球列島におけるワミガミ類の産卵場の分布とその評価(予報). 沖縄生物学会誌. (29): 29-35	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
亀崎直樹, 嶺井直樹, 富永篤. 2013. シリケンイモリの発生における水温の影響. 九州両生爬虫類研究会誌. 4: 66-67	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
亀田和成, 若月元樹, 亀崎直樹. 2013. 八重山群島黒島の拱頭海域におけるアオウミガメの個体群構造と成長速度. 沖縄生物学会誌. (51): 93-100	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
亀田和成. 2010. 八重山群島黒島におけるヤエヤマシシメの初記録. Akamata. 21: 23-24	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
楳原美実, 諸吉田茂充. 1980. 沖縄県と那州におけるサワガ二類の分布. 沖縄生物学会誌. (18): 9-15	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	○
宜野湾市. 2015. (仮称)西表島間住宅地地区画整理事業計画施設環境配慮書: 1-69	12	24	8	12	0	51	60	30	12	0	0	0	0	1	0	0	○
宜野湾市教育委員会文化課 市史編纂係. 2011. 宜野湾の海. 観察会. 市史だより がちまや. (23): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	○
宜野湾市教育委員会文化課. 2002. きのおい自然ガイド. 『宜野湾市史』 第9巻資料編8自然・解説編: 1-215	0	45	12	22	10	75	12	14	12	3	9	26	0	9	0	0	○
菊地正太郎, 佐野清貴. 2007. 竹富島におけるカムムラサキの観察記録. Bird Research. 3: S7-S10	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
菊地正太郎, 眞正将, 山外茂, 松本千枝子, 西海功. 2008. クロアゴヒメアバウト <i>Ptilinopus leclancheri</i> の日本初記録および亜種 <i>P. taiwanus</i> についての検討. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 40: 13-22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
菊地正太郎, 松本千枝子. 2005. 西表島における(バンケン)の観察記録. Strix. 23: 175-179	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
菊池多賀夫, 田村俊和, 牧田肇. 宮城豊彦. 1978. 西表島沖間川下流の沖積平野における植物群落の配列とこれにかかわる地形Ⅰ. マングローブ林. 東北地理. 30(2): 71-81	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
菊池多賀夫, 田村俊和, 牧田肇. 宮城豊彦. 1980. 西表島沖間川下流の沖積平野にみられる植物群落の配列とこれにかかわる地形Ⅱ. サカリリケ林・アダン林. 東北地理. 32(4): 185-193	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
吉野英範. 2014. 琉球列島産陸水魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuan. 9: 1-153	0	0	0	0	69	0	0	0	0	126	0	0	0	0	0	0	○
吉野英範, 下瀬隆, 岩崎誠. 2007. 沖縄島のウツヅク(タイドジウコウ). 比叢科学. 223: 37-38	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
吉野英範, 関根正人. 厩我地(沖縄島)で確認されたアカボウサメ: 63	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
吉野英範, 岩崎誠. 2001. 沖縄島で繁殖が確認された国外侵入種の魚類. 比叢科学. 201: 15-26	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
吉野英範, 岩崎誠. 沖縄島で繁殖している <i>Tanichthys albonubes</i> (硬骨魚類; コイ科): 25-26	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○



表4-5-1(8). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	キノコ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
吉野英範, 吉野哲夫. 1999. 西表島で採集された日本初記録のオグロオトメイ(新種) <i>Himantura fai</i> . 魚類学雑誌, 46(1): 39-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 市川真幸, 吉野哲夫. 2004. 沖縄島で採集された日本初記録のハゼ科魚類ジミノハゼ(新種). I. O. P. DIVING NEWS, 15(11)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 市川真幸, 吉野哲夫. 2005. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録(IV). 比和町立自然科学博物館標本資料報告(5): 1-51	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	567	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 中村慎吾. 2008. 庄原市立比和自然科学博物館魚類収蔵標本総合目録. 庄原市立比和自然科学博物館標本資料報告(8): 1-112	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	532	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 中村慎吾. 2002. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録Ⅱ. 比和町立自然科学博物館標本資料報告(3): 85-136	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	351	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 中村慎吾. 2003. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録Ⅲ. 比和町立自然科学博物館標本資料報告(4): 31-75	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	468	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 田村常雄. 沖縄島都市部におけるタナゴモドキの記録. 比和科学, 206: 46-47	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 内藤順一, 中村慎吾. 2001. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録. 比和町立自然科学博物館標本資料報告(2): 119-168	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	445	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 井上朋子, 吉野哲夫. 2008. 日本記録のカワハキ科魚類クコテンハシ <i>Pseudomonacanthus macrurus</i> . 魚類学雑誌, 56(1): 59-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
吉野英範, 太田格, 吉野哲夫. 2006. 日本初記録のネズボ科魚類クシヒガヌメリ(新種) <i>Eleutherochir mccaddeni</i> . 魚類学雑誌, 52(2): 189-193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
吉野英範. 2001. ワキシシモチ. 標種の追記. 比和科学, 201: 41-42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
吉野英範. 2004. 南大東島で確認されたタイドプールと浅い潮下帯の魚類. 比和科学博物館研究報告, 43: 1-51	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	456	0	0	0	0	0	0
吉野英範. 2007. 日本の陸水域に出現するサメとエイ. 比和科学, 223: 21-35	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
吉野英範. 与那国島(琉球列島)の陸水生魚類. 165-179	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0
吉野英範. 2007. 琉球列島久米島の陸生水魚類. 比和科学博物館研究報告, 48: 25-51	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	98	0	0	0	0	0	0
吉行 瑠子. 1990. 日本の哺乳動物⑧カグロウモリ類. 日本の生物, 4(8): 74-78	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉行 瑠子. 1990. 日本の哺乳動物⑨キグサシラウモリ類(2). 日本の生物, 4(10): 74-77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉村光, 北村嘉夫, 知花昌紀, 横田昌嗣, 備田恒昭. 2016. 琉球列島固有種アカカボツツナシノソ科(シノ科)の溪流環境への適応と変異. 沖縄生物学会誌, (54): 1-15	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉田 朋弘, 本村 浩之. 2015. 徳之島および沖縄島から得られたハタ科魚類 <i>Grammistops ocellatus</i> Schultz, 1953. Nature of Kagoshima, 41: 53-55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
吉田直史, 玉城不二美, 渡戸輝. 2007. 沖縄県牧港・藤平納海堤における魚類中の重金属及び有機塩素系化合物含有量について. 沖縄県衛生環境研究所報, 41: 199-207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0	0	0	0	0
吉野 哲夫, 呂 健志. 1998. 日本初記録のキツネアマガイ科魚類アカオビサシゴ <i>Hoplostethus macroci</i> . 魚類学雑誌, 45: 111-114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
吉野元, Kyle N Armstrong, 田村常雄. 2009. 沖縄島の久米島・渡嘉敷島・伊平屋島における洞窟棲小型ウコチ目類. 東洋生物学研究報告(8): 28-32	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野元, 田村常雄. 2009. 沖縄島南部の出産保育洞窟におけるオキナワコキグサシラウモリの選択的な環境利用. 東洋生物学研究報告(8): 33-36	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野 哲生, 小高倫彦, 斎藤恭子, 相澤空見子, 穂野道尊, 浅川満彦. 2014. 沖縄県内で採集された鳥類から得られた寄生線虫類の記録. 沖縄生物学会誌, (52): 1-9	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛 岡原 山本晃. 1982. STERNA Linnaeus, ANOUS stephens of the MIYAKO ISLANDS(宮古群島のアシサシ). 沖縄生物教育研究会誌, (15): 11-18	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛, 仲地邦博, 金子進, 砂川友弘, 砂川崇喜, 山本晃. 2010. 宮古島の鳥類相. 宮古島市総合博物館紀要(14): 91-114	0	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛, 仲地邦博, 砂川友弘, 金子進. 2011. 日本における秋のアカハラカヌーの現状-宮古島を中心にして-. 宮古島市総合博物館紀要(15): 1-19	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛, 高原建二, 瀬名波任. 1995. 久米島におけるフシカカメとハヤブサ. 沖縄県立博物館紀要, 21: 159-168	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 1997. 伊良部の鳥. 平良市総合博物館紀要(4): 35-56	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 1996. 下地町と那覇湾一帯の鳥類相. 平良市総合博物館紀要(3): 85-103	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 1998. 多良間島, 水納島の鳥類. 平良市総合博物館紀要(5): 39-68	0	29	0	0	0	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 1995. 池田島の鳥. 平良市総合博物館紀要(2): 79-86	0	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 1996. 日本におけるサンバの秋の渡り. 沖縄県立博物館紀要, 22: 153-172	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久貝勝盛. 2001. 糸原島の鳥類. 平良市総合博物館紀要(7): 125-156	0	160	0	0	0	232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久塚安次. 1987. 沖縄本島における淡水紅藻について. 沖縄生物教育研究会誌, (20): 2-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0
久塚安次. 1987. 植生. 宜野湾市教育委員会社会教育課(編), 宜野湾市文化財調査報告書第9巻: 56	0	0	0	0	0	526	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久塚安次. 1974. 石垣島海岸の調査報告Ⅰ. 沖縄生物教育研究会誌, (7): 2-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0
久塚安次. 1984. 大山・宇地泊海岸における海藻. 沖縄生物教育研究会誌, (17): 3-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99	0	0	0	0	0
久米島ホテルの会. 2010. 平成21年度キグサシラウモリ生息環境等調査業務報告書: 95p	0	0	24	16	22	0	0	5	3	6	0	0	0	0	0	0	0
久米島ホテルの会. 2011. 平成22年度キグサシラウモリ生息環境等調査業務報告書: 71p	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久保弘文. 2002. 宜野湾市の鳥類. 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 659-742	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0	418	0	0	0	0	0	0
久保弘文. 2014. 第3章 恩納村の動物. 恩納村の鳥類. 恩納村誌 第1巻 自然編. (1): 245-340	0	0	0	0	0	0	0	0	570	0	1,771	0	0	0	0	0	0
久保弘文. 1991. 第一編 海産動物物 第五節 中城海域の鳥類. 中城村史第二巻 資料編1(地理・自然・政治行政・産業経済・移住). (2): 186-196	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0
久保田康裕. 未公開データ	0	0	0	0	0	1,960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久保田信, 若尾節子, 大城直雅, 鳥越兼治. 2003. 沖縄島産のノコギリカキ(二枚貝綱, カキ目, イタホカキ科)とカイヤドリヒトコクラグ(ヒトコ虫綱, 軟ククラグ目, マツバクラグ科)の共生の初記録. 沖縄生物学会誌, (41): 51-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
久保田信, 小高倫彦, 若尾節子, 大城直雅, 鳥越兼治. 2005. 沖縄島およびその周辺の離島におけるカイヤドリヒトコクラグ(ヒトコ虫綱, 軟ククラグ目)のホリブの地理的分布. 沖縄生物学会誌, (43): 65-70	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0
久保田信, 水野信彦. 1998. 渡嘉敷川河口で発見されたオウナギ(ウナギ目, ウナギ科)の死亡個体. 南紀生物, 40(2): 199-200	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮原 一, 吉野 哲夫, 仲谷 一宏. 2005. 西表島での分布が確認された日本初記録のデンジクタイ科魚類 <i>フタシバ</i> カレイシモチ(新種). <i>Apogon rhodopterus</i> . 魚類学雑誌, 52: 147-151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
宮原 一, 崔允, 矢部 衛, 仲谷 一宏. 2002. 沖縄島で採集された日本初記録の工ソ科魚類 <i>コソデ</i> (新種) <i>Saurida micropectoralis</i> . 魚類学雑誌, 49: 127-131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
宮城康一. 1981. 竹富町西表島の主な御殿の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第21集. 沖縄県社・御殿林調査報告Ⅳ: 231-246	0	0	0	0	0	4,681	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 横田昌嗣. 1984. イリモテマヤマノコの実地調査高見・古見地点の概況. 沖縄島換研究, 2: 9-24	0	0	0	0	0	2,067	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 喜屋武とせ子・伊佐小夜子・又直子・渡慶次敬子. 1968. 沖縄南部の植生. 琉球大学生物クラブ誌, 10: 48-58	0	0	0	0	0	1,203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 新城和治・鳥袋 暁. 日越国誌. 宮城朝音・真志喜文子・新島義能・天勝敏男・新納義馬. 1988. 与那国岳天然保護区域の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30巻, 国頭天然記念物緊急調査Ⅲ: 59-84	0	0	0	0	0	1,953	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 鳥袋 暁・横田昌嗣. 1986. イリモテマヤマノコの実地調査高見・古見地点の植生変化Ⅰ. 沖縄島換研究, 4: 9-26	0	0	0	0	0	1,555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 鳥袋 暁. 1981. 名護市の主な御殿の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第21集, 沖縄県社・御殿林調査報告Ⅳ: 11-26	0	0	0	0	0	1,303	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 鳥袋 暁. 1981. 沖縄県社・御殿林調査報告Ⅳ: 伊江町の主な御殿所の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 21: 1-10	0	0	0	0	0	431	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一 日越国誌. 新納義馬 新城和治. 新島義能. 宮城朝音. 鳥袋 暁. 天勝敏男. 1985. 西表島仲間川天然保護区域の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第24巻. 西表島天然記念物緊急調査報告書Ⅱ: 1-20	0	0	0	0	0	6,159	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城秋久, 青柳亮. 2011. 2010年沖縄県で見られた迷蝶. 琉球の昆虫, (35): 1-4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城秋久. 2008. ヌスカカムラサキの交尾を観察. 琉球の昆虫, (32): 129	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城朝音. 1979. 沖縄県社・御殿林調査報告Ⅱ: 那覇市内の主な社寺・御殿の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第18巻: 145-168	0	0	0	0	0	1,287	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城朝音 真志喜文子. 新島義能. 鳥袋 暁. 新城和治. 日越国誌. 宮城康一. 新納義馬. 1988. 大宜味御殿のヒロウツ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第30巻, 国頭天然記念物緊急調査Ⅲ: 96-116	0	0	0	0	0	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (9). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生昆虫類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
宮城邦治, 当山直道. 1988. 沖縄県北部と那覇島及びその周辺地域の哺乳類・爬虫類・両生類調査結果(中間報告). 特殊鳥類等生息環境調査中間報告書: 91-105	5	0	18	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮島仁, 高橋建二, 田仲謙介. 2015. 沖縄県におけるブロントキ Plegadis falcinellus の観察記録. 日本鳥学会誌. 64: 267-270	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮島仁, 山城正博, 田仲謙介. 2012. 沖縄県国頭郡金武町におけるヨーロッパムナグロ Pluvialis apricaria の日本初記録. 日本鳥学会誌. 61: 310-313	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮脇昭. 1989. 沖縄・小笠原. 日本植生誌. 10: 580p	0	0	0	0	0	15,493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
宮脇昭・中村幸人・村上雄秀・塚越優美子・鈴木邦雄・鈴木伸一・仲田栄二. 1983. 西表島沿岸部の植生学的研究. 横浜国立大学環境科学センター紀要. 9(1): 91-137	0	0	0	0	0	1,086	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
宮脇昭・鈴木邦雄・鈴木伸一・中村幸人・村上雄秀・塚越優美子・仲田栄二. 1983. 日本におけるマングローブの植生学的研究 I. 西表島のマングローブ林. 横浜国立大学環境科学センター紀要. 9(1): 77-89	0	0	0	0	0	356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
橋本岳典, 西島信彦. 1987. マドモテウミナ Terebralla sulcata (Born) の後期発生と成長. 沖縄生物学会誌. (25): 53-56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	○	
玉城俊一. 1972. 八重山の鳥類調査報告(1). 沖縄生物教育研究会誌. (5): 13-17	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1978. (続)石垣島の秋期における鳥類と渡りの動物. 沖縄生物教育研究会誌. (11): 49-58	0	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1982. 石垣市街地とハチノ岳の鳥相およびその生態. 沖縄生物教育研究会誌. (15): 25-31	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1977. 石垣島の秋期における鳥類と渡りの動物. 沖縄生物教育研究会誌. (10): 23-37	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
玉城常雄. 1979. 与那国島の鳥類(1). 沖縄生物教育研究会誌. (12): 15-23	0	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城 清昭, 本永 文彦, 木村 基文. 1999. 沖縄県におけるシモフリアイゴの産地. 日本水産学会誌. 65: 19-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	○	
金城 清昭. 1998. 沖縄島の海岸藻場に産するシロクラベラ Choerodon schoenleinii 仔稚魚の形態および成長に与える分布と食性の変化. 日本水産学会誌. 64: 427-434	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	○	
金城孝一, 比嘉栄三郎, 大城洋平. 2006. 沖縄島のサンゴ礁海域における栄養環境について. 沖縄県衛生環境研究所報. (40): 107-113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	○	
金城常雄. 1993. 沖縄県島南部に侵入したシロカサバ Pycnonotus sinensis の分布域の拡大と生態的特徴. 九州病害虫研究会報. 39: 119-123	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城清昭, 亀浜正博, 七条祐藏, 立津茂, 宮平和法, 仲本光男. 1995. 宮古島ミナミクロライ放流調査. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	○	
金城清昭, 七条祐藏. 1995. 宮古島の幹波帯におけるミナミクロライ稚魚の分布. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書: 183-187	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	○	
金城清昭, 中村博幸, 仲本光男. 1998. 名越湾保護水面管理事業. 平成8年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	○	
金城清昭, 仲本光男, 渡辺利明. 1997. 名越湾保護水面管理事業. 平成7年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	0	0	0	0	○	
金城清昭, 仲本光男. 1999. 名越湾保護水面管理事業. 平成9年度沖縄県水産試験場事業報告書: 218-224	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	0	○	
金城清昭, 仲本光男. 1996. 名越湾保護水面管理事業. 平成6年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	○	
金城道男. 1994. 湿地の鳥類. 特殊鳥類等生息環境調査報告書-沖縄県島湿地編-	0	647	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城優子・金城嘉太. 2009. タテハトキの幼虫を見つけた. 琉球の昆虫. (33): 55	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
金城和三, 前田善四郎. 1999. 沖縄島で採集されたヤママコモリ Nyctalus aviator の記録. 沖縄生物学会誌. (37): 61-64	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
駒井晋幸. 2004. クシモツサンゴヤドリ(ハクリロ)サンゴヤドリの若幼体. 沖縄生物学会誌. (42): 25-38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	○	○
貝井川市. 2002. 中部北環境施設組合ごみ処理施設建設事業に係る環境影響評価書: 5章	6	49	7	10	7	545	54	39	14	16	0	15	18	1	0	○	○
葉柄和信. 2016. 沖縄本島におけるマルバネリマダラ(フビィンヒキ)Euploea eunicekadu の記録. 琉球の昆虫. (40): 103	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
葉田和紀, 角田幸平. 2010. 沖縄県におけるオキナワカグの分布状況. Akamata. 21: 39-43	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
桑原崇, 曾我部隆子, 山本裕, 鳥居嘉規, 鈴木賢, 前湖光弘, 桜谷保之. 2011. 沖縄県八重山諸島で記録された両生類・爬虫類. 近畿大学農学部紀要. (44): 163-169	0	0	17	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原住弘. 2014. 久米島町武島で未記録種を採集. 琉球の昆虫. (38): 59	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原戸鉄二. 2014. 第3章 恩納村の動物 恩納村の鳥類. 恩納村誌 第1巻 自然編. 1: 491-507	0	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原戸鉄二. 1986. リウキュウツツバ Hirundo tahitica namiyei のモピング行動(予報). 沖縄生物学会誌. (24): 35-38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
原田英司. 1972. 南西諸島で観察されたテッポウエビ類とハゼ類の同属関係について. 沖縄生物学会誌. 9(11): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
藤本正. 1986. 沖クワコウモリにおける出生率と死亡率の動態. 秋吉台科学博物館報. (21): 37-50	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守, 角田幸平, 前之瀬雅夫, 岩波節子. 2006. 波嘉敷村前島の両生爬虫類. 沖縄生物学会誌. (44): 53-63	0	0	7	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守, 山本麗子, 角田幸平. 2003. 伊弉名村の貝志川島および屋那崩島の両生爬虫類. 沖縄生物学会誌. (41): 33-41	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守, 小島光明, 前田真希, 正井佐知, 坂田ゆず. 2015. 沖縄県北部におけるオキナワヤモリの交尾観察. Akamata. 25: 17-20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守, 庄司直嗣. 2015. 伊江島から2種目となるクマシマイの標本について. Akamata. 25: 31-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
戸田守. 2008. オキナワヤモリとミナミヤモリの識別について(予報). Akamata. 19: 23-30	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
後藤健志, 田村常雄, 佐々木健志. 2014. 第3章 恩納村の動物 恩納村の陸棲哺乳類. 恩納村誌 第1巻 自然編. (1): 519-537	29	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
向井貴彦, 杉本真奈美. 2006. 日本産トビハゼのミトコンドリアDNA多型に基づく遺伝的集団構造の解析. 魚類学雑誌. 53(2): 151-158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
向井貴彦, 西田睦. 2004. 日本産ミズバネにおけるミトコンドリアDNAの系統と地理的分化. 魚類学雑誌. 51(2): 157-161	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
向山満. 1990. 森林棲コウモリを探して. 採集と飼育. 52(11): 476-481	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁, 大城勝. 1987. ダム建設によるヨシノボリ属魚類への影響. 沖縄生物教育研究会誌. (20): 8-23	0	0	0	0	56	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 2000. 沖縄県内における淡水魚類とその生息環境の現状. 特殊鳥類等生息環境調査(XI改訂版) 湿地(水辺環境)編総括 -沖縄県内の水辺環境に生息する生物種の概要-. 79-101	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 1991. 沖縄県における陸産水陸移動動物の現状と問題点. 南西諸島自然保護特別事業調査報告書. 4: 55-65	0	0	0	0	209	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 1995. 沖縄島の河川環境の現状と問題点. 沖縄生物学会誌. (33): 66-77	0	0	0	0	22	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 1988. 大城ダムの魚類相とブラックバスによる影響. 沖縄生物教育研究会誌. (21): 45-57	0	0	0	0	18	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	○	
幸地良仁. 1965. 西表島から採集した異常体色のノコギリボラについて. 沖縄生物学会誌. 2(4): 50-51	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
荒尾一樹. 2007. 南大東島の淡水魚類. 神奈川自然保全研究会報告書. 17: 25-26	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
荒尾一樹. 2004. 八重山諸島小浜島で採集された淡水魚の魚類. 南紀生物. 46(2): 173-176	0	0	0	0	9	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	○	
稲村昂男, 西村昌彦. 1990. 沖縄県南部におけるハブの直接採集. 沖縄生物学会誌. (28): 43-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高橋貴之. 1988. 1979年春 久米島の蝶. 琉球の昆虫. (12): 24-26	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高橋祐哉, 宮竹貴久. 2012. 沖縄島へのオカダンゴムシの侵入とダンゴムシ類の分布. 沖縄生物学会誌. (50): 83-91	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○	
高洲賢文. 2009. 新規造成地に発生した雑草の群落組成について. 沖縄県農業研究センター研究報告. 3: 21-27	0	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高田未実美, 立原一憲. 2006. 沖縄県比地川水系におけるギンナン Carassius auratus langsdorfii の性比と倍散性. 沖縄生物学会誌. (44): 27-34	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高木昌綱. 2000. 南大東島に生息するモズの羽色および形態の記載. 島内の分布状況と繁殖生態. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 32: 13-23	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1968. 西表島の採集について. 沖縄生物学会誌. 5(7): 15-24	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1979. 沖縄における未記録種および稀種. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 11: 132-135	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1969. 尖閣列島の鳥類について. 琉球大学農学部学術報告. 16: 1-12	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1969. 八重山群島(琉球)産へびに関する若干の知見. 爬虫両棲類学雑誌. 3(2, 3): 19-21	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
高良鉄夫. 1954. 尖閣列島の動物について. 琉球大学農学部学術報告. 5: 7-74	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
国土交通省. 河川環境データベース (河川水辺の環境調査): http://mizukoku.nilim.go.jp/knsknkanyo/	411	###	3,807	583	1,026	0	710	1,464	919	737	179	250	0	310	0	○	
国立科学博物館. 2013. 自然史標本情報検索	7	228	0	2	1,218	5,349	0	0	0	3,410	0	0	0	535	0	○	○
国立大学法人琉球大学. 2014. 平成25年度 国指定大東諸島鳥獣保護区における保全事業鳥獣の生息状況把握調査報告書: 137p	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
黒住前二. 1981. 慶良間列島鹿間味村の陸産魚																	









表 4-5-1 (13). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山
新堀和治・宮城朝香・新島義隆・佐久本敏. 1984. 沖縄島の植物. 日本生物教育会沖縄大会沖縄の生物編集委員会(編), 全国大会記念誌, 沖縄の生物. 167-189	0	0	0	0	0	1,505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新堀和治・白越昭昭. 1988. 那覇市小孫金城公園(予定地)の植物. 沖縄県立博物館紀要. 14: 31-50	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新倉三佐雄, 中村一恵. 1987. 日本におけるアカガシラサギの分布と生息状況. Strix. 6: 50-65	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田宗仁. 2002. 宜野湾市の鳥類. 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 357-392	0	447	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2006. 2005年秋, 渡嘉敷島でウスオオナガワラナミシジミを確認. 琉球の昆虫. (29): 34-35	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2014. 2013年, 本部町水納島でホリイコシジミを採集. 琉球の昆虫. (38): 53	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2006. モクセンナでウラナミシロチョウが発生. 琉球の昆虫. (29): 33	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2011. 沖縄県島嶼の蝶・蛾の採集. 琉球の昆虫. (35): 15-17	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2009. 座間味島でクロゼリを撮影. 琉球の昆虫. (33): 54-55	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新田敏子. 2006. 比地川流域でのリュウキュウミシジミ. 琉球の昆虫. (29): 35-36	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1985. ヤンバルテナガコガネ生息地の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第26集, 西表島等天然記念物緊急調査IV, ヤンバルテナガコガネ実態調査報告書 I: 21-26	0	0	0	0	0	0	237	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1964. 高津宇岳と安和岳の植生. 沖縄農業. 3(1): 87-93	0	0	0	0	0	164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1981. 佐敷町の主な御嶽及び坪所の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第21集, 沖縄県社寺・御嶽林調査報告書 IV: 27-46	0	0	0	0	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1975. 西表島東部の植生. 浅海における海中の生態系に関する研究調査報告書: 31-72	0	0	0	0	0	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1991. 第二章陸生植物 第一部中城町の植生. 中城町史第二巻 資料編1(地理・自然・政治行政・産業経済・移民). (2): 197-209	0	0	0	0	0	1,133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典. 1965. 辺戸岬の植生. 沖縄植物学雑誌. 2(3): 32-42	0	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納義典・新堀和治・宮城朝香・白越昭昭. 1985. 沖縄県指定天然記念物「万座毛石灰岩植物群落」調査報告. 恩納村文化財調査報告書. 第6巻: 64	0	0	0	0	0	893	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新納夫. 1970. 八重山群島の植生. 遷住. 27: 2-9	0	0	0	0	0	5,745	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里孝和・新本光孝・山盛直. 1993. 西表島における牧草地の植生と採食植物. 琉球大学農学部学術報告. 40: 153-165	0	0	0	0	0	439	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里孝和・高原建二. 2002. 伊江島の植物回廊	0	0	0	0	0	166	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里孝和・比嘉寿. 1976. 北明治山の植物. 沖縄植物学雑誌. (14): 99-110	0	0	0	0	0	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新里孝和・澤城安徳. 1979. 名護市の御嶽林. 名護市教育委員会社会教育課(編), 名護市天然記念物調査報告2: 179p	0	0	0	0	0	1,940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森井隆三. 1975. 台湾・沖縄における翼手類の採集. 哺乳類動物学雑誌. 6(3): 121-126	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森哲, 天野雅男, 太田英利. 1984. 八重山諸島・新城島のトカゲ類の分布に関する新発見. 沖縄植物学雑誌. (22): 117-118	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森田祐介, 越野一志, 山前仁志. 2014. 渡嘉敷島におけるブロンズトキの記録. Bird Research. 10: S23-S24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深尾隆三. 1990-1991. 沖縄県コケシホ風魚類とその生息場所. 37: 116-126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
眞志嘉志子・新納義典. 1988. 安波のサキシマズメノキ群落. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30集, 国語部天然記念物緊急調査 III: 85-95	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眞野徹. 2009. 日本におけるツバメ <i>Hirundo rustica</i> の換羽. 日本鳥類学協会誌. 21: 22-30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神谷英江. 1980. 佐敷町御嶽山におけるハマシラジョウの葉の観察. 沖縄生物教育研究会誌. (13): 10-16	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神田 猛, 上原 聡, 瀧野 祐郎. 2009. 八重山諸島石垣島の陸水域魚類相. 宮崎大学農学部研究報告. 55: 13-24	0	0	0	0	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調川県立生命の星・地球博物館. 魚類写真資料データベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,233	0	0	0	0	0	0
諏訪啓太, 井口亮. 2008. 造礁サンゴに共生する桿状藻の分子系統学に関するレビュー(北西太平洋を中心に). 日本サンゴ学会誌. 10: 13-23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
水産無脊椎動物研究所. 水産無脊椎動物回廊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
水谷真, 河野裕美. 2008. 琉球列島八重山諸島における2001年繁殖期のエリグロアシサシとベニアシサシの現状. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 39: 101-111	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水谷真, 村越未栄, 唐真彦人, 木村賢史, 北野忠, 河野裕美. 2010. 西表島西部の湿地環境における水鳥類とその季節的消長. 沖縄植物学雑誌. (48): 121-139	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水谷真, 丹尾岳斗, 小菅文治, 河野裕美. 2012. 船間島におけるオオノキオヤドカリの産卵利用 - 一帯に大型個体とチョウゼツザエの殻との関係 -. 沖縄植物学雑誌. (50): 73-81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
高原建二. 嘉手苅初子, 前原一統, 松田祐哉, 佐久田勇, 松田史郎. 1999. 久米島から最近新たに記録された鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 25: 95-115	0	252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 久貝勝盛, 瀧名波任. 1995. 久米島の鳥類について. 久米島総合調査報告書: 65-95	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 久貝勝盛, 瀧名波任. 1995. 最近(1994年4月~1995年3月)沖縄諸島で保護及び目撃された興味深い鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 21: 209-211	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 久貝勝盛, 瀧名波任. 1995. 那覇市天久で観察された鳥類(1). 沖縄県立博物館紀要. 21: 79-99	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 久貝勝盛, 大城亀彦. 1996. 最近(1995年4月~1996年3月)で目撃された興味深い鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 22: 173-178	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 砂川栄壽, 比嘉邦昭, 宮城朝香, 高良洋司, 金城輝明, 仲地邦博, 長瀬隆. 2008. 沖縄県内における 2003 年から 2006 年までの稀な鳥種の飛来記録と希少な繁殖記録について. 南鳥文化. 30: 127-144	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 崎崎信, 高木昌興, 奥戸春夫, 金川雅之. 1999. 南大東島で最近新たに記録された鳥類について. 沖縄県立博物館紀要. 25: 75-93	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 池間幸男, 兼城亮男. 1995. 慶良間諸島の鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 21: 101-128	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 池長裕史, 金城道輝, 渡久地豊, 金城輝明, 庄山守. 2000. 沖縄県内において野外観察や傷病鳥の保護及び博物館収蔵標本等により確認された興味深い鳥種の記録について. 沖縄県立博物館紀要. 26: 27-46	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 中村和雄, 園吉修. 2004. 伊平屋島及び伊弉島における鳥類記録について. 沖縄県立博物館紀要. 30: 1-25	0	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 中村和雄, 又吉盛泰. 2009. 要鳥島の鳥類. 地域研究. 5: 103-118	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 中村和雄. 2001. 南大東島の環境保全: 南大東島の鳥類とその保全. 沖縄大学地域研究所所報. 22: 25-28	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 瀬久地政武. 1997. 沖縄南部の市街地で繁殖する鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 23: 33-54	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 島村修, 加治工真市. 1998. 渡嘉敷島で記録された鳥類とその方言名について. 渡嘉敷島総合調査報告書: 65-86	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 高良洋司, 安和守隆, 天野洋祐. 2009. ミツヒバカワセ <i>Ceyx enthacus</i> の国内初記録. Japanese Journal of Ornithology. 58: 208-211	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 安座間安史. 1996. 大宜味村(沖縄島)の鳥類相とその生息状況について. 大宜味村の自然: 421-514	0	1,717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 2002. 沖縄島で留鳥として生息する希少な3種類の繁殖記録について. 沖縄県立博物館紀要. 28: 1-11	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 2001. 沖縄島中南部の市街地で繁殖したツミとリュウキュウサンショウクイの2種について. 沖縄県立博物館紀要. 27: 45-50	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 1994. 宜野湾市伊佐. 大山, 宇地泊周辺地域の鳥類と哺乳類. 沖縄県立博物館紀要. 20: 67-96	0	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 1994. 最近沖縄で目撃及び保護された興味深い鳥類. 沖縄県立博物館紀要. 20: 141-146	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 2004. 小浜島における鳥類の記録について. 小浜島総合調査報告書: 35-59	0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 2001. 那覇市天久新都心開発地域の鳥類. 沖縄大学地域研究所年報. 15: 67-90	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高原建二. 1993. 渡嘉敷島の鳥類と哺乳類. 沖縄県立博物館紀要. (19): 1-16	7	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志, 杉本まゆみ. 2012. ランタナの花を食べるアオダマホドキ. 琉球の昆虫. (36): 140	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志. 2004. 2003年 カワカミシロチョウの確認データ. 琉球の昆虫. (24): 70	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本雅志. 2014. シジュウカラがリュウキュウサギマタラを捕食. 琉球の昆虫. (38): 205	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅沼孝之・内藤俊彦. 1976. 先島諸島の草地植生. 菅沼孝之(編), 西島諸島(先島諸島)の草地生態に関する研究: 3-18	0	0	0	0	0	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瀧能宏, 吉野哲夫, 矢野雅典. 1987. 西表島で採集されたテッポウオ <i>Toxotes jaculator</i> . 魚類学雑誌. 34(2): 231-232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
瀧能宏. 1997. ホラ科メダ属ヒルギメダ(新種)の再記載. 26: 51-55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
成瀬賢, 諸富田茂亮. 2003. ワタリカニ類の捕獲. マレーベニツケカニ(十脚目: 短尾亜目: ワタリカニ科)の沖縄島からの記録. 沖縄植物学雑誌. (41): 43-49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
成瀬賢, 藤田喜久, 近藤正義, 小淵正美. 2012. 沖縄島より採集されたクメジマドウクツガザメ(甲殻門十脚目: 短尾目: ワタリカニ科). 沖縄植物学雑誌. (50): 67-71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
清水貴利. 2003. 南大東島の自然も一つの太平洋の視点から. 地理学研究. (16): 9-32	0	0	0	0	0	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表4-5-1 (14). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数													地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	キノコ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島
西垣孝治, 佐伯智史, 成瀬賢. 2011. 石垣島より採集された日本初記録のケブカサシハラカニ属(新種)(甲殻門: 十脚目: 短尾目: モクスガニ科)2種の記録. 沖縄生物学会誌. (49): 85-93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
西原司編纂委員会. 1989. 西原司. 西原司. 第4巻(資料編3): 1203p	0	0	0	0	17	0	0	0	19	2	4	1	0	1	0	0
西川昭, 中島祐一, 長田智史, 濤井一彦. 2007. 琉球列島における幼生保育型サンゴ <i>Seriatopora hystrix</i> の遺伝的集団構造. 琉球大学21世紀プログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」平成18年度成果発表会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
西村昌彦. 2010. 沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り罠の捕獲成績3 一市町村ごと及び貝志川市(現うるま市)における1台ごとのハブとアカマタの捕獲結果 -. 沖縄県衛生環境研究. 44: 37-44	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西村昌彦, 赤嶺博行. 2002. 沖縄県南部において1976年に逃亡定着した侵入種サキシマハブの分散範囲-2002年時点の予備的な調査の結果. 沖縄県衛生環境研究所. 36: 89-92	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西村昌彦. 2010. 沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り罠の捕獲成績4 一浦添市, 貝志川市(現うるま市), 北中城村, 中城村におけるハブの捕獲地点 -. 沖縄県衛生環境研究. 44: 103-105	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西村昌彦. 1999. 沖縄県内の市町村が運用するハブ捕り罠の捕獲成績1 -1998年の資料を中心とした予報-. 沖縄県衛生環境研究所. 33: 133-138	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西村昌彦. 1990. 琉球列島におけるヘビの社会行動の自筆例1. 沖縄生物学会誌. (27): 47-51	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西村正眞. 2006. 沖縄県宮古島列島で採集した蝶類. 琉球の昆虫. (29): 36-34	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西田健. 1986. 日本・琉球列島におけるアユの分子・形態および繁殖形質の地理的変異. 魚類学雑誌. 33(3): 232-248	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西田健. 1988. 琉球列島より得られたアユの新亜種. 魚類学雑誌. 35(3): 236-242	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西平守幸. 2007. 沖縄県南部貝志川沿岸の海に接する移住サンゴの生存と成長. 名桜大学総合研究. (11): 37-46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
西平守幸. 1985. ヒメイトウカニによるヤマトウシオグモの捕食. 沖縄生物学会誌. (23): 39-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
西平守幸. 1986. 潮間帯に埋積した赤土のアマノネによる除去について. 沖縄生物学会誌. (24): 69-70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
西里公作, 増田武志, 洲崎理恵, 本永明, 下地瑞穂. 宮古島の湧水域環境保全を目指した研究 ~湧水域に生息する生物の保全を目指して~	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青木一幸. 2014. オーストラリアの海鳥類の島嶼での記録. 琉球の昆虫. (38): 56	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青木一幸. 2009. アカシバツコウトンボとの別国島での記録. 琉球の昆虫. (33): 11	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青木一幸. 2012. リュウキョウムラサキの渡嘉敷島での記録. 琉球の昆虫. (36): 50	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青木一幸. 2017. ルリウラナミシジミの久米島での記録. 琉球の昆虫. (41): 158	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2015. 沖縄諸島 豊国島の水生昆虫(トンボ・カメムシ・コウチュウ). 琉球の昆虫. (39): 40-44	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2011. 沖縄島近海諸島(屋我地島・瀬底島・伊弉島・浜比嘉島)の水生昆虫類. 琉球の昆虫. (35): 101-109	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2013. 座間味島の水生昆虫(トンボ・カメムシ・コウチュウ). 琉球の昆虫. (37): 18-22	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2012. 渡名喜島から初記録のトンボ・コウチュウ. 琉球の昆虫. (36): 41-42	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2013. 渡名喜島の水生昆虫(トンボ・カメムシ・コウチュウ). 琉球の昆虫. (37): 23-29	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2015. 豊良間諸島阿蘇島. 並びに久米島からのシロガエルの初記録. Akamata. 25: 28-30	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2015. 沖縄県南部地域におけるリュウキョウムラサキの繁殖記録. 沖縄生物学会誌. (53): 85-87	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 2016. 多良間島からのミナミイナガモの初記録. Akamata. 26: 33-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青柳亮. 1942. 琉球系カサガリの卵巣から見られる小腸菌の魚相について 第一部 八世科魚類の雄雄性徴. 動物学雑誌. 54(4): 144-149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
齊藤基樹. 2006. イワカサジミの成虫の興味深い生態. 琉球の昆虫. (28): 47	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
齊藤基樹. 2006. シルビアシジミの終極的変異型. 琉球の昆虫. (28): 46	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
齊藤文保. 2006. 伊平屋島の小動物(2001~2005年の目撃記録). 琉球の昆虫. (29): 1-14	0	0	0	0	0	0	89	12	0	0	0	0	0	0	0	0
齊藤文保. 2006. 渡嘉敷島の小動物(2001~2005年までの目撃記録). 琉球の昆虫. (29): 15-32	0	0	0	0	0	0	217	39	0	0	0	0	0	0	0	0
石垣市建設部 都市建設課. 2017. 平成28年度平久保半島エコロード整備調査事業に係る環境基礎調査業務委託報告書	22	88	8	27	23	233	0	29	8	47	4	9	0	33	0	0
石川市教育委員会. 2005. 石川市の植物	0	0	0	0	0	422	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川哲郎, 阿部領太郎, 早瀬川直亮, 高柳清明, 今村勝, 西平明彦, 富銘美奈子. 2011. 沖縄県における外来種グリーンアノールの分布. 沖縄生物学会誌. (49): 9-13	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川哲郎, 阿部領太郎, 早瀬川直亮, 高柳清明, 三原正法, 新川暎江. 2012. 沖縄県南部における粘着トラップを用いた外来種グリーンアノールの防除および誘引される小型脊椎動物への影響評価. 沖縄生物学会誌. (50): 37-47	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石田仁. 1985. ハシブトガラスによるソテツの種子散布の観察. 沖縄生物学会誌. (23): 29-32	0	3	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石木久美子・伊藤雅子・上田恵子. 2002. 亜熱帯マングローブ林でのメシロを核にした混群形成. Stnx. 20: 153-158	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤嶺博行, 西村昌彦. 1998. 沖縄県の本島半島東部におけるヘビの目撃と捕獲の頻度 -ハブの低頻度と移入種の定着の可能性-. 沖縄生物学会誌. (36): 51-58	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮野出, 鈴木孝, 川崎高, 塚本香, Janice M. Lough, 中森孝, 中野義勝. 1999. 琉球列島瀬底島のハマサンゴ格柵を用いた水温還元: 水温指標としてのMg/Sr比. 海の研究. 8(6): 399-409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
宮野出. 2000. 琉球列島における高解像度サンゴ格柵に基づく環境還元. 博士論文: 328-332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
千木良芳範(沖縄県教育庁文化課). 2009. 嘉津宇岳周辺の両生爬虫類. 名護市天然記念物調査シリーズ 第7集. 嘉津宇岳~嘉津宇岳・安和島周辺の自然~ 名護市動植物総合調査報告書2005-2008: 135-171	0	0	132	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範, 島袋盛和. 1980. 漢那岳における「ハイモリ」の倒壊への落下について. 沖縄生物学会誌. (18): 45-49	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範, 島袋盛和. 1982. 目撃観察によるヌマガエル個体群の季節的消長. 沖縄生物学会誌. (20): 11-15	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範, 島袋盛和. 2007. 第4章 基地と自然 基地の中の自然. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 335-339	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 2007. 第2章 残された自然 沖縄市の両生爬虫類. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 101-120	0	0	185	265	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 2014. 第3章 恩納村の動物 恩納村の両生爬虫類. 恩納村誌 第1巻 自然編: 453-490	0	0	140	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 2007. 第3章 都市の中の自然 移入動物の話. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 325-333	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 1997. 南風原町の哺乳類. 南風原町史 第2巻 自然・地理資料編: 143-149	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 1989. 与那国島の陸上脊椎動物. 沖縄県立博物館総合調査報告書VI 与那国島: 25-38	2	28	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千木良芳範. 1988. 多良間島の両生爬虫類について -サキシマタラの採集例とヌマガエルの移入-. 沖縄県立博物館紀要. 14: 51-56	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尖閣諸島史料編纂委員会. 2011. 対米協定成案シリーズ42 尖閣研究: 1-279	4	21	0	6	0	21	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0
川口四郎, 岩田芳樹. 1978. 遠藤さんごキクメイモドキ <i>Oulastrea crispata</i> の造骨組織の電子顕微鏡的研究. 動物学雑誌. 87(4): 515-515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
川上勲. 1996. 宮古の自然95. 平良市総合博物館紀要. (3): 71-83	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上勲. 1994. 宮古群島の半クマン類について. 平良市総合博物館紀要. (1): 81-87	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上勲. 1999. 宮古島の自然98. 平良市総合博物館紀要. (6): 79-90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上和人, 田中聡. 2004. 沖縄県小浜島の路上におけるゴイサザの待ち伏せ型採食行動. 小浜島総合調査報告書: 61-64	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浅見哲司. 1987. 石垣島採集記録(1984年3月). 琉球の昆虫. (11): 44-46	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
船越公藏. 大沢夕志, 大沢啓子. 2006. 沖縄島周辺島嶼のオリオオコウモリ <i>Pteropus dasymallus inopinatus</i> の分布. 特に与論島における生息確認と若干の生態的知見について. 哺乳類科学. 46(1): 39-34	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 丸山勝彦. 1993. ヤエヤマオコウモリの宮古島からの記録. 沖縄生物学会誌. (31): 63-65	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 松本貴. 2004. 南西諸島豊島大富第一洞におけるカラコウモリ, <i>Hipposideros turpis</i> Bangs, 1901の最近10年間の個体数変化. 沖縄生物学会誌. (42): 57-60	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 赤澤孝. 松村啓子. 2001. 南西諸島徳之島におけるコウモリ類の生息態勢およびコウモリの新記録. 東洋編研究紀要. (1): 1-9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 1996. 日本産翼手目(コウモリ類)の分類レビューと解説. 哺乳類科学. (36): 1-23	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 1984. 日本産翼手目の採集記録(1). 哺乳類科学. (49): 55-78	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田喜四郎. 1986b. 日本産翼手目の採集記録(2). 哺乳類科学. (52): 79-97	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田健, 山崎暁, 向井真彦, 立原一恵. 2011. 沖縄県におけるミツボシゴキ(ハゼ)とマングローブマハゼの形態と生息環境. 魚類学雑誌. 58(2): 127-140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0
前田健, 立原一恵. 2006. 沖縄島江間川の魚類相. 沖縄生物学会誌. (44): 7-25	0	0	0	0	0	99	0	0	0	260	0	0	0	0	0	0
前田喜男. 2015. ヤエヤマイシガメによるカルルシの捕食. 爬虫両棲類学会報. 2: 119-120	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前之園唯史, 戸田守. 2007. 琉球列島における両生類および陸生爬虫類の分布. Akamata. 18: 28-46	0	0	11	147	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (15). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	キノコ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	
前田豊光. 1973. 知念地区の補生. 沖縄生物教育研究会誌. 6: 29-47	0	0	0	0	0	1,258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
倉田廣. 1966. 八重山群島西表島の鳥類. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 4: 358-370	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
増永元, 太田英利, 戸田光彦, 中島朋成, 福雅哉, 松本千枝子. 2005. 鳩間島におけるオオヒキガエルの侵入と生息状況. 爬虫両棲類学会誌. 2: 173-179	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
増野高司, 佐々木健志, 安川謙一郎. 1998. 沖縄島から採集されたクガサメ <i>Chinemys reevesii</i> (カメ目: バタグループカメ科). 沖縄生物学学会誌. (36): 33-36	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
村越正隆. 1978. ヒメジャコウの発生. 沖縄生物学学会誌. (16): 29-34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○
村山望. 2016. 東村でワミアコトンボを確認. 琉球の昆虫. (40): 13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
多和田真博. 1933. 美東植物目録. 美東小学校区域植物調査報告書. 40	0	0	0	0	0	2,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利, 山下晶子. 1985. オナダケヤモリ <i>Gehyra mutilata</i> (Wiegmann) の波照間島からの記録. 沖縄生物学学会誌. (23): 33-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利, 藤井亮, 岡本卓, 正田努. 2004. 八重山諸島波照間島の外来性爬虫類に関する新発見およびこれまでに同島から報告された爬虫類の記録に関するコメント. 爬虫両棲類学会誌. 2: 128-137	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利. 1981. 波照間島の爬虫両生類相. 爬虫両棲類学会誌. 9(2): 54-60	0	0	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利. 1983. 八重山群島の爬虫両生類相. I. 沖縄生物学学会誌. (21): 13-19	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
太田英利, 藤原利洋. 2007. 名瀬湾周辺における沿岸性水産重要魚類の分布. 平成17年度沖縄県水産試験場事業報告書: 181-193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	541	0	0	0	0	0	○
大宜味村教育委員会. 1995. 大宜味村の自然: 1-555	0	600	0	0	0	0	0	0	669	0	0	39	0	0	0	0	○
大見謝辰男. 2000. 沖縄県赤土汚染地点調査海域における白化後のサンゴ被覆状況. みどりいし. (11): 15-18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	○
大城勝, 山城端, 金城直樹, 宮城智彦. 1997. 羽地内海海面上におけるトビハゼ類の生息分布とすみ分け調査. 沖縄生物教育研究会誌. (29): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	○
大城勝, 前田歩, 宮城美加代, 金城美香, 辺土名なおみ, 辺土名清美, 大嶽安子, 我部朝安江, 島袋牧, 稲橋さゆり, 稲橋美奈子, 嶋原一美, 前田喜美子. 1989. 綾波川の魚類調査 I - 河川閉塞と河川魚類の減少について -. 沖縄生物教育研究会誌. (22): 23-31	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	○
大城信弘, 西島信昇. 1978. 海におけるコソヒロ(ハセ科)稚魚の生息. 沖縄生物学学会誌. (16): 17-22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大城信弘, 大城勝, 西島信昇. 1976. 琉球列島産イソ科イソ科魚類22種の産卵場所と卵について. 沖縄生物学学会誌. (14): 67-70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	○
大西敏一, 真木広彦. 2004. 沖縄県と那国島におけるカンムリオウチュウ <i>Dicurus hottentottus</i> の日本初記録. 日本鳥学会誌. 53: 47-48	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大沢啓子, 柴原建二, 山城正邦, 四方正良, 大沢夕志. 2013. 粟国島ニオケルケビウオオコウモリ <i>Pteropus dasymallus</i> Temminck, 1825 (翼手目: オコウモリ科) の初記録. Fauna Ryukyuan. 4: 5-7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大谷力. 2004. 沖縄県石垣島におけるヤマカラの観察記録. 日本鳥学会誌. 53: 104-106	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶋洋行. 1994. サンゴ礁海域内海洋牧場開発推進調査. 平成4年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	○
大嶽隆徳, 中玉利澄男, 高嶺英恒. 1984. 国師村大園林道の道路側溝に落下した土壌動物相(予報). 沖縄生物学学会誌. (22): 71-78	0	0	7	4	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶽隆徳. 1980. 沖縄本島中部(中城湾沿岸を中心とする)動物相概観-1975年3月調査より-. 沖縄大学紀要. 1: 137-181	0	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶽隆徳. 1975. 本部半島 動物相の第一次調査報告書-主として昆虫及びその他陸産小動物-. 沖大論叢: 81-96	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大嶽隆徳. 2001. 沖縄県北部古生層石炭灰岩地の補生と植物相	0	0	0	0	0	1,350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
大澤正幸, 長井隆, 成瀬真. 2011. 琉球列島から採集されたカスリペンギンイカゴ(新種). 沖縄生物学学会誌. (49): 37-47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	○
大澤正幸, 藤田善久. 2005. 沖縄島からのヤエヤマヒメオカガの報告およびその生息場所について. 沖縄生物学学会誌. (43): 59-63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	○
沢田幸雄, 新井 良一, 阿部 宗明. 1972. 八重山群島より採集されたコバシハゼ属の新種, <i>Gobiodon okinawae</i> について. 魚類学雑誌. 19: 57-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○
沢田勇. 沖縄地方におけるコウモリの糸虫相. 学会(一般公開 生態 要旨)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
沢田勇. 1989. 糸虫相から見た対馬のコウモリ. 遷延. 43(10): 78-85	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
棚原哲雄. 2003. 沖縄県におけるアシナガの繁殖状況調査. 第18回(平成15年度)Takaraハーモニストバンド活動助成報告: 77-89	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
棚田大輔, 広瀬裕一. 2016. 沖縄県読波の礁池に出現する後鰓類の季節変動. 沖縄生物学学会誌. (54): 17-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	○
知念盛俊. 1966. 第2回八重山生物教材調査報告陸産貝類の部. 沖縄生物教育研究会誌. (1): 141-154	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	2	0	0	0	0	○
知念盛俊. 1991. 第三巻陸産動物 中城城跡と周辺の陸産貝類. 中城村史第二巻 資料編I(地理・自然・政治行政・産業経済・移民). (2): 238-243	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	1	0	0	0	0	○
知念盛俊. 1965. 沖縄陸産陸産貝類の採集と標本の作り方(1). 沖縄生物学学会誌. 2(4): 77-88	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	○
知念盛俊. 1979. 尖閣列島の陸産貝類. 沖縄生物学学会誌. (17): 19-27	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	2	0	0	0	0	○
知念盛俊・治井正一・飯間一忠. 2004. 西原町の陸・淡水貝類. 西原町史刊行物 西原町の自然 ～動物・人と自然の関わり～: 79-90	0	0	0	0	0	0	0	0	189	0	0	5	0	0	0	0	○
池原直樹. 1993. 嘉手納米軍基地弾薬庫周辺の植物. 沖縄生物教育研究会誌. 25: 29-41	0	0	0	0	0	4,180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原直樹. 1996. 金武町海岸植物調査報告書: 45p	0	0	0	0	0	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原直樹. 安部謙哉, 城間侯. 1978. 尖閣列島・南小島を訪ねて. 沖縄生物学学会誌. (16): 39-44	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原直樹. 1989. 沖縄県北部地域におけるノグチテラ, ヤマトビクダイの生息分布について-総括-. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅱ中間報告書: 183-188	0	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池原直樹. 1988. 沖縄県北部と那覇島及びその周辺地域の鳥類調査結果. 特殊鳥類等生息環境調査中間報告書: 63-76	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池長裕史, 川上和人, 柳澤紀夫. 2014. II. 日本鳥類目録改訂で「検討中」とした種および亜種について. 日本鳥学会誌. 63: 134-149	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池長裕史, 川上和人, 柳澤紀夫. 2014. I. 日本鳥類目録改訂第7版で新たに掲載された種および亜種の記録等について. 日本鳥学会誌. 63: 96-149	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
池田根. 2005. 水中コンクリートによるサンゴの構築工法の開発. ハザマ研究年報. 37: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	○
池田善英. 1986. 北大東島で冬期に観察された鳥類. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 18: 68-70	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹中義, 苗藤輝彦, 戸田守. 2015. 小浜島におけるサキシマカナヘビの標本採集およびその他の爬虫類・両生類の記録. Akamata. 25: 36-40	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹島雅彦, 吉野哲夫. 1996. 沖縄島に帰化したナマズ目魚類 <i>Liposarcus disjunctus</i> の報告. 沖縄生物学学会誌. (34): 35-41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	○
竹内寛彦, 原村隆司. 2015. ヤエヤマヒバエによるオオハナサキガエルの捕食例. Akamata. 25: 15-16	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
竹内寛彦, 原村隆司. 2016. 河口域で発見されたオオヒキガエルの幼生. Akamata. 26: 8-10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賢常. 1976. マングローブに関する研究 IV-(3) 宮古・八重山群島におけるマングローブの分布状況. 琉球大学農学部学術報告. 23: 339-364	0	0	0	0	0	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賢常. 坂内さおり. 2003. マングローブの分布と補生に関する研究マヤシキ林の林分構造. 平成14年度内閣府委託事業マングローブに関する調査研究報告書: 5-16	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賢常. 大山保表. 春木雅寛. 1974. マングローブに関する研究 1. 日本におけるマングローブの分布. 日本生態学会誌. 24: 237-246	0	0	0	0	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中須賢常. 馬場繁幸・伊藤和昌. 1982. 沖縄の海岸林に関する研究(Ⅱ) 西表島船通の海岸林. 琉球大学農学部学術報告. 29: 231-239	0	0	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中西喜栄. 2009. 石垣島の海岸藻場で確認されたアオウミガメの食み跡. 沖縄生物学学会誌. (47): 19-23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中西希, 伊藤雅子. 2014. イリモチヤマメノコ山地における繁殖情報. 沖縄生物学学会誌. (52): 45-51	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中山史, 鶴原永輝, 島村均. 1983. イシガキカゴウモリの波照間島からの記録. 沖縄生物学学会誌. (21): 3-5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中村泰之. 2010. ナミエガエリによるオキナワオガエルの捕食例. Akamata. 21: 7-8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中村洋平. 2010. ウミシヨウブ藻場の消失に伴う魚類群集構造の変化. 西表島研究: 18-22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103	0	0	0	0	0	○
中島朋成, 戸田光彦, 青木正成, 福雅哉. 2005. 西表島におけるオオヒキガエリ対策事業について. 爬虫両棲類学会誌. 2: 179-186	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
中藤成美, 佐橋紀男, 加藤雅啓. 2002. <i>Thelypteris angustifrons</i> 倍数体複合群(ヒメシダ科)の細胞分類学的解析. Acta phytotaxonomica et geobotanica. 53(1): 63-76	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○



表 4-5-1 (16). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	八重山	
中本敦, 佐藤重幸, 金城和三, 伊澤雅子. 2011. 沖縄県で近年見られるオリオオコワムシ <i>Pteropus dasymallus mopinatus</i> の個体数の増加について. 保全生態学. (16): 45-53	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中野義勝, 土屋誠. 2007. [研究活動紹介] サンゴ礁における多様共存機構と物質循環の多様性: 海草生態系におけるアプローチ. あまみきよ. (5): 6-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
仲宗根貴道, 田嶋美沙希, 清澤昇太, 富永高. 2015. リウキュウカワカガリの変態サイズ、野外、飼育下での幼体の成長速度. Akamata. 25: 1-4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仲宗根幸男, 赤嶺智子. 1981. ミナミコメツキカニの生殖周期と稚カニの成長. 沖縄生物学会誌. (19): 17-23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
仲松啓修, 高良茂宏. 2013. 生態系に配慮した道路事業の実施について～徳島道路におけるゴキブリ調査の中間報告～. 平成25年度国土交通省国土技術研究会講演要旨. 一般課題(一般部門)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仲真良英. 1994. 泡瀬植物目録: 1-42	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仲明明, 長谷川英男. 1992. 沖縄島のリュウキュウヤマカメに寄生していた <i>Metetrakis ishikawanae</i> Hasegawa, 1987 (線虫綱: ヘテラキス上科: ヘテラキス科). 沖縄生物学会誌. (30): 25-28	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仲田栄二. 2000. 西表島仲間川支流の産生. 南島文化. 22: 25-37	0	0	0	0	0	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
朝倉彰, 古見久, 野村恵一, 立川浩之. 2002. セグロサンゴヤドリカ(新種)とクワイロサンゴヤドリカ(新種)の日本からの記録. およびセグロサンゴヤドリカの色彩変異. 沖縄生物学会誌. (40): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	
長井隆, 成瀬賢, 前之園唯史, 藤田嘉久, 朝井智幸. 2011. 琉球列島におけるアシハラカニモドク属とその近縁属(甲殻門: 十脚目: 短尾下目)の種の再検討と分布状況. 沖縄生物学会誌. (49): 15-36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	
長谷川英男, 安里健二, 岩附信記. 1986. 沖縄産食虫類. 留置島の寄生線虫類. 沖縄生物学会誌. (24): 7-16	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長谷川英男. 1985. 沖縄産産虫類の寄生線虫類. 沖縄生物学会誌. (23): 1-11	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長谷川英男. 1992. 沖縄県久米島の産生・爬虫類の寄生線虫. 沖縄生物学会誌. (30): 7-13	0	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長谷川英男. 1984. 沖縄産産虫類の寄生線虫類. 沖縄生物学会誌. (22): 11-22	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝, 佐々木健志. 2012. 西表島産オニヤンマの羽化場所の一例. 琉球の昆虫. (36): 35-36	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝, 小浜徹雄. 2014. 沖縄島恩納村で採集したヒメイチモンジセリ. 琉球の昆虫. (38): 50	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝, 小浜徹雄. 2012. 恩納村におけるムラサキツバメの記録. 琉球の昆虫. (36): 59	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2006. カラスツバメの羽化場所. 琉球の昆虫. (30): 36	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2005. モンバの木に集まるカバマダラ. 琉球の昆虫. (27): 17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2012. 糸満市厚文でコバチチョウを自撃. 琉球の昆虫. (36): 60-62	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2010. 北中城村でリュウキュウハクトンボを採集. 琉球の昆虫. (34): 47	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2014. 琉球大ピオートのヒメイチモンジセリ幼虫. 琉球の昆虫. (38): 50	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田勝. 2014. 琉球大構内で見たモンキチョウ. 琉球の昆虫. (38): 59	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長田智史, 小笠原敏, 山川英治, 小澤宏之, 上野大輔, 酒井一彦. 2006. 沖縄島周辺海域におけるトグサンゴ ( <i>Seriatopora hystrix</i> ) の分布. 沖縄県環境科学センター報. (7): 77-81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
長瀬晴美, 金城あや子, 親盛啓介, 中村博章. 1983. ナガレハギの調査と観察. 沖縄生物教育研究会誌. (16): 15-16	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. 1987年5月中旬～6月の那覇市鏡原中学校々で採った虫の記録. 琉球の昆虫. (15): 12-13	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2006. 2005年. 沖縄島でマークされたアサギマダラの再捕獲記録. 琉球の昆虫. (28): 28	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2007. 2006年. 県外から飛来したマークつきアサギマダラの記録. 琉球の昆虫. (31): 22	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2007. 2006年記録の記録. 琉球の昆虫. (31): 64-65	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. アカタテノガヤナギイチゴに ヒメアカカタテノガヤナギに産卵. 琉球の昆虫. (15): 11	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. アサギマダラについて(1988年～1992年3月). 琉球の昆虫. (15): 4-10	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2013. アサギマダラについて(2012年). 琉球の昆虫. (37): 99-101	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2006. アサギマダラのマーキング記録(沖縄島2005年). 琉球の昆虫. (28): 9-27	0	0	0	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2010. アサギマダラのマーキング調査報告(2009). 琉球の昆虫. (34): 94-102	0	0	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2011. アサギマダラのマーキング調査報告(2010). 琉球の昆虫. (35): 40-41	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. アサギマダラのマーキング報告(2007). 琉球の昆虫. (32): 24-44	0	0	0	0	0	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2009. アサギマダラのマーキング報告(2008). 琉球の昆虫. (33): 88-94	0	0	0	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2007. アサギマダラのマーキング報告. 琉球の昆虫. (31): 1-21	0	0	0	0	0	452	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. アサギマダラの食草記録及び飼育記録から. 琉球の昆虫. (32): 92	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2011. アサギマダラの幼生期の記録(2010). 琉球の昆虫. (35): 48-49	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2006. アサギマダラマーキング調査会の報告. 琉球の昆虫. (28): 29	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2014. アサギマダラ調査報告(2013年). 琉球の昆虫. (38): 1-24	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. オキナフオジロサネエの羽化個体の記録(1991年). 琉球の昆虫. (15): 18-19	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1991. オキナフオジロサネエの羽化個体の記録. 琉球の昆虫. (14): 27	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1991. カバマダラリュウキュウカサツを食す. 琉球の昆虫. (14): 11-12	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. スジロカバマダラの沖縄島での幼虫の記録. 琉球の昆虫. (32): 95	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2009. タイワンアサギマダラとウスアオナガワラナシジミの記録(2008). 琉球の昆虫. (33): 60	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. タテハモドキの西表島での新食草. 琉球の昆虫. (32): 95	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2016. マサキリマダラを南城市糸数城跡で採集. 琉球の昆虫. (40): 100	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2014. ムラサキシジミの観察記録(2013). 琉球の昆虫. (38): 60	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2015. ムラサキシジミの観察記録(2014). 琉球の昆虫. (39): 130-131	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2017. ムラサキシジミの観察記録. 琉球の昆虫. (41): 124	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2013. ムラサキツバメの観察報告(2012). 琉球の昆虫. (37): 108	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. リウキュウウラナシジミについて(第一報). 琉球の昆虫. (32): 100-103	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2017. リウキュウウラナシジミについて(第二報). 琉球の昆虫. (41): 122-123	0	0	0	0	0	231	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1987. 英国島からの昆虫の記録(1985年7月). 琉球の昆虫. (11): 39-40	0	0	0	0	0	17	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2008. 伊計島の蝶. 琉球の昆虫. (32): 98-99	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2007. 沖縄島. 蝶の幼生期の記録(2005,2006). 琉球の昆虫. (31): 56-64	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1985. 沖縄島でのトンボ類の自撃記録(1984年). 琉球の昆虫. (10): 71-73	0	0	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1985. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1984年). 琉球の昆虫. (10): 58-61	0	0	0	0	0	188	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1985. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1984年). 琉球の昆虫. (10): 62-70	0	0	0	0	0	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1987. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1985年). 琉球の昆虫. (11): 27-33	0	0	0	0	0	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. 沖縄島での蝶の幼生期の記録(1986年～1991年). 琉球の昆虫. (15): 35-59	0	0	0	0	0	507	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2006. 沖縄島でマルバネリマダラの一時発生. 琉球の昆虫. (30): 57	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1991. 沖縄島のトンボの自撃記録(1986年). 琉球の昆虫. (14): 35-37	0	0	0	0	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. 沖縄島のトンボの自撃記録(1987～1988年). 琉球の昆虫. (15): 16-18	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1991. 沖縄島のトンボの自撃記録(1990年). 琉球の昆虫. (14): 33-35	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1993. 沖縄島のトンボの自撃記録(1991年). 琉球の昆虫. (15): 20-23	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1987. 沖縄島のトンボ類の自撃記録(1985年). 琉球の昆虫. (11): 51-53	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 1991. 沖縄島のトンボ類の自撃記録(1989年). 琉球の昆虫. (14): 28-31	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2012. 沖縄島のムラサキツバメについて. 琉球の昆虫. (36): 69	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2011. 沖縄島の蝶・成虫の記録(2009,2010年). 琉球の昆虫. (35): 78-94	0	0	0	0	0	3,008	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2012. 沖縄島の蝶の自撃記録(2011). 琉球の昆虫. (36): 70-78	0	0	0	0	0	1,419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長瀬邦謙. 2013. 沖縄島の蝶の自撃記録(2012). 琉球の昆虫. (37): 91-99	0	0	0	0	0	886	0	0</										

表 4-5-1 (17). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生昆虫類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	八重山	
長嶺邦雄. 2008. 蝶の幼生期の記録(2007). 琉球の昆虫. (32): 80-87	0	0	0	0	0	0	174	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 2009. 蝶の幼生期の記録(2008). 琉球の昆虫. (33): 60-65	0	0	0	0	0	0	104	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 2010. 蝶の幼生期の記録(2009). 琉球の昆虫. (34): 66-70	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 2013. 蝶の幼生期の記録(2012). 琉球の昆虫. (37): 85-91	0	0	0	0	0	0	140	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 2014. 蝶の幼生期の記録(2013年). 琉球の昆虫. (38): 119-122	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1987. 渡嘉敷島の3月の蝶(1986年). 琉球の昆虫. (11): 37	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1999. 波照間島で見つた蝶・トンボ・セミ(1996年). 琉球の昆虫. (20): 31-32	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1999. 鳩間島で見つたチョウ・トンボ・セミ(1996年). 琉球の昆虫. (20): 30	0	0	0	0	0	0	22	3	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1988. 与那国島のチョウ・トンボ類(1987年8月). 琉球の昆虫. (12): 41-45	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1970. 黒島の蝶類. 沖縄生物学会誌. 6(8): 37-39	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1964. 最近沖縄で記録された蝶数種について. 沖縄生物学会誌. 1(2): 80-82	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1967. 竹富島のヤマラシジミについて(1). 沖縄生物学会誌. 4(6): 30-34	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
長嶺邦雄. 1966. 琉球列島から採集された数種の蝶について. 沖縄生物学会誌. 3(5): 36-37	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
尾羽達久. 2004. 渡嘉敷島のアマミタカホヒ. 爬虫両棲類学会報. 1: 20-21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島尾高志, 塩原朝理, 加藤憲一, 杉浦幸彦, 黒川忠之, 大野正博, 大城朝一, 新垣敏一. 2011. 河口閉塞による浸潮域魚類への影響. 応用生態工学. 13(2): 123-139	0	0	0	0	142	0	0	0	0	1,158	0	0	0	0	0	○	
津波古光男・野田敏子. 2005. 北谷の植物. 北谷町史第1巻通史編. 83-108	0	0	0	0	0	4,087	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
通事太一郎, 庄山守, 亀崎直樹. 1994. 西表島における爬虫類, 鳥類, 哺乳類の路上死体の記録. 沖縄生物学会誌. (32): 43-48	0	78	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
天野正晴・高田圭・中村元紀・佐藤寛之・宮城直樹・立石剛一. 2012. 琉球大学千原構内に生育する野生脊椎動物. 琉球大学教育学部紀要. 8: 333-354	0	0	0	0	0	1,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
天野正晴・大城(坂口)由希子・立石剛一. 沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(5)南城市久島島の植物相. 琉球大学教育学部紀要. 81: 355-370	0	0	0	0	0	1,162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
天野正晴・立石剛一・佐藤寛之・田嶋美沙. 2013. 沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(6)うるま市津堅島の植物相. 琉球大学教育学部紀要. 83: 177-200	0	0	0	0	0	1,010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
天野鉄夫. 1982. 知花グスクの植物. 沖縄自然研究会(編). 沖縄県自然環境保全地域指定候補地学術調査報告, 知花グスク・斎場御嶽とその周辺地域. 5-17	0	0	0	0	0	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
天野鉄夫. 1982. 斎場御嶽及びその周辺の植物. 沖縄自然研究会(編). 沖縄県自然環境保全地域指定候補地学術調査報告, 知花グスク・斎場御嶽とその周辺地域. 77-90	0	0	0	0	0	216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田澤亮三. 2012. 石垣島での蝶類幼生期の記録. 琉球の昆虫. (36): 51-54	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田嶋美沙. 伴宗根真道, 清澤昇太, 高永篤. 2013. 流水環境で繁殖するリュウキュウカシガガルの繁殖期の生態調査. 九州両生爬虫類研究会誌. 4: 68-70	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田谷谷生, 宮我部陽子, 原田綾華, 吉田文也, 三日月西, 田和国明, 坂東, 前光弘, 松谷保之. 2013. 沖縄県八重山諸島で記録された蝶類・両生類・爬虫類及び鳥類. 近畿大学理学部紀要. 46: 299-307	9	4	7	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡, 廣原建二. 2003. 先島諸島における野生化したインドクジャクの分布と現状について. 沖縄県立博物館紀要. 29: 19-24	0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 西平守孝. 1981. キノボリトカゲについての2, 3の観察. 沖縄生物学会誌. (19): 33-39	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 2009. ヨナグニキノボリトカゲの生態について. 与那国島総合調査報告書 沖縄県立博物館・美術館 別冊. 13-22	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 2004. 小浜島におけるインドクジャクの現状について. 小浜島総合調査報告書. 65-74	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 1994. 瀬底島におけるイボイモリとシリケンイモリの生態についての予備的観察. 沖縄生物教育研究会誌. (26): 13-21	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 1994. 瀬底島におけるイボイモリとシリケンイモリの生態についての予備的観察. 沖縄生物教育研究会誌. (26): 13-21	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 1986. サキシマカナヘビの体温調節. 沖縄生物学会誌. (24): 39-41	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 2004. 小浜島における両生爬虫類の現状について. 小浜島総合調査報告書. 21-33	0	0	12	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
田中聡. 2006. シロアマガエルとオナガツヤモリの池間島からの記録. 沖縄県立博物館紀要. 32: 1-3	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡嘉敷村史編集委員会. 1987. 第一巻渡嘉敷島の自然 第二巻淡水動物. 渡嘉敷村史 資料編. 13-42	0	0	0	0	27	0	0	0	10	38	2	3	6	0	0	○	
渡久山博, 川満永公, 新里孝和. 1998. 亜熱帯琉球石灰岩地帯の照葉樹林におけるリタテの研究. 琉球大学理学部紀要. 66: 39-62	0	0	0	0	0	358	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2012. 石垣島における蝶類幼生期の記録. 琉球の昆虫. (36): 54-55	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一・田澤亮三. 2013. 石垣島でのスナアカネ大量飛来と定点観察. 琉球の昆虫. (37): 37-40	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2014. 2013年石垣島で採集されたオナガツヤモリ. 琉球の昆虫. (38): 169	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2014. 2014年1月石垣島のプールで得られたウスバキトンボとスナアカネのヤゴ. 琉球の昆虫. (38): 170-171	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2015. 2015年2月石垣島のプールで得られたウスバキトンボとスナアカネのヤゴ. 琉球の昆虫. (39): 54-55	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2017. 2016年1月石垣島のプールで得られたウスバキトンボのヤゴ. 琉球の昆虫. (41): 166-167	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 1977. アサヒナキマダラセリシの生息史. 沖縄生物教育研究会誌. (10): 45-49	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2015. ミナミトンボ産卵の観察例. 琉球の昆虫. (39): 57	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2015. ツナオベソクサエの産卵. 琉球の昆虫. (39): 55	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2017. 沖縄島でウスバキトンボのヤゴが越冬した記録. 琉球の昆虫. (41): 164-165	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2012. 西表島でアカシベツツトノ羽化を確認. 琉球の昆虫. (36): 141	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2015. 西表島におけるウミアカトンボの一記録. 琉球の昆虫. (39): 56	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺賢一. 2013. 石垣島でアカシベツツトノ羽化を採集. 琉球の昆虫. (37): 34-35	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺清. 1987. オオゴマダラの越冬の一形態に就いて. 琉球の昆虫. (11): 48	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡辺美節, 龍島恵介. 2016. 沖縄県と那国島におけるカワリサンゴチョウ Terpsiphon paradisi の観察記録. 日本鳥学会誌. 65: 43-45	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
渡邊謙太, 小瀬正義, 山城秀之, 磯村尚子, 西原ちひろ. 2011. 沖縄本島北部大浦湾周辺の自然と環境教育の試み. 平成22年度熊本大学総合技術研究会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	○	
島袋一・新城和治・横田昌嗣. 1990. 西表島山半島(船浮)の植物相. 南西諸島における野生動物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究. 37-80	0	0	0	0	0	912	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋健二. 2007. クロノマチョウの記録. 琉球の昆虫. (31): 22	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋健二. 1985. リュウキュウマサキの幼虫サツマイモより採集. 琉球の昆虫. (10): 128	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋守成. 1978. 海浜植物の野外観察資料(1). 沖縄生物教育研究会誌. (11): 59-66	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋守成. 1986. 座喜味城跡の植物. 国指定史跡座喜味城跡環境整備事業報告書. 74-81	0	0	0	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋守成. 1966. 八重山に於けるシダ植物の分布とその原因. 沖縄生物教育研究会誌. (1): 161-178	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋伸三, 野原朝秀, 初島彦彦, 天野鉄夫, 新納義馬, 新城和治, 高良鉄夫, 東清二, 池原貞雄, 新屋敷幸繁, 多和田眞淳. 1974. 久米島国立公園候補地 学術調査報告. 沖縄自然研究会調査報告. (1): 110p	3	133	0	0	0	657	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋正徳. 2003. 植物群落の指導の工夫-石灰岩地と非石灰岩地の森林の種組成を通して-. 沖縄生物教育研究会誌. 35: 39-47	0	0	0	0	0	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋留, 金城元, 田嶋利恵子, 名護優子. 1984. 照間における野鳥の行動-海岸・水田・湿地での観察をとおして-. 沖縄生物教育研究会誌. (17): 35-36	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋徳正. 1989. 伐採が森林内部へ及ぼす影響(中間報告). 沖縄生物教育研究会誌. (22): 13-21	0	0	0	0	0	423	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋龍・新島義隆・新城和治・宮城康一・宮城朝幸・真志嘉次子・日越昭・天野朝雄・新納義馬. 1988. 田舎の植物群落. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30集. 国領郡天然記念物調査報告書. 25-58	0	0	0	0	0	249	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島袋龍, 新城和治, 宮城朝幸, 佐久本敏, 喜屋武一三六. 2007. 第2巻 採集された自然 沖縄市の緑生. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 19-71	0	0	0	0	0	2,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
島田和彦, 吉野 哲夫. 1984-1985. 八重山諸島から採集されたベラギンボ属の1新種. 魚類学雑誌. 31: 15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○	
島田知彦. 2002. アカマダラとサキシママダラにおける死体食の例. 爬虫両棲類学会報. 1: 7-10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
崎津直彦, 河内記浩. 2017. 外来種キタマキヤマイシカメの多良間島における定着及び島内分布に関する報告. Fauna Ryukyuan. 36: 13-17	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
崎津直彦. 2014. 2004年夏に実施した調査による座間味島, 阿嘉島, 外島からの陸水動物の分布記録. Fauna Ryukyuan. 15: 1-4	0	0	3	1	5	0	0	0	0	9	6	0	0	0	0	○	

表 4-5-1 (18). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	キノコ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	本島	
嶋津彦彦. 2015. 沖縄県安波川水系ヒジアン沢におけるアメリカザリガニの単位努力量あたりの採集個体数の体長組成の経月変化. 沖縄生物学学会誌. (53): 55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
嶋津彦彦. 2014. 沖縄島国頭川水系深波川において2013年8月に起きた魚類大量死により得られたオウナギの個体数密度と全長組成. 沖縄生物学学会誌. (52): 69-72	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嶋津彦彦. 2008. 沖縄島比良川に侵入したオウナギの生態学. 人と自然. 19: 35-41	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東正雄, 東良雄, 平田義浩. 1992. 久米島の陸産魚類. 貝類学雑誌 VENUS. 50(4): 264-269	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 佐藤文保. 1985. ハーボートカガの伊平屋島からの記録. 沖縄生物学学会誌. (23): 25-27	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直, 千木良芳. 佐藤文保. 1997. 南風原町の両生類・爬虫類. 南風原町史 第2巻 自然・地理資料編: 161-174	0	0	18	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1980. (特別寄稿) 南国島の陸上脊椎動物. 沖縄県立博物館総合調査報告書 1 南国島: 51-55	3	10	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 2004. 西原町の両生類・爬虫類. 西原町史付属刊行物 西原町の自然～動物・人と自然の間～: 19-34	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1981. 渡名喜島の陸上脊椎動物. 沖縄県立博物館総合調査報告書 II 渡名喜島: 49-56	3	13	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1976. 宮古島の両生爬虫類(Ⅰ). 爬虫両棲類学雑誌. 6(3): 64-74	0	0	0	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1976. ミヤコトカガの生息の確認. 沖縄生物学学会誌. (14): 61-66	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1981. 沖縄島の両生爬虫類(Ⅰ). 沖縄県立博物館紀要. 7: 1-8	0	0	20	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 1984. 沖縄島の両生爬虫類(Ⅲ)―渡嘉敷島・久米島―. 沖縄県立博物館紀要. 10: 25-36	0	0	7	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当山昌直. 2009. キノコトカガ. 琉球大学資料館蔵タイプ標本目録. (1): 12	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤岡三三, 藤岡二二. 1980. 尖閣列島の海産貝類. 沖縄生物学学会誌. (18): 51-58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253	0	0	0	0	0
藤吉正明, 北野忠, 崎原健, 北條芳隆, 藤野裕弘, 河野裕美. 2014. 西表島の木田に生息する絶滅危惧植物種の分布. 沖縄生物学学会誌. (52): 21-29	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤田喜久. 仲宗根一貴, 金城孝一, 玉城不二美, 上野大輔. 2012. 久米島徳間川および白瀬川における河川環境と河川動物群集の現状. 久米島博物館紀要. 35: 88	0	0	1	2	70	0	0	26	25	72	36	24	0	54	0	0	0
藤田喜久. 北村崇明. 2010. 宮古島崎田川にて採集されたツナガヌマエビとセモクスズメ. 宮古島市総合博物館紀要. (14): 115-121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0
藤田喜久. 久保弘文. 2013. 宮古島尻マングローブ域で発見されたキバウミナミ(軟体動物門: 腹足綱: キバウミナミ科). 沖縄生物学学会誌. (51): 73-77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
藤田喜久. 砂川博秋. 2008. 多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要. (12): 53-80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	10	0	0	0
藤田喜久. 2007. 宮古島の湧水に生息する十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要. (11): 89-110	0	0	0	0	0	0	0	0	69	0	0	0	0	11	0	0	0
藤田喜久. 2017. 宮古諸島水納島の十脚甲殻類相. 宮古島博物館紀要. 21: 91-110	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	31	0	0	0
藤田喜久. 2009. 宮古島におけるミヤコトカガの新たな生息地について. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 71-76	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0
藤田喜久. 2009. 宮古島のオカガ二期. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 53-70	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0
藤田喜久. 2009. 宮古島から得られたキノボリエビ. 沖縄生物学学会誌. (47): 29-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
藤田祐樹. 2009. アオアシシギとアマモ場に現れる採食中の歩行動作. 沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要. 2: 1-4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤波不二雄. 1982. 春季の沖縄の野鳥. Strix. 1: 125	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構. 2007. 沖縄科学技術大学院大学(仮称)整備事業に係る環境影響評価書: 6冊	180	427	26	92	28	1,048	17	73	65	208	144	186	447	641	360	0	0
読谷村生活福祉部 健康環境課. 2014. 平成25年度 読谷村井原(カ)環境調査委託業務 報告書: 460p	0	0	23	91	44	2,855	279	109	70	59	0	24	20	17	0	0	0
読谷村文化財保護委員会. 1980. 読谷の文化第2集植物編: 79	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那覇市, 南風原町. 2002. 那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価評価書.(V): 179-217	2	24	3	4	0	371	12	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0
内閣府沖縄総合事務局国土交通省大坂航空局. 2013. 那覇空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書. 第二分冊: 6冊	49	1,281	22	58	0	822	123	60	87	0	33	12	0	45	598	0	0
内閣府沖縄総合事務局国土交通省大坂航空局. 2015. 那覇空港滑走路増設事業に係る事後調査報告書. 第6巻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	0	0
南九州大学人間発達学部 遠藤研究室. 2012. 平成23年度 沖縄県島嶼域における自然の保護活用促進のための調査(ケラマシガ生息状況調査)業務: 7p	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南風原町史編集委員会. 2000. 南風原町の植物. 南風原町史編集委員会(編), ははるの自然と地理. 南風原町史第4巻, 自然地理本編: 159-180	0	0	0	0	0	1,143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南條穂土, 加納光樹, 堀之内正博, 佐野光彦. 2010. 西表島浦内川のマングローブ域における魚類群集構造と環境特性. 東海大学海洋研究所報告. 31: 31-41	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	129	0	0	0	0	0	0
南條穂土, 河野裕美, 中村洋平. 2012. マングローブの生育するエリアと生育しないエリアにおける魚類群集構造と餌資源の違い. 西表島研究: 東海大学沖縄地域研究センター所報: 50-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	201	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2006. 石垣市内のテラコチノの観察. 琉球の昆虫. (29): 42	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 橋井隆子. 2005. 伊江島, 瀬底島, 水納島における4月末日の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (26): 39	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 橋井隆子. 2005. 慶留島と外島の蝶類. 琉球の昆虫. (26): 40	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 橋井隆子. 2006. 慶留島諸島産卵期における5月の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (29): 40-41	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 橋井隆子. 2005. 渡嘉敷島の4月初旬の蝶類. 琉球の昆虫. (26): 39-40	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 橋井隆子. 2006. 渡嘉敷島の甲虫の採集. 甲虫と蝶. 琉球の昆虫. (28): 55-56	0	0	0	0	0	0	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2009. クロマダラテツジシジミの捕獲の発生記録. 琉球の昆虫. (33): 58	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2010. ナガンヌ島(ジーピン)の蝶類. 琉球の昆虫. (34): 60	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2005. 伊平屋島で2月に目撃された蝶類. 琉球の昆虫. (26): 38	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2005. 慶留島と外島の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (27): 24	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2006. 慶留島と屋嘉比島における7月下旬の蝶類の記録. 琉球の昆虫. (28): 41	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 1991. 浜比嘉島 藪地島の蝶. 琉球の昆虫. (14): 21-22	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋井喜久. 2005. 浮原島と南原島の蝶の小記録. 琉球の昆虫. (26): 38	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭, 千木良芳. 1988. 辺野喜川上流における防風樹林帯の構造について. 沖縄生物教育研究会誌. (21): 58-69	0	0	0	0	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭, 島袋隆. 1972. 西表島仲間川のサガリバナ群落について. 沖縄生物教育研究会誌. (5): 36-44	0	0	0	0	0	393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭. 1968. 今帰仁村諸志御殿の植生. 琉球大学生物クラブ誌. 10: 41-47	0	0	0	0	0	304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭. 1988. 瀬底島の植生の概況. 沖縄県立博物館総合調査報告書 V 瀬底島: 7-22	0	0	0	0	0	645	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭. 1989. 辺野喜川上流における防風林帯の構造変化Ⅰ. 沖縄県立博物館紀要. 15: 23-35	0	0	0	0	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭・新城和治. 1987. 那覇市小孫金城谷(上の毛)の植物. 沖縄県立博物館紀要. 13: 1-16	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭・新城和治・新島義隆・島袋隆・宮城朝章・宮城康一・真志喜文子・新納義馬. 1987. 沖縄島国頭地域の現存植生図. 沖縄県立博物館調査シリーズ第28集. 国頭郡天然記念物緊急調査Ⅱ: 12	0	0	0	0	0	2,555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭・新城和治・新納義馬・宮城康一・新島義隆・島袋隆・宮城朝章・真志喜文子. 1988. 「安波のタナグムイの植物群落」の植生. 沖縄県立博物館調査シリーズ第30集. 国頭郡天然記念物緊急調査Ⅲ: 1-24	0	0	0	0	0	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日越国昭, 島袋隆, 翁長文子, 島袋正俊, 天願敬明, 新城和治. 2014. 第2章 恩納村の植物. 恩納村誌 第1巻 自然編: 63-244	0	0	0	0	0	6,103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林水産省. 田んぼの生きもの調査	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
波戸岡清峰, 吉野哲夫. 1998. 西部太平洋域より得られたウミヘビ科魚類ハクテンウミヘビ属(新種)の2種(ウナギ目). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History. 52: 21-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
波戸岡清峰. 1996. 大阪市立自然史博物館蔵両生爬虫類模式標本目録. 大阪市立自然史博物館研究報告. 50: 17-43	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅原佑介, 大西敏一. 2012. 沖縄県と那国島におけるツブチャブ <i>Phylloscopus collybita tristis</i> の南西諸島記録と国内における冬期の記録. 日本鳥学会誌. 61: 151-155	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白井和申. 1999. 1997年10月. 久米島の蝶. 琉球の昆虫. (20): 32-33	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白井和申. 2014. 沖縄各地未記録のキノコ類の記録. 琉球の昆虫. (38): 61	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白井和申. 2016. 慶留島諸島産卵期島でヒメシジミを採集. 琉球の昆虫. (40): 102	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八重山リゾート開発株式会社. 2005. 八重山リゾート開発計画に係る環境影響評価書補正評価書	70	107	6	21	15	2,020	76	97	16	21	32	11	283	29	31	0	0
板谷浩男, 有山智樹. 2015. 沖縄県と那国島におけるキナヤキムシ <i>Phylloscopus trochilus</i> の観察記録. 日本鳥学会誌. 64: 257-260	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
比嘉ヨシ子. 1998. 波照間島の小動物. 波照間島総合調査報告書 自然・歴史・民俗・考古・美術工芸 1998年: 32-64	0	0	0	0	0	0	22	4	19	13	0	0	0	0	0	0	0







表 4-5-1 (21). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	水生昆虫類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類		サンゴ	本島
野林千枝. 1996. 沖縄島でウスコモンマダラを採集. 琉球の昆虫. (16): 7	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 1996. 沖縄島でタイフンアオハセセリを採集. 琉球の昆虫. (16): 7	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 1985. 沖縄島で採集した迷蝶3種. 琉球の昆虫. (10): 124	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 1993. 沖縄島の迷蝶2種. 琉球の昆虫. (15): 29-30	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 2002. 沖縄島南部のフタオチヨウの記録. 琉球の昆虫. (21): 22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 2006. 嘉数高台公園に掛けたトラップで記録した昆虫類. 琉球の昆虫. (30): 38-39	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野林千枝. 1987. 蝶に関する短報4題. 琉球の昆虫. (11): 49	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢野隆, 服田昌之. 1996. 慶良間列島阿嘉島に帰化したミナミシシガメについて. みどりいし. (7): 25-27	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢野隆, 上田恵介. 2005. リウキュウアサショウビンによる発泡スチロール製人工営巣木の利用. 日本鳥学会誌. 54: 49-52	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳谷和彦, 田中直美, 土屋誠. 1987. 沖縄県米須海岸におけるオカヤドカリ類の貝殻資源と行動. 沖縄生物学会誌. (25): 43-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
友利博一, 梶原健次. 2009. 宮古島の礁原におけるサンゴ礁モニタリング. 宮古島市総合博物館紀要. (13): 77-86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
有限会社海游. 2011. 平成22年度西表石垣国立公園海域公園地区モニタリング業務報告書: 170p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	40	64	2	418	0	0
有限会社海游. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園海域公園地区モニタリング業務報告書: 121p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	15	107	0	248	0	0
与那原正勝. 2014. ホトトギスをルリタテハが摂食. 琉球の昆虫. (38): 65-66	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那原正勝. 1993. 南大東島で採集したチョウトンボ(1992年). 琉球の昆虫. (15): 26	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 1998. キジバトの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 24: 69-74	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 1999. セッカの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 25: 69-74	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 2000. メジロの繁殖. 沖縄県立博物館紀要. 26: 21-26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 2004. 西原町の哺乳類・鳥類. 西原町史付録刊行物 西原町の自然 ~動物・人と自然の関わり~: 3-18	10	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 2007. 第2章 残された自然 沖縄島の鳥類. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 91-100	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 1998. 波照間島の鳥類調査. 波照間島総合調査報告書: 87-95	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与那城義春. 1971. リウキュウヒヨドリノ活動時間と食性. 沖縄生物学会誌. 7(9): 38-40	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葉田敬子. 2013. オキナワイシカワカエル <i>Odorrana ishikawae</i> の体色変異個体. 爬虫両棲類学会報. 2: 98-99	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葉田敬子. 2013. ムカデによるクワイフトカゲモドキの捕食例. 爬虫両棲類学会報. 2: 99-100	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立原一憲, 中尾耕平, 徳永桂史, 津波古優子, 高田未来美, 下瀬環. 2003. 沖縄島, 宮古島, 石垣島および西表島のマングロープ水域における魚類相. Bulletin of the Society of Sea Water Science, Japan. 57: 481-490	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	258	0	0	0	0	0	0
立原一憲, 中尾耕平, 徳永桂史, 津波古優子. 2002. マングロープ水域の魚類相 沖縄島慶佐次川のマングロープ水域に出現する魚類相. 平成13年度内閣府委託調査報告書 マングロープに関する調査研究報告書: 37-71	0	0	0	0	114	0	0	0	0	0	555	0	0	0	0	0	0
立原一憲. 琉球列島の中卵型ヨシノボリ属2種: 鳥嶼の河川で進化してきたヨシノボリ類の保全と将来. 魚類学雑誌. 56(1): 70-74	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立松淳, 南條紳士, 河野裕美. 2013. マングロープ域における護岸造成が魚類群集構造に与える影響. 沖縄生物学会誌. (51): 27-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0
立石庸一, 宮城直樹, 脇田信寿. 2011. 沖縄県の離島・へき地における自然教育のための基礎資料の充実(4)本那部水納島の植物相と注目すべき植物. 琉球大学教育学会紀要. 78: 139-156	0	0	0	0	0	344	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球新報. 2012. 桂浜付着で死滅 瀬底島近海のコンサンゴ. 琉球新報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 文化財要覧1960年版	0	0	0	0	0	337	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球大学. 2006-2008. イリオモテヤマネコ 生息状況等総合調査(第4次)報告書: 178	0	0	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琉球大学. 2014. 西表・石垣沿岸の水深30~55mより発見された大規模な中深度サンゴ群集. プレス発表資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
琉球列島鳥類研究会, 琉球列島鳥類研究会. 2004. 平成15年度大東諸島環境情報収集調査報告書: 69p	51	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南角龍太, 南條紳士, 福岡雅史, 河野裕美. 2012. 西表島浦内川のマングロープ域に生息するキバウミナニ <i>Terebralia palustris</i> の産卵生態. 沖縄生物学会誌. (50): 17-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
緑地研究会. 1974. 社寺林の研究. 森林: 222p	0	0	0	0	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
林公義, Randall J.E. 1989-1990. 西部太平洋産テラジグダイ科の1新種 <i>Apogon selas</i> . 魚類学雑誌. 36: 399-403	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
林公義. 1980-1981. 石垣島より得られた日本初記録のテラジグダイ科魚類3種. 魚類学雑誌. 27: 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
林原毅. 1996. 阿嘉島の淡水域に生息する甲殻類と魚類. みどりいし. (7): 28-30	0	0	0	0	7	0	0	0	0	13	0	0	0	4	0	0	0
林野庁. 森林生態系多様性基礎調査	0	0	0	0	0	1,862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木久勝. 1966. 琉球列島のオカカニ類. 沖縄生物学会誌. 3(5): 8-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
鈴木 寿之. 潮能 宏. 1994. 西部太平洋産ハゼ科魚類の1新種ヒメサツキハゼ. 魚類学雑誌. 41(3): 281-286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
鈴木賢与, 鳥居恵親, 桑原崇, 寺田甲百合, 牛田博, 前湯光弘, 桜谷保之. 2011. 沖縄県八重山諸島で記録された鳥類. 近畿大学農学部紀要. 44: 151-161	0	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 潮能 宏, 吉野哲夫, 細川正高, 吉野英純. 1995. 西表島で採集された日本初記録のエリトガハゼ(新種). I.O.P.DIVING NEWS. 6(2): 4-6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 潮能 宏, 世古徹. 2011. 沖縄島で採集された日本初記録のサトメハゼ(新種)(スズキ目ハゼ科). 神奈川県立博物館研究報告 自然科学. 40: 61-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 潮能 宏, 矢野維雄, 米沢俊彦, 大迫尚晴. 2009. 琉球列島で採集された日本初記録のハゼ科魚類4種. 大阪市立自然史博物館研究報告. 63: 1-10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之, 大迫尚晴, 潮能 宏. 2008. 日本初記録のハゼ科魚類カブキハゼ(新種). 日本生物地理学会会報. 63: 81-86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
鈴木寿之. 2004. 西表島浦内川の魚類とその存続の危機. 理科通信サイエンスネット. 22: 8-11	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0
鈴木優子. 1999. 沖縄島南部地域におけるシロカシラ <i>Pycnonotus sinensis</i> の個体数と開花の季節変動. 九州病虫害研究会報. 45: 80-83	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脇田信寿, 與座(仲本)優子, 末朝和宏, 傳田哲郎, 立石庸一. 2005. 琉球列島のモダマダ. 分類. 5(1): 9-19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嶋島大河・西丸裕敏・立原一憲. 2014. 沖縄島佐敷干潟におけるスナゴハゼ <i>Pseudogobius javanicus</i> とマサゴハゼ <i>P. masago</i> の生息環境. 魚類学雑誌. 60: 59-68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
澤田勇. 1994. 日本のゴウモリ洞窟類. 自然誌研究雑誌. (2,3,4): 53-80	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
澤田勇. 2002. 日本産ゴウモリの寄生線虫類総論. 奈良産業大学『産業と経済』. 17(5): 81-85	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
澤田安喜. 2000. 宜野湾市の植物相. 宜野湾市教育委員会文化課(編), 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 255-324	0	0	0	0	0	1,839	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍島恵介. 2011. 沖縄本島における <i>Ipomoea</i> 属 2 種の花に対するメジロの盗蜜行動. Bird Research. 7: S1-S4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
龍島恵介. 2012. 沖縄本島におけるメジロによるハイビスカス花への盗蜜被害率の周年変化. Bird Research. 8: S5-S9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
與那原盛次. 1980. オトヒメエビの繁殖生態. 沖縄生物学会誌. (18): 39-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
院平名里美, 当山昌高, 安川謙一郎, 陳陽隆, 高橋隆, 久貝勝盛. 1998. 宮古諸島における陸棲爬虫両生類の分布について. 平良市総合博物館紀要. (5): 23-38	0	0	131	283	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 生物文化に関する参考文献等

第2章－2で解析手法を示した生物文化について、情報源を表4-5-2に示す。合計605冊の字誌、市町村誌、専門書について調査を実施した。

表 4-5-2 (1). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
1	国頭村	赤丸岬の栄え 桃原区制百年誌	桃原区桃原字誌編集委員会[編]	2011.3	○	
2		字奥の事績	奥有志会	1918	○	
3		字誌 奥のあゆみ	字誌奥のあゆみ刊行会	1986	○	
4		字誌 辺野喜	辺野喜誌編集委員会	1998	○	
5		あしみなな里 伊地	字伊地編集委員会編集	2010.3	○	
6		安田のシヌグ考	宮城定盛	1976		
7		あらは 安田史誌	安田字誌編さん委員会	2014	○	
8		あらは 創立 30 周年記念誌	多和田真利	1984.12	○	
9		宇嘉に生きる 山は緑に水清く	宮城幸三郎著	1989.2	○	
10		沖縄島奥動植物方言生物知識	当山昌直	2016	○	
11		沖縄島国頭村奥の動植物方名とその利用	当山昌直・盛口満・島田隆久・宮城邦昌	2016	○	
12		沖縄島国頭村辺野喜の動植物方名とその利用	当山昌直	印刷中	○	
13		沖縄民俗第 24 号 多良間村仲筋、国頭村安田報告	琉球大学民俗研究クラブ	1986	○	
14		沖縄民俗第 4 号 シヌグまつり調査、田名部落調査、楚洲部落調査報告	琉球大学民俗研究クラブ	1961	○	
15		沖縄民俗第 9 号 中山・奥部落調査報告	名嘉真宜勝(責任)	1965	○	
16		国頭村奥区の赤瓦屋根・木造家屋の建築木材	新里孝和、木下義宣	2012		
17		奥の歩み	浦崎直次	1998		
18		鏡地区創立 70 周年記念誌	玉城安秀	2007.2	○	
19		かにまん - 在那覇奥間郷友会結成三十周年記念誌	山川勇	1982	○	
20		聞き書き・島の生活誌①野山がコンビニ 沖縄島のくらし	安溪遊地・安溪貴子・当山昌直・渡久地健	2009.2	○	
21		聞き書き・島の生活誌④海と山の恵み 沖縄島のくらし 2	当山昌直・安溪遊地・安溪貴子・渡久地健・早石周平	2010.2	○	
22		宜名真郷友会三十周年記念誌	宜名真郷友会 30 周年記念事業実行委員会編集部編	1995.7	○	
23		[国頭村字浜郷友会]創立 50 周年記念誌	国浜郷友会創立 50 周年記念事業実行委員会[編]	2002.1	○	
24		[国頭村字半地]創立 50 周年記念誌	知花直子	1996.3	○	
25		国頭村安田の歴史とシヌグ祭り	宮城鉄行	1993		
26		国頭村奥の植物方言	新里孝和、木下義宣	2012	○	
27		国頭村の森林と林業の歴史を語る	仲間勇栄	2010.12	○	
28		口碑・伝説・寄稿文 沖縄・国頭村・辺土名	宮城克松編	2009.3		
29		在那覇奥郷友会創立 40 周年記念誌 奥郷友会誌	在那覇奥郷友会	1991.12		
30		写真集 奥の肖像	坂井和夫	1998		
31		人生八十年の歩み - 私のこと奥のこと	宮城親昌	1984	○	
32		清流に育まれて - 奥間川流域生活文化遺跡調査報告書	与儀文夫・チヨ子	2000	○	
33		[那覇在住桃原郷友会(国頭村)]創立 30 周年記念誌	那覇在住桃原郷友会編	1982.5		
34		南米比地移民誌	在那覇比地郷友会・大城吉義編集	1980		
35		[辺土名郷友会]会誌 創刊号	知念敬清編 多和田真修編 辺土名郷友会[編]	1977.9		
36		辺土名誌 下巻	辺土名誌編集委員会編集	2007.7	○	
37		辺土名誌 上巻	辺土名誌編集委員会編集	2007.7	○	
38		ぼうまく - 佐手郷友会結成 30 周年記念誌	佐手郷友会	1988		
39		やんばる風俗図絵	神山清政	1984	○	
40		やんばる古里風俗図絵	神山清政	2000.7	○	
42		東村	字川田誌 2 巻	字誌編集委員会 編集	2003.3	○
43			沖縄の祭礼 - 東村民俗誌	渡邊欣雄	1987	○

表 4-5-2 (2). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
44	東村	沖縄民俗第 6 号 東村平良区探訪報告	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○	
45		沖縄民俗第 7 号 直江広治先生民俗学開講記念号	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○	
46		川田誌 第 1 巻	[川田誌]編集委員会編	2004.12	○	
47		東村史	東村史編集委員会	1987	○	
41		Taira:An Okinawan Village (平良-沖縄の村)	Thomas Maretzki /Hatsumi Maretzki	1966		
42		字川田誌 2 巻	字誌編集委員会 編集	2003.3	○	
43		沖縄の祭礼-東村民俗誌	渡邊欣雄	1987	○	
44		沖縄民俗第 6 号 東村平良区探訪報告	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○	
45		沖縄民俗第 7 号 直江広治先生民俗学開講記念号	琉球大学民俗研究クラブ	1963	○	
46		川田誌 第 1 巻	[川田誌]編集委員会編	2004.12	○	
47		東村史	東村史編集委員会	1987	○	
41		Taira:An Okinawan Village (平良-沖縄の村)	Thomas Maretzki /Hatsumi Maretzki	1966		
48		大宜味村	大宜味字誌 鎮守の里	宮城長信著	2012	○
49			大宜味一心会総会 昭和 61 年度郷友の心はひとつ	大宜味一心会[編]	1986.6	
50	大宜味村謝名城郷友会 30 周年記念誌		謝名城郷友会	1982	○	
51	大宜味村上原区制八十周年・天作賀会設立五十周年「ふるさとティサガ」記念誌		大宜味村字上原・天作賀会編	1997.7	○	
52	大宜味村饒波誌		金城幸雄	2005.1	○	
53	大宜味村史「民俗編」		大宜味村史編纂委員会	2018.3	○	
54	大宜味村謝名城の民俗		新城真恵	1985	○	
55	[大宜味村]大保誌 大保川の流れとともに		大宜味村大保区字誌編纂委員会編集	2006.1	○	
56	大宜味村史 通史		大宜味村史編集委員会	1979	○	
57	大宜味大工一代記		金城賢勇	1988	○	
58	大宜味のむかし話		福地曠昭	1980	○	
59	大宜味やんばるの生活風景-根路銘村落の習俗と子供の遊び		外間治男	1985	○	
60	喜如嘉		賀川光夫	1965	○	
61	喜如嘉誌		喜如嘉誌編集委員会	1996	○	
62	喜如嘉の写真集写真で見る喜如嘉のあゆみ		喜如嘉誌編集委員会編	1995.12		
63	喜如嘉の葬制と墓制		福地曠昭	1978	○	
64	喜如嘉の芭蕉布-喜如嘉の芭蕉布保存会テキスト		喜如嘉の芭蕉布保存会	1984		
65	喜如嘉の古い童謡と民謡-レコード解説		山城善光	1976		
66	喜如嘉の民俗		平良豊勝	1970	○	
67	塩屋・ウングミ-沖縄県大宜味村塩屋ウングミの記録		平良孝七・撮影/塩屋ウングミ刊行委員会	1986		
68	塩屋誌		塩屋誌編集委員会	2003.5		
69	塩屋誌 第一集		[塩屋誌編集委員会]	1999.11	○	
70	塩屋橋物語-心の遺産		塩屋橋物語編集委員会	2000		
71	写真集・喜如嘉		喜如嘉誌編集委員会	1995		
72	生活分類上から見た津波のシマ言葉 初版		前田勇善著	2004.1		
73	戦前における喜如嘉の農業		宮城剛信	1995	○	
74	創立三十周年記念誌		大宜味村老人クラブ連合会記念誌編集委員会	1994		
75	根路銘誌		根路銘区	1985	○	
76	火の葬送曲-続・やんばるの火		山城善光	1978	○	
77	ふあるやま-イギミの里・地名考		福地曠昭	1983	○	
78	ブナガヤ-実在証言集		山城善光	1982	○	
79	村と戦争 喜如嘉の昭和史		福地曠昭著	1975.12		
80	やんばる女一代記-宮里悦自伝		宮里悦	1987	○	
81	大兼久誌		大兼久誌編集委員会	1991	○	
82	大兼久 20 周年記念誌	那覇近郊在住大兼久会	1975			

表 4-5-2 (3). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
83	大宜味村	大兼久-発足 10 周年記念誌	那覇近郊在住大兼久会	1965	○	
84		大正十一年五月以降議事録 田嘉里青年会	田嘉里青年会	1922	○	
85		津波誌	津波誌編集委員会	2004	○	
86		芭蕉布の里の歴史とくらし	北部農業改良普及所大宜味支所	1982	○	
87		民具の家	平良景昭	1973	○	
88		今帰仁村	伊是名村勢理客誌	諸見武彦	1999	○
89			今泊誌	今泊誌編集委員会	1994	○
90			沖縄民俗第 2 号	琉球大学民俗研究クラブ	1960	○
91			北山史話	新城徳祐	1957	○
92			県立博物館総合調査報告書Ⅷ-古宇利島	沖縄県立博物館	1991	
93			古宇利誌	古宇利誌編集委員会	2006	○
94			崎山誌	崎山誌編集委員会	1989	○
95			しちやま-沖縄県朝日農業受賞記念誌	沖縄県北部農業改良普及所	1985	
96			じゃな誌	じゃな誌編集委員会	1987	
97			渡喜仁誌	今帰仁村渡喜仁	2007	○
98			渡喜仁浜原貝塚調査報告書・I	今帰仁村教育委員会	1977	
99	特集 今帰仁城跡		今帰仁村教育委員会	1982	○	
100	仲尾次誌		仲尾次誌編集委員会	1993	○	
101	仲宗根誌		仲宗根誌編集委員会	1996	○	
102	今帰仁研究 15 号 (2007)		今帰仁村教育委員会	2007	○	
103	なきじん研究 2 - 「すくみち」(第 1 号~16 号)		今帰仁村歴史資料館準備室	1992	○	
104	なきじん研究 3 - 今帰仁の歴史		今帰仁村歴史文化センター準備室	1993	○	
105	なきじん研究 4 - すくみち (第 17 号~25 号)		今帰仁村歴史文化センター準備室	1994	○	
106	なきじん研究 6 - すくみち (第 26 号~29 号)	今帰仁村歴史文化センター	1996	○		
107	なきじん研究 8 - すくみち (第 30 号~32 号)	今帰仁村歴史文化センター	1998	○		
108	今帰仁村史	今帰仁村史編集委員会	1975	○		
109	今帰仁村玉城区平良門中の古文書翻刻	比嘉ひとみ・崎原盛俊	2002	○		
110	今帰仁村婦人会 50 周年記念誌	同記念誌編集委員会	2002			
111	名護博物館紀要 3 号	仲原弘哲	1987.3	○		
112	東支那海・第 2 号 - 玉城部落調査報告	普天間高等学校郷土研究クラブ	1972	○		
113	分字 50 周年記念越地誌 昭和 12 年~昭和 62 年	黒島直太編	1988.4	○		
114	まや-じくく	澤岬義啓	1984	○		
115	與那嶺誌	山内昌敏	1995	○		
116	湧川誌	湧川誌編集委員会	1987	○		
117	本部町	石川原集落誌	石川原郷友会編集委員会編	2001.12	○	
118		伊豆味誌	兼次佐一	1965	○	
119		伊野波公民館落成記念誌	渡久地松秀	1978	○	
120		大嘉陽分区 50 周年記念誌	大嘉陽分区 50 周年記念事業委員会	1997.6	○	
121		大浜の古謡集 (ジラバ・ユンタ)	大浜古謡同好会	1976		
122		沖縄市在住具志堅郷友会創立二十周年記念誌	上間清英・	1975		
123		沖縄民俗第 15 号 粟国村西部落・上本部村具志堅部落報告	琉球大学民俗研究クラブ	1968	○	
124		軌跡 字北里創立 50 周年記念	50 周年記念誌編集委員会	1992.8	○	
125		北里誌	北里誌編集委員会	1991	○	
126		具志堅誌	仲里松吉	1978	○	
127		古代伝統の祭 - 具志堅のシニーク	新城徳祐	1973	○	
128		瀬底誌	瀬底誌編集委員会	1995	○	
129		瀬底誌 資料編	瀬底誌編集委員会編	1995.6		
130		総合調査報告書 V - 瀬底島	沖縄県立博物館	1988		
131		備瀬史	仲田栄松	1984		
132		ふるさと雑感	大見恒貴	1989	○	
133		ふる里瀬底・1	内間直幸	1988	○	
134		ふる里瀬底・2	内間直幸	1989	○	

表 4-5-2 (4). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
135	本部町	本部町字浦崎史	玉城西雄	1969	
136		本部町字貝志堅の方言	仲里長和	2002	
137		本部町の民話 下巻・伝説編	仲宗根金祿	2005	○
138		本部町の民話 上巻・昔話編	照屋松吉	2004	○
139		本部町野原区創設 50 周年記念誌	上間長徳	1997.3	○
140		本部町東区 60 年のあゆみ	東区 50 周年記念誌編集委員会	2015.9	○
141		山川郷友会 30 年誌	山川郷友会初年誌発刊編集委員会	1988.11	○
142		山里誌	山里誌編集委員会	2000.12	○
143	名護市	東江誌	東江誌編纂委員会	2001	○
144		字久志芸能誌	字久志芸能誌編纂委員会編集	2005.8	
145		安和の語りぐさ	仲村栄正	1987	○
146		伊差川誌	伊差川誌編集委員会	1991	○
147		稲嶺誌	稲嶺誌編集委員会	1988	○
148		内原のあゆみ	松田清永	1984	○
149		大北誌	大北誌編集委員会	2003	
150		大中誌	大中誌編纂委員会	1994	○
151		[大南区創立 50 周年]記念誌	仲宗根恭子	1996.11	○
152		沖縄民俗第 13 号 久高島イザイホー・汀間部落調査報告	嶺井敏子 (責任)	1967	○
153		親川 -小地名調査報告書-	名護市史編纂室社会教育課文化財係編	1985.11	
154		勝山誌	勝山誌編纂委員会	1978	○
155		我部祖河誌	我部祖河誌編集委員会	1999	
156		嘉陽誌	嘉陽誌編纂委員会	1999	○
157		川上誌 いちへきのムラ	川上誌編集委員会編	2009.4	○
158		かんでな誌	新城信一	1983	
159		旧名護町産業行政小史 (昭和 15 年～42 年)	宮城岸清	1982	
160		郷友 - 創立 20 周年・25 周年記念号	同編集委員会	1977	
161		久志誌	字誌編纂委員会	1998	○
162		久志村誌	玉城定喜著	1967.1	
163		久志地区の墓	名護博物館	1990	
164		久志の民話	名護市史編さん室	1991	
165		ぐすく育英会 35 年の歩み	城育英会	1991	
166		国頭屋の祖先と辺野古の行事	比嘉ムト	1991	
167		組踊・矢蔵の比屋	屋部字誌編纂委員会	1987	
168		源河誌	源河誌編纂委員会	2016	○
169		幸喜部落の歩み	津波仁栄	1978	
170		呉我誌	呉我誌編集委員	1976	○
171		古我知の手さぐり記	松川源傑	1995	○
172		ゴバン型集落 - 済井出村の源流	古堅哲	1996	○
173		写真集 屋部 - ひとびととくらし	屋部字誌編纂委員会	2002	
174		しらが社の栄え 喜瀬の浦誌	喜瀬字誌編集委員会編	2009.1	○
175	数久田字誌 轟 すぐた	[数久田]字誌編集委員会編	2007	○	
176	済井出誌	済井出誌編纂委員会	2009		
177	田井等誌	字誌編集委員会編集	2008.7	○	
178	手水の恵み 許田字誌	名護市許田区	2007		
179	とはや(渡波屋)旧屋部村郷友会 15 周年記念誌	山本川恒	2011.5	○	
180	とよはら結成三十周年記念誌	豊原一心会三十周年記念誌編集委員会編集	1989.7		
181	仲尾次向上会戦後 50 周年記念誌	戦後 50 周年記念誌	1995		
182	仲尾次誌	仲尾次誌編集委員会	1989	○	
183	仲尾次豊年踊 100 年祭記念誌	仲尾次豊年踊 100 年祭記念実行委員会	1991		
184	名護市史 本編 11・わがまち・わがむら	名護市史編さん委員会	1988	○	
185	名護市史 本編 7 社会と文化	名護市史編さん委員会	2002	○	
186	名護市史 本編 9 自然の文化誌	名護市史編さん委員会	2001	○	
187	名護市史 本編 9 民俗誌	名護市史編さん委員会	2001	○	
188	名護市史 本編 9 民俗地図	名護市史編さん委員会	2001	○	
189	名護市天然記念物シリーズ・7 嘉津宇岳 名護市動植物総合調査報告書	名護市教育委員会文化財係・名護博物館	2009	○	
190	名護市豊原誌	豊原区字誌編纂委員会編集	2007		

表 4-5-2 (5). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
191	名護市	名護市の遺跡(2) - 分布調査報告	名護市教育委員会	1982	○
192		名護市の御嶽林	名護市教育委員会	1979	○
193		名護人の雑記帳	宮城盛雄	1987	○
194		名護町制十周年記念誌	比嘉宇太郎	1934	○
195		名護の民話	名護市史編さん室	1989	○
196		羽地村字親川郷土誌	平良盛吉・川上清栄	1962	
197		羽地・屋我地地域史料目録 1	名護市史編纂室編	1988.1	
198		ふるさと辺野古を語る	比嘉ムト	1989	○
199		ふんしどうくる 勝山の里	「ふんしどうくる勝山の里」編集委員会	2005.8	○
200		分村十周年記念誌	屋我地村	1956	○
201		辺野古誌	辺野古誌編纂委員会	1998	○
202		宮里沿革のあらまし	神山祥男	1988	
203		宮里の沿革	富里字誌編集委員会	2004	○
204		みんぞく第 10 号 - 屋我部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1996	○
205		みんぞく第 11 号 - 名護市運天原部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1997	○
206		みんぞく第 4 号 - 名護市屋我地島饒平名調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1990	○
207		みんぞく第 9 号 - 名護市我部部落調査報告書	沖縄国際大学文学部社会学科小熊研究室	1995	
208		昔を語る	宮城岸清	1981	○
209		明治・大正・昭和時代における幸喜の世相史	宮城岸清	1984	○
210		屋我地郷土誌	仲宗根重吉	1975	○
211		屋我地地区の墓	名護博物館	1992	○
212		屋我地の今と昔	名護市立屋我地小学校	1987	○
213		屋我地の民話	名護市史編さん室	1992	○
214		屋部地区の墓	名護博物館	1991	○
215	屋部のウシヤキ	名護博物館	1989	○	
216	屋部のエイサー節	屋部字誌編纂委員会編	1987.9		
217	屋部の八月踊り	仲宗真盛喜ら	1996	○	
218	屋部の民話	名護市史編さん室	1990		
219	屋部の民話 第 2 版	名護市史編さん室編	2008.3		
220	屋部ひとびととくらし 写真集	屋部字誌編纂委員会編	2002.1	○	
221	山本川恒翁昔ばなし(トーカチ記念)	遠藤庄治・比嘉久ほか	1996		
222	世富慶誌	世富慶字誌編集委員会編	2012.8	○	
223	饒平名郷土誌	仲宗根重吉	1972		
224	我が生まれ島・久志小今昔物語	島袋正二郎	1996		
225	わが村十年のあゆみ-分村十周年記念	屋部村	1956		
226	宜野座村	字宜野座組踊集	組踊編集委員会	2001	○
227		字松田沿革史 - 1944 年以降	字松田教育振興委員会	1976	
228		漢那誌	漢那誌編集委員会	1984	○
229		宜野座村字松田(古知屋)の組踊集(影印本)	宜野座村教育委員会	1989	
230		宜野座村字松田(古知屋)の組踊集(翻刻集)	池宮正治・宜野座村教育委員会	1989	
231		宜野座村漢那区老人クラブ創立五十周年記念誌	漢那区老人クラブ	2013.5	
232		宜野座村誌	宜野座村誌編集委員会	1991	○
233		宜野座村誌第 3 巻資料編 3 自然・考古	宜野座村誌編集委員会	1989	○
234		宜野座村乃文化財 3 松田区の地名調査報告書	宜野座村教育委員会	1983	○
235		宜野座村乃文化財 5 字宜野座の地名調査報告書	宜野座村教育委員会	1985	○
236		宜野座村松田の歴史	松田教育振興委員会	1977	○
237		故里は語る - 宜野座字誌	田端景俊	1982	○
238		故里は語る 宜野座区字誌 2	宜野座区字誌編集委員会編	2012	○
239		惣慶誌	新里幸一	1978	○
240		松田区誌	字誌編集委員会	2003	○
241		恩納村	いやしの里 名嘉真	恩納村名嘉真字誌編集委員会編	2012.3
242	恩納字誌 山・海・大地 古からの恵		誌編集発刊事業スタッフ	2007	○



表 4-5-2 (6). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
243	恩納村	恩納字誌 山・海・大地 古からの恵 資料編	[恩納]字誌編集発行事業スタッフ編集	2007	○	
244		恩納村誌	恩納村役場	1980	○	
245		恩納村誌 自然編 第1巻	恩納村誌編さん委員会編	2014	○	
246		組踊 忠臣身替	字恩納	1979	○	
247		写真集 道写真で見る恩納区のおゆみ	[字恩納自治会]字誌編集委員会企画・編集	2003.3		
248		瀬良垣の豊年祭	板谷徹	2002		
249		とよむあふす - 安富祖字誌	字誌とよむあふす編集委員会	2001	○	
250		花と水の里 喜瀬武原字誌	宇江城安吉	2005	○	
251		南恩納誌・第1巻「議事録」	南恩納区字誌編集委員会	1999	○	
252		屋嘉田潟原の生き物たち	仲西美佐子	2012	○	
253		金武町	伊芸誌	金武町伊芸区	2013.3	○
254			記録集伊芸区と米軍基地	伊芸誌編纂委員会『伊芸区と米軍基地』担当編	2013.3	
255			金武区誌 戦前新聞集成	金武区誌編集室	1989	
256	金武区誌 戦争編		金武区誌編集委員会編	2002.12		
257	金武町の村落と聖地 伊芸区 の場合		津波高志	1991.3	○	
258	金武町の村落と聖地 金武区 と並里区の場合		津波高志著	1994.12		
259	金武町の村落と聖地 屋嘉区の場合		津波高志著	1992.12		
260	並里区誌 資料編・戦前新聞集成		並里区誌編纂室	1995	○	
261	並里区誌 戦前編		並里区誌編纂室	1998	○	
262	並里区 歴史写真集		並里区写真集編集委員会	2001	○	
263	平和の祈り 伊芸区戦没者慰霊碑建立記念誌		金武町伊芸区戦没者慰霊碑建立委員会編	2008.11		
264	村の記録 金武町字伊芸		安富祖一博	1983	○	
265	屋嘉区誌 戦前編		屋嘉区誌編纂委員会	2005.3	○	
266	うるま市	赤野区 60 周年記念誌	赤野区記念誌編集委員会	1976		
267		安慶名字誌	安慶名字誌編集委員会編	2014		
268		字石川誌	うるま市石川部落会	2014.8	○	
269		イーター島 伊計島生活誌	中石清繁	1990	○	
270		伊計島豊年祭記念誌 平成 10 年	豊年祭実行委員会記念誌発行委員会	1998.11		
271		石川市史	伊波信光	1988	○	
272		伊波区誌	伊波区誌編集委員会	1996		
273		伊波集和会誌	伊波/政善    編集	1979.12		
274		いりばる字誌	いりばる字誌編集委員会    編集	2010	○	
275		江洲区戦後五十年誌	江洲誌編集委員会	1995		
276		おもろ古謡にみる与勝	島袋善吉	1994	○	
277		勝連村誌	福田恒禎	1966	○	
278		勝連町史	勝連町史編集委員会	1984	○	
279		勝連町南風原字誌	沖縄県中頭郡勝連町字南風原字誌編纂委員会	2000	○	
280		勝連の新聞集成	徳村安信	2001	○	
281		上平良川 50 周年記念誌	平良川区自治会	2011.5	○	
282		郷土大田のおゆみ：大田公民館落成記念誌	大野顕	1998.12	○	
283		具志川市史	具志川市史編さん委員会	1997	○	
284		具志川市史 第一巻 新聞集成明治編	具志川市史編さん委員会	1991	○	
285		具志川市史 第三巻 伝説民話編上	具志川市史編さん委員会	1991	○	
286		具志川市志志林川自治会創立 10 周年記念誌	志林川区自治会創立十周年記念事業期成会	1983		
287		結成 15 周年記念誌 (平敷屋工イサー保存会)	平敷屋工イサー保存会	1998		
288		古希記念回想録 私とふるさと	中村栄春	1982	○	
289		50 年のあゆみ 饒辺区戦後復興 50 周年記念誌	[饒辺区戦後復興 50 周年記念事業実行委員会]	不明		
290		昆布 60 周年記念誌	宜寿次政昭	1978	○	
291		シマくとうば 旧石川市山城	山城正夫	2009.1	○	
292		島乃影 平安座	新垣貞雄	2012		
293		創立 10 周年 記念誌 具志川市新赤道自治会	山里耕哉	1983	○	
294		創立 60 周年記念誌	昆布 60 周年記念誌委員	1978.7	○	

表 4-5-2 (7). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
295	うるま市	続与勝の歴史散歩 勝連城繁栄時代・平安座むらの誕生	親川光繁	2000		
296		津堅島の唐踊り	勝連町教育委員会	1979		
297		津堅島の記録	比嘉繁三郎	1990	○	
298		天願区字誌	天願区字誌編集委員会	2016.05		
299		天願区字誌・別巻 写真集	天願区字誌編集委員会	2016.05		
300		天願区字誌・別巻 写真集『常しえに輝く天願の彩』	上平良川 50 周年記念誌編集委員会	2016		
301		豊原区創立 50 周年記念誌	豊原区創立 50 周年記念誌編集部会	2000.5	○	
302		なあぐすく字誌	なあぐすく字誌をつくる会編集	2005	○	
303		ひやむざかなもり-写真に見る平安座今昔-	平安座今昔写真集編集委員会	1984	○	
304		艇で変わろう！与勝のあゆみと古代文字	島袋善吉・吉浜節子	1998	○	
305		吉里達雄戦後資料集 高江洲 区字誌編集資料	高江洲区字誌編さん委員会編	2015.12		
306		平敷屋字誌	平敷屋字誌編集委員会	1998	○	
307		平安座自治会館新築記念 故きを温めて	平安座自治会	1985		
308		平安座 その名についての一考察	奥田良寛春	1969	○	
309		平安名字誌	沖縄県中頭郡勝連町字平安名字誌編纂委員会	1997	○	
310		宮城島郷土誌	宮城小学校	1936	○	
311		民俗第三号 津堅島	久高将邦 (責任編集)	1961	○	
312		民俗第 5 号 柳田国男先生追悼号	玉城隆男 (責任者)	1962	○	
313		めーばる 公民館建設記念誌	うるま市石川前原区公民館建設委員会総務部会記念誌	2008.9		
314		ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生-往古の行為論で学ぶ新與勝風土記- (下)	仲地和雄・水野益継	1992		
315		ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生-往古の行為論で学ぶ新與勝風土記- (上)	仲地和雄・水野益継	1992		
316		与勝の歴史散歩 ふなやれ・平安座	親川光繁	1990	○	
317		沖縄市	あゆみ-住吉自治会 20 周年記念誌	山内自治会	1980	○
318			泡瀬誌	泡瀬復興期成会	1988	○
319			泡瀬村創設百周年記念誌	泡瀬復興期成会[編]	2005.1	
320			泡瀬の京太郎 (沖縄市文化財調査報告書第 10 集)	沖縄市教育委員会文化課	1987	
321			泡瀬復興期成会創設 60 周年記念誌	泡瀬復興期成会[編]	2011.4	
322			山内自治会館記念誌	山内自治会	1976	○
323			上地誌	上地誌編集委員会	2000	○
324			沖縄市史_第八巻資料編 7-下_近代期の新聞にみる歴史	沖縄市教育委員会	1985	○
325	沖縄市史_第八巻資料編 7-上_近代期の新聞にみる歴史		沖縄市教育委員会	1985	○	
326	越來美里の先人たち		沖縄市人物伝刊行会	1988		
327	古謝誌		古謝誌編集委員会	1999	○	
328	胡屋誌		胡屋誌編集委員会	1994	○	
329	胡屋の今昔写真誌 身近な歴史と文化と人々		胡屋字誌編集委員会	1991		
330	写真集 ふるさと泡瀬		泡瀬復興期成会	1997		
331	農業と生活 池原・登川・知花		中部農業改良普及所	1983	○	
332	美里村史		平田嗣一	1962	○	
333	室川誌		室川自治会編集委員会編	2009.5		
334	読谷村		アカノコ (楚辺誌資料集・20)	比嘉豊光・村山友江	1990	
335			字渡具知誌「戦争編」	読谷村字渡具知公民館[編]	1996.8	
336			伊良皆の民話 (読谷村民話資料集 1)	名嘉真宜勝	1979	○
337		上地・親志・都屋の民話 (読谷村民話資料集 12)	読谷村教育委員会	1994	○	
338		宇座の民話 (読谷村民話資料集 6)	名嘉真宜勝	1984	○	
339		[宇座老人クラブ百の会]結成 15 周年記念誌	百の会編集委員	1979		
340		沖縄民俗第 11 号 渡名喜島・座喜味部落調査報告	琉球大学民俗研究クラブ	1966	○	
341		喜名の民話 (読谷村民話資料集 2)	名嘉真宜勝	1980	○	

表 4-5-2 (8). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
342	読谷村	記念誌	読谷村楚辺	1962	○	
343		儀間の民話 (読谷村民話資料集5)	名嘉真宜勝	1983	○	
344		残波の里 宇座誌	新城平永 (代表)	1974	○	
345		瀬名波の民話 (読谷村民話資料集4)	読谷村教育委員会・歴史民俗資料館	1982		
346		楚辺誌「戦争編」	宇楚辺誌編集委員会	1992		
347		楚辺誌「民俗編」	楚辺誌編集委員会	1999	○	
348		楚辺人 (楚辺誌資料集・20)	比嘉豊光、村山友江	1992	○	
349		楚辺の民話 (読谷村民話資料集11)	名嘉真宜勝	1992	○	
350		高志保の民話 (読谷村民話資料集8)	名嘉真宜勝	1986	○	
351		大木・牧原・長田の民話 (読谷村民話資料集13)	名嘉真宜勝	1996	○	
352		大湾・古壑の民話 (読谷村民話資料集14)	名嘉真宜勝	1999	○	
353		渡慶次の民話 (読谷村民話資料集7)	読谷村教育委員会・歴史民俗資料館	1985	○	
354		読谷村瀬名波誌	読谷村瀬名波誌編集委員会編	2015.3	○	
355		波平の歩み	新垣秀吉	1969	○	
356		波平の民話 (読谷村民話資料集9)	名嘉真宜勝	1989	○	
357		八重山のすびんちゅ (楚辺誌資料集・17)	比嘉豊光・村山友江	1990		
358		比謝砦誌	比謝砦公民館	1995	○	
359		遙なり激動の少年期 戦後五十周年記念誌	岩井利彦	1996	○	
360		北谷町	字誌北谷	金城至盛	1986	○
361			上勢頭誌 上巻 通史編 (I)	上勢頭誌編集委員会	1997	○
362	嘉手納町	字野里誌	字野里誌編集委員会	2004.1	○	
363		字屋良文化史	伊波孝真	1977	○	
364		嘉手納町水釜史	水釜史編集委員会	1996	○	
365		屋良誌	屋良誌編纂委員会	1992	○	
366	宜野湾市	新城区青年会工イサー三十周年記念誌	三十周年記念実行委員会／編	2011.06	○	
367		上大謝名自治会創立二十周年記念誌	創立二十周年記念事業実行委員会	2000		
368		神山誌	神山郷友会神山誌編纂委員会／編	2012.11	○	
369		宜野湾市新城区自治会 創立 20 周年記念誌	宜野湾市新城区自治会	1983		
370		宜野湾市伊佐区婦人会 創立 5 5 周年記念誌	宜野湾市伊佐区婦人会記念誌編集委員	2002		
371		喜友名誌 ちゅんなー	喜友名区自治会	2015	○	
372		シマの話	佐喜真興夫	1925	○	
373		長田区自治会 45 周年記念誌	宜野湾市長田区自治会	1984	○	
374		普天間 三十周年記念誌	福井武八	1994	○	
375		ふるさと愛知	仲松弥詳	1980		
376	真栄原団地会設立 3 0 周年記念誌	真栄原団地会	2000			
377	浦添市	字経塚史	経塚史編集委員会	2006.2	○	
378		字誌たくし	沢岷字誌編集委員会	1996	○	
379		字誌 なーぐすく	なーぐすく字誌編集委員会	2012	○	
380		遺跡にみる昔ぐすくま (むかし城間シリーズ1)	城間字誌編集委員会編	1997.3		
381		内間字誌	内間字誌編集委員会	1981	○	
382		内間公民館落成記念誌	浦添市字内間自治会	1984		
383		内間婦人会 5 0 周年記念誌 婦人会のあゆみ	浦添市内間婦人会	1998		
384		うらおそい散策マップ うらそえちゅらまち 沢岷地区	うらおそい歴史ガイド友の会編	2007		
385		浦添・小湾方言辞典	法政大学沖縄文化研究所小湾字誌調査委員会	1995		
386		[浦添市大平自治会]字誌 祖国復帰記念出版	松田国昭編	1972.6	○	

表 4-5-2 (9). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
387	浦添市	浦添市字大平字誌 祖国復帰記念出版	浦添市字大平字誌編集委員会編	1972.6	○	
388		浦添市当山区成立八十八周年 記念誌 当山	浦添市当山自治会編集	2005.3		
389		浦添の地名 (浦添市文化財調査報告書第 13 集)	浦添市教育委員会文化課	1988.3	○	
390		小湾字誌 沖縄戦・米占領下で失われた集落の復元	法政大学沖縄文化研究所・小湾字誌調査委員会	1995	○	
391		小湾字誌 戦中・戦後編 小湾 新集落の建設とあゆみ	加藤久子	2008	○	
392		小湾集落復元図	法政大学沖縄文化研究所小湾字誌調査委員会著	1995.2		
393		小湾戦後記録集 小湾議事録 占領期から祖国復帰へ	小湾字誌編集委員会編集	2005.5		
394		記念誌 仲西 浦添市仲西自治会創立 60 周年 (戦後) 記念誌	仲西記念誌編集委員会	2008.12	○	
395		城間字誌 第 1 巻「城間の風景」	城間字誌編集委員会	2000	○	
396		城間字誌 第 2 巻	[浦添市]城間字誌編集委員会編	2003.3	○	
397		城間字誌 第 3 巻	城間字誌編集委員会編	2003.1		
398		城間うないのあしあと 浦添市城間婦人会創立 50 周年記念誌	城間婦人会創立 50 周年記念事業実行委員会記念誌部	1998	○	
399		城間の昔ばなし むかし城間シリーズ 2	城間字誌編集委員会	1999	○	
400		島やかかりゆし 先人たちの生活の記録	与座康信	1984.4	○	
401		沢岬 地名の話	沢岬の地名を語る会編	2004.1	○	
402		当山公民館落成記念	当山公民館	1980		
403		仲西村の沿革誌	外間大和	1989	○	
404		西原婦人会創立 50 周年記念誌	浦添市西原婦人会	1997	○	
405		前田の民俗 (浦添の歴史資料シリーズ III)	浦添市企画調整室市史担当事務局	1980	○	
406		牧港字誌	字誌編集委員会	1995	○	
407		屋富祖戦後写真集	屋富祖戦後写真集編集委員会[編]	2012.1	○	
408		よみがえる小湾集落 小湾写真集 the KOWAN photograph 1912-2003	加藤久子	2003	○	
409		西原町	沖縄民俗 15 周年記念号 22 号 宮古 平良市島尻・西原村棚原	平良克巳	1976	○
410			小波津誌	古波津字誌編集委員会	2011.1	○
411			人と自然の関わり一西原町の動植物方言一	当山昌直・米須瑠衣子・山里奈美・大城靖・田島由美江・古波蔵香苗	2004	○
412			西原町史 第一巻 通史編	西原町史編集委員会	2011	○
413			西原町史第 4 巻 資料編 3 西原の民俗	西原町史編集委員会	1989	○
414			西原町史第 7 巻 資料編 6 西原の産業	西原町史編集委員会	2003	○
415			西原町史第 8 巻 資料編 7 西原の言語	西原町史編集委員会	2010	○
416			西原町史別巻 西原の民話	西原町史編集委員会	1991	○
417		中城村	沖縄民俗 23 号 八重山石垣市宮良・中城村伊集報告	具志堅一仁 (責任)	1977	
418			久場土地区画整理事業竣工記念誌 (中城村)	記念誌編集委員会	1991	○
426			津覇誌 5 百年の歴史を刻む	中城村字津覇	2008	○
419			中城村戦前の集落 Series1 泊	沖縄県中城村教育委員会	2014	○
420			中城村戦前の集落 Series2 屋宜	沖縄県中城村教育委員会	2015	○
421			中城村戦前の集落 Series3 奥間	沖縄県中城村教育委員会	2015	○
422			中城村戦前の集落 Series4 伊舎堂	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
423			中城村戦前の集落 Series5 添石	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
424			中城村戦前の集落 Series6 和宇慶	沖縄県中城村教育委員会	2016	○
425	中城村戦前の集落 Series7 新垣		沖縄県中城村教育委員会	2016	○	
427	北中城村	大城の今昔	仲村栄春	1980	○	
428		荻道字誌	荻道字誌編集委員会	2010	○	
429		沖縄民俗第 12 号 狩俣・熱田部落調査報告	琉球大学民俗芸能クラブ	1966	○	
430		喜舎場誌	安里祥徳	2013.2	○	

表 4-5-2 (10). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無
431	北中城村	北中城村史	安里永太郎	1970	○
432		北中城村史第二巻民俗編	北中城村史編纂委員会	1996	○
433	与那原町	板良敷字誌だより	崎原恒新	2014.3	○
434		板良敷雑記上	崎原恒新	2003.6	○
435		板良敷雑記中	崎原恒新	2003.12	○
436		板良敷雑記下	崎原恒新	2004.3	○
437		板良敷誌	「板良敷誌」編集委員会	2014.3	○
438		与那原町大綱曳資料集	与那原町商工会青年部	1983	○
439		与那原町当添史	仲里全良	1986	○
440		私達の板良敷	板良敷誌刊行委員会	2014.3	○
441	那覇市	赤田みるく 復興の記録 地域に根ざした伝統行事	赤田のみるくウンケー実行委員会	2000	
442		字上間誌 公民館落成十周年記念	上間自治会	1992	
443		鏡水創立百周年記念	鏡水郷友会	2005.9	○
444		安謝誌	安謝誌編集委員会	2010.12	○
445		天久誌	渡久地健	2010.6	○
446		上之屋誌	城間正孝	1989	○
447		上間誌 那覇市上間	上間自治会	2009.1	○
448		うるくぬんかしばなし	那覇市教育委員会文化課	1989	
449		大嶺の今昔	字大嶺向上会、字大嶺自治会	1983	○
450		大嶺の今昔 改訂版第2版	字大嶺向上会[編]	2008.2	
451		思い出の繁多川 チムジュラ サハントガーンチュ	板良敷朝清著	1987.7	
452		小祿村誌	小祿村誌発刊委員会	1992	○
453		おろくの歴史を訪ねる講座(平成3・4年度成人講座収録)	那覇市小祿南公民館	1993	○
454		小祿まーい 歴史散歩マップ	那覇市教育委員会文化課	1991	
455		鏡水創立70周年記念	鏡水自治会	1973.12	○
456		鏡水80周年記念誌	鏡水自治会	1983.11	○
457		旧天久村の記録 天久資産保存会二十周年記念誌	天久資産保存会	1988.5	○
458		旧天久村農民の生活	金城勇徳	2013.11	○
459		久米村の民俗	国吉有慶	1989	○
460		久米村-歴史と人物-	池宮正治・小渡清孝・田名真之	1993	
461		久米村600年記念事業期成会報告書	久米村六〇〇年記念事業期成会	1993	
462		国場誌	国場誌編集委員会	2003.12	○
463		識名字誌	沖縄文教出版編	1973	○
464		識名誌	識名誌編集委員会	2000	○
465		写真で見る旧泊崇元寺町高橋町前島町の変遷	とまり会	1996	
466		写真で見る旧泊の変遷 崇元寺町・高橋町・前島町	とまり会	1996.9	○
467		首里昔語り史跡マップ	浜元朝起	1993	○
468		戦前の沖縄におけるカエル類の調理方法について	当山昌直	2002	○
469		高良の字誌	高良字誌編集委員会	2008	○
470		辻の今昔 沖縄の歓楽郷	来和雀	1934	
471		泊誌	とまり会	1974	○
472		泊人の足跡	松村興勝著	1985.8	○
473		泊復興期成会関係資料	泊復興期成会[編]	1964	
474		泊前島今昔物語	島袋文雄[著]アドバイザー制作知念良雄著	2007.11	○
475		泊前島町誌	真喜志駿	1991	○
476		那覇安里のフェーヌシマ 那覇市文化財調査報告書第1集	那覇市教育委員会	1981	○
477		那覇市安里誌 2011年(平成23年版)	安里誌刊行会編	2011.11	
478		那覇市 安次嶺の村踊り	安次嶺村踊り実行委員会	1993	
479		那覇市史資料編全2巻中の7	那覇市企画部市史編集室	1979	○
480		那覇市史跡・旧跡ガイドマップ(首里・真和志)	那覇市歴史博物館	2015	
481		那覇市史跡・旧跡ガイドマップ(那覇・小祿)	那覇市歴史博物館	2014	
482		繁多川100周年記念誌 繁多川	繁多川自治会	2012.6	○
483		前島町のアルバム	佐久川長栄	1993	○

表 4-5-2 (11). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
484	那覇市	真嘉比字誌	真嘉比自治会	2014	○	
485		松川字誌 松風泰然のもとで	松川字誌編集委員会	2010.5	○	
486		真和志市誌	新垣清輝	1956		
487		真和志まーい 歴史散歩マップ	那覇市教育委員会文化課	1989	○	
488		みなと村のあゆみ(資料編)-特別行政区域 1947.5~1950.7	盛根良一	1982		
489		宮城誌 那覇市字宮城	那覇市宮城自治会	2006.9	○	
490		銘苅新都心自治会 10年の歩み はごろも伝説と組踊「銘苅子」の郷	銘苅新都心自治会	2013.12	○	
491		若狭 1 丁目自治会 50 周年記念誌 50 年のあゆみ	若狭 1 丁目自治会 50 周年記念誌編集委員会編	2014.12	○	
492		南城市	字誌新里	山城清勝・平田義弘・山城清善・富永尚永	2000.1	○
493	糸数字誌		糸数字誌編集委員会	2012	○	
494	奥武島誌		『字誌』編集委員会編	2011	○	
495	大里村史 通史編		大里村史編集委員会	1982	○	
496	大里村史 資料編		大里村史編集委員会	1982.3	○	
497	大里村史		大里村史編集委員会	1982	○	
498	大城集落センター落成記念誌		大城農村振興会	1984		
499	沖縄島南城市における生物文化に関する聞き取り		当山昌直	2012	○	
500	記念誌 郷想い(ムラウミ) 大里グリーンタウン自治会創立 25 周年		同発行委員会	2003	○	
501	佐敷村誌		佐敷村	1964	○	
502	佐敷町史 2 民俗		佐敷町史編集委員会	1984	○	
503	佐敷町史		糸満市教育委員会	1984	○	
504	佐敷町史 3 自然		佐敷町史編集委員会	1989	○	
505	銭又区五十年の歩み 字創立記念誌		五十周年誌編集委員会	1989	○	
506	玉城村富里誌		中山俊彦	1992	○	
507	玉城村船越誌		船越誌編集委員会	2002	○	
508	玉城村前川誌		大城良信	1986	○	
509	知念村史		知念村史編集委員会	1983	○	
510	つきしろの歩み 「つきしろの街」二十周年記念誌		つきしろの歩み編集委員会	1999		
511	津波古字誌 沖縄県南城市佐敷		津波古字誌編集委員会編	2012	○	
512	富山誌		富山誌編集委員会	2008	○	
513	南城市史 総合版(通史)		南城市史編集委員会	2010	○	
514	南城市玉城愛地誌		南城市玉城愛地誌編集委員会	2007	○	
515	福原コミュニティセンター 落成記念誌		記念誌編集委員会	1995.8	○	
516	富祖崎(富祖崎地区学習等 供用施設) 落成記念誌		佐敷町字富祖崎	1991.6	○	
517	ミントン 仲村渠祭祀資料 NO1		玉城村字仲村渠祭祀委員会	1990		
518	むらのくらしー結婚から出産までー		沖縄県南部農業改良普及所	1983	○	
519	玉城村史 第 8 巻 上		玉城村史編集委員会	2006	○	
520	湧稻国区公民館建設記念誌		記念誌編集委員会	2008.2		
521	南風原町		字誌 宮城	[南風原町字誌宮城]編集委員会編	2009	○
522			新川が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査 10)	南風原町史編集委員会	1995	○
523			大名が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査 6)	南風原町史編集事務局	1993	
524		大名誌	大名誌編集委員会	2001	○	
525		兼城が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦・戦災調査 2)	吉浜忍	1985		
526		兼城誌	兼城字誌編集委員会編集	2006.5	○	
527		神里が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦戦災調査 12)	南風原町史戦災調査部会	1996		
528		記念誌 宮平ハイツ	宮平ハイツ記念誌編集委員会	2016.5		
529		喜屋武が語る沖縄戦(南風原町沖縄戦・戦災調査 1)	田本流助	1984	○	
530		喜屋武の移りかわり [複製本]	南風原町字喜屋武[編]	1985.6		
531		喜屋武の歴史と文化 喜屋武字誌	南風原町字喜屋武字誌発刊委員会	2015	○	
532		公民館創立 20 周年記念 ヒャーユイ! で村おこし!	南風原町立津嘉山公民館創立 20 周年記念実行委員会	2001		

表 4-5-2 (12). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
533	南風原町	津嘉山大綱曳き調査報告書	南風原町教育委員会	1994	○	
534		津嘉山が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 4）	吉浜忍	1990		
535		照屋が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 9）	南風原町史戦災調査部会	1994		
536		南風原町の動植物方言	当山昌直・国吉朝子・神谷保江・翁長丈子	1997	○	
537		南風原町与那覇誌 うさんしー	与那覇字誌編集委員会	2004.6	○	
538		ふる里津嘉山	大城辰雄著	1984.9	○	
539		文化人類学調査実習報告書第 1 1 輯 沖縄都市近郊・南風原町兼城の文化と社会	国際基督教大学人類学研究室	1997		
540		宮城が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 3）	吉浜忍	1987		
541		宮平が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 7）	南風原町史編集事務局	1993		
542		宮平誌	宮平誌編集委員会	1986	○	
543		山川が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 8）	南風原町史戦災調査部会	1994		
544		与那覇が語る沖縄戦（南風原町沖縄戦戦災調査 5）	新垣福太郎	1992	○	
545		落成記念誌 写真で見る新川 100 年のあゆみ	新川コミュニティセンター落成記念誌	2007.3		
546		八重瀬町	字誌 外間	字誌外間編集委員会	2004.3	○
547			沖縄民俗 20 号記念号 久米島仲里村儀間・東風平村当銘報告	琉球大学民俗研究クラブ	1974	○
548	具志頭村史		具志頭村史編集委員会	1961	○	
549	具志頭村史 I		具志頭村史編集委員会	1990	○	
550	具志頭村史第 5 巻村落編 2		具志頭村史編集委員会	2005	○	
551	東風平村史		知念全栄	1976.1	○	
552	とうむしめシーシ 友寄獅子舞由来記		翔南企画	1997		
553	富盛字誌		富盛字誌編集委員会	2004.3	○	
554	富盛の唐人行列 九州民俗芸能大会参加記念誌		富盛の唐人行列	-		
555	仲座八煙-具志頭村字仲座の農家生活誌-		前森正光	1983	○	
556	むらやー落成記念 記念誌		坡名城公民館落成記念誌	2001	○	
557	上田誌 沖縄県豊見城村上田		上田誌編集委員会	2001	○	
558	豊見城市	エコシティとはしな自治会 結成 10 周年記念誌	豊見城市エコシティとはしな自治会編	2007.11		
559		絆 豊見城市 嘉数字誌	嘉数字誌編集委員会/編者	2015		
560		大豊年祭 字保栄茂旧八月十五夜大豊年祭記念誌	大豊年祭実行委員会広報部編	2005.9		
561		高嶺字誌	高嶺字誌編集委員会	2015	○	
562		高安誌 上巻 ふるさとのきのうと今をつづる	字高安誌編集委員会	1999	○	
563		豊見城ニュータウン自治会 創立 20 周年記念誌	豊見城ニュータウン自治会編	2006.3		
564		豊見城ニュータウン十周年記念誌 豊見城ニュータウン	豊見城ニュータウン自治会	1997		
565		豊見城の字誌	字誌編集委員会	2010	○	
566		保栄茂ぬ字史	豊見城村字保栄茂字史編纂委員会	2001	○	
567		豊年祭 酉の年	翁長自治会・十五夜実行委員会	2005.9		
568		真玉橋の聖地と祭祀	財団法人公共用地補償機構	1991	○	
569		与根字誌	与根字誌編集委員会編	2008	○	
570	琉球大学民俗研究クラブ会報 民研通信四号 特集港川ハーレー	琉球大学民俗研究クラブ	2002			
571	糸満市	阿波根の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
572		糸満市史資料編 12 民俗資料	糸満市史編集委員会委員長長島袋良徳	1991	○	
573		糸満市史資料編 13 村落資料-旧高嶺村編-	糸満市史編集委員会委員長平良宗潤	2013	○	
574		糸満市史資料編 13 村落資料-旧糸満町編-	糸満市史編集委員会委員長平良宗潤	2016	○	

表 4-5-2 (13). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年月	生物文化記載有無	
575	糸満市	大里字誌	大里字誌編集委員会	2009	○	
576		沖縄民俗第 16 号 租納部落・兼城部落報告	琉球大学民俗研究クラブ	1969	○	
577		賀数の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
578		兼城の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
579		北波平の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
580		喜屋武字誌	喜屋武字誌編集委員会	2013	○	
581		古代琉球王朝発祥地 ふるさと与座村の歴史散歩	伊敷賢	2000	○	
582		米須字誌	米須字誌編集委員会	1992	○	
583		座波の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
584		潮平の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
585		武富の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
586		照屋の民俗	糸満市教育委員会	2013	○	
587		豊原字誌	豊原字誌編集委員会編	2016.5	○	
588		なあぐすくむら誌	なあぐすくむら誌編集委員会	1988	○	
589		与座泉水 高嶺間切与座村誌	南部農業改良普及所	1982	○	
590		複数の市町村に関連	沖縄国頭の村落(上・下)	津波高志他	1982	○
591			沖縄の民俗資料(上)	沖縄県教育委員会	2018	○
592			沖縄民俗第 14 号 比屋定・糸数部落調査報告	嶺井敏子(責任)	1967	○
593			沖縄民俗第 17 号 与那部落・宮城部落報告	狩俣敏夫(責任)	1969	○
594			沖縄民俗第 18 号 砂川部落・南風原部落報告	奥村幸巳(責任)	1970	○
595			沖縄民俗薬用動植物誌	前田光康・野瀬弘美	1989.4	○
596			特論やんばる	当山昌直	2010	○
597			村落(しま)6号 浜比嘉島比嘉部落・渡名喜村渡名喜部落調査報告	沖縄国際大学 I 部民俗クラブ	1984	
598			なきじん研究 10-新城徳祐資料・調査記録ノート	今帰仁村歴史文化センター	2000	○
599			なきじん研究 14-山原の津(港)と山原船	今帰仁村歴史文化センター (仲原弘哲・石野裕子松村真利)	2005	○
600			なきじん研究 7-今帰仁の地名・字名と小字	今帰仁村歴史文化センター	1997	○
601			なきじん研究 9-山原の港	今帰仁村歴史文化センター	1999	○
602			山原-その人と家と村	宮城真治	1987	○
603			山原の土俗	島袋源七	1929	○
604	琉球大学農学部学術報告 62 号		新里孝和・芝正巳	2015.12	○	
605	琉球発祥史		新垣孫一	1955	○	



#### (4) 自然環境の利活用に関する参考文献等

第2章 – 3で解析手法を示した自然環境の利活用における使用データと参考文献を示す。

1. 林秀美, 2010, 改訂版 沖縄県の山, 株式会社山と溪谷社
2. 沖縄県観光企画課, 2010, 平成 21 年度 持続可能な観光地づくり支援事業 (調査研究) 実施報告書
3. 沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について  
<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei\\_nintei.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html)>
4. 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー, 2010, 美ら島 – 沖縄県観光情報ファイル – , 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

## (5) 自然環境及び社会環境に関する参考文献等

第2章－4で解析手法を示した自然環境及び社会環境における使用データと参考文献を示す。

### ・生物多様性の情報

1. 沖縄県環境利用ガイド, 1992
2. 環境省, 2008, サンゴ礁分布図システム
3. 沖縄県環境部自然保護課, 2010, 平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
4. 沖縄県環境部自然保護課, 2011, 平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
5. 沖縄県環境部自然保護課, 2012, 平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
6. 富山義則, 2014, 沖縄ビーチ大全 505
7. 沖縄県教育委員会, 1996, ウミガメ類生息実態調査報告書 I
8. 沖縄県環境部環境保全課, 2017, 平成 28 年度赤土流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書
9. 沖縄県環境部自然保護課, 2018, 平成 29 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

### ・その他の情報

1. 環境省, 2015, 日本のラムサール条約湿地
2. 国土交通省国土政策局国土情報課, 2007, 国土数値情報 河川データ
3. 国土地理院, 2014, 基盤地図情報 (数値標高モデル) 10m メッシュ DEM
4. 環境省自然環境局生物多様性センター, 1993, 1/50,000 現存植生図
5. 国土交通省国土政策局国土情報課, 2005, 国土数値情報 湖沼データ

## (6) 環境カルテに関する参考文献等

第3章で示した環境カルテにおける使用データと参考文献を示す。

なお、番号は、環境カルテの様式（第3章—2）の項目番号と対応している。

### ・陸域カルテ項目

#### 1-6 市町村名

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

#### 1-7 町丁・字等

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

#### 2-1 地形・地質

##### 2-1-1 地形分類、表層土壌、表層地質

沖縄県企画部土地対策課,1983～1992,土地分類基本調査

##### 2-1-2 特異な地形・地質

沖縄県,1992,沖縄県環境利用ガイド（環境特性地図集）

#### 2-2 植物

##### 2-2-1 現存植生

環境省自然環境局生物多様性センター,2000～2005（一部2006～）,自然環境保全基礎調査（第6回・第7回植生調査）

##### 2-2-2 特定植物群落

環境省自然環境局生物多様性センター,1979、1985～1987、1998～1999,自然環境保全基礎調査（第2～3回・第5回植生調査）

##### 2-2-3 マングローブ林

沖縄県環境部環境再生課,2015,自然環境再生指針（仮称）策定事業委託業務統合報告書（平成24～26年度）

#### 4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成21年度持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）実施報告書

#### 4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について

<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei\\_nintei.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html)>

5-1 法規制等

5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 鳥獣保護区データ

5-2 土地利用

5-2-1 土地利用の現況

沖縄県企画部土地対策課,2000～2017,土地利用現況図

5-2-2 農業振興地域

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

5-2-3 米軍基地

沖縄県環境部環境政策課,2017,米軍基地データ

5-3 河川

5-3-1 河川の分布

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

5-3-2 河床勾配と溪流環境

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

国土交通省国土政策局国土情報課,2006,国土数値情報 湖沼データ

国土地理院,2014,基盤地図情報（数値標高モデル）10m メッシュ DEM

5-3-3 ダム湖、湖沼

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 ダムデータ

・海域カルテ項目

1-4 総務省統計局,平成 27 年度国勢調査町丁・字等別境界データ

2-1 地形・地質・海岸線

2-1-1 海底地質分類

環境省,2008,サンゴ礁分布図システム

2-2 藻場・干潟・サンゴ礁

2-2-1 生サンゴの被度（礁原）

環境省自然環境局生物多様性センター,1990～1993,自然環境保全基礎調査（第 4 回サンゴ礁調査）

2-2-2 生サンゴの被度（礁縁）

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

#### 2-2-3 藻場、干潟

環境省自然環境局生物多様性センター,1998~2002,自然環境保全基礎調査(第 5 回藻場調査)

環境省自然環境局生物多様性センター,1990~1993,自然環境保全基礎調査(第 4 回干潟調査)

#### 2-2-4 重要なサンゴ礁海域

沖縄県自然保護課,2006,沖縄のサンゴ礁－沖縄県の重要なサンゴ礁海域－

#### 2-4-2 ウミガメ産卵地

富山義則,2014,沖縄ビーチ大全 505

沖縄県教育委員会,1996,沖縄県天然記念物調査シリーズ第 36 集 ウミガメ類生息実態調査報告書 I－沖縄島及び周辺離島における調査結果－

#### 2-5 SPSS

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県,2017,平成 28 年度赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書

沖縄県,2018,平成 29 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

#### 4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成 21 年度持続可能な観光地づくり支援事業(調査研究)実施報告書

財団法人沖縄観光コンベンションビューロー,2010,美ら島－沖縄県観光情報ファイル－

#### 4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について

<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei\\_nintei.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html)>

#### 5-1 法規制等

##### 5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 鳥獣保護区データ

##### 5-1-2 海岸保全区域

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

## 5-2 海域利用

沖縄県農林水産部水産課、2018、平成 30 年 9 月更新 漁業権区域図 (GIS データ)

沖縄県農林水産部水産課、2018、漁業権について (漁業権の説明及び免許の状況)

## 5-3 河川

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

## (7) 用語集に関する参考文献等

第4章－4に示した用語集について、参考文献及び参考ウェブサイトを下記に示す。

- [1] “環境用語集” EIC ネット。  
<<http://www.eic.or.jp/>>
- [2] “国際保健用語集” 一般社団法人日本国際保健医療学会。  
<<https://seesaawiki.jp/w/jaih/>>
- [3] “天文学辞典” 公益社団法人日本天文学会。  
<<http://astro-dic.jp/>>
- [4] “沖縄 21 世紀ビジョン” 沖縄県。  
<<https://www.pref.okinawa.jp/21vision/index.html>>
- [5] “自然環境の保全に関する指針のあらまし” 沖縄県。  
<[https://www.pref.okinawa.jp/okinawa\\_kankyo/shizen\\_hogo/hozen\\_chiiki/shishin/shishin\\_aramashi/aramashi\\_ichizuke.html](https://www.pref.okinawa.jp/okinawa_kankyo/shizen_hogo/hozen_chiiki/shishin/shishin_aramashi/aramashi_ichizuke.html)>
- [6] “改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-菌類編・植物編-” 沖縄県。  
<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa\\_rdb\\_kinrui\\_syokubutu.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html)>
- [7] 平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業サンゴ礁資源調査事業「沖縄島周辺離島地域」「宮古地域」「大東地域」「波照間島地域」報告書。平成 24 年。沖縄県。
- [8] 鷲谷いづみ、後藤章（2018）。新版 絵でわかる生態系のしくみ。講談社。
- [9] “河床勾配” 国土交通省国土技術政策総合研究所。  
<<http://www.nilim.go.jp/>>
- [10] “国内に生息・生育する希少種の指定” 環境省。  
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/domestic/index.html>>
- [11] “外来生物法用語集” 環境省自然環境局。  
<<http://www.env.go.jp/nature/intro/1law/yougo.html>>
- [12] “侵略的な外来種” 環境省自然環境局。  
<<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html>>
- [13] 久保田康裕、楠本聞太郎、藤沼潤一、塩野貴之（2017）。生物多様性の保全科学：システム化保全計画の概念と手法の概要。日本生態学会誌
- [14] “ジオコーディングとは” esri。  
<<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geocoding/what-is-geocoding-.htm>>
- [15] “自然の恵みの価値を計る” 環境省自然環境局。  
<<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/service.html>>

- [16] “「生物多様性おきなわ戦略」について” 沖縄県.  
<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/bd\\_okinawa\\_senryaku.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/bd_okinawa_senryaku.html)>
- [17] “「生物多様性条約」” WWF ジャパン.  
<<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3516.html>>
- [18] “「生物文化多様性とは」” 第 1 回アジア生物文化多様性国際会議.  
<<http://bcd2016.jp/bcd/index.html>>
- [19] “「日射観測」” 気象庁高層気象台.  
<[https://www.jma-net.go.jp/kousou/obs\\_third\\_div/rad/rad\\_sol.html](https://www.jma-net.go.jp/kousou/obs_third_div/rad/rad_sol.html)>
- [20] “沖縄県の天然記念物” 琉球大学博物館風樹館.  
<[http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/db\\_gallery/natural.php](http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/db_gallery/natural.php)>
- [21] “平成 24 年版情報通信白書” 総務省.  
<<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/html/nc121410.html>>
- [22] “県知事認定保全利用協定について” 沖縄県.  
<[https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyouk\\_youtei\\_nintei.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyouk_youtei_nintei.html)>
- [23] “モニタリングサイト 1000 とは” 環境省生物多様性センター.  
<<http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/>>
- [24] “レッドリスト” 環境省.  
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [25] “魚類の学名と和名” 国立科学博物館.  
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [26] “Bioclimatic variables” WorldClim – Global Climate Data.  
<<http://www.worldclim.org/bioclim>>
- [27] “生物情報収集・提供システム いきものログ” 環境省生物多様性センター.  
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [28] “GIS とは…” 国土地理院.  
<<http://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html>>
- [29] 大見謝辰男 (2003). SPSS 簡易測定法とその解説. 沖縄県衛生環境研究所報
- [30] “2 次メッシュとは” 環境省生物多様性センター.  
<<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-042.html>>



---

生物多様性保全利用指針 OKINAWA

[沖縄島編]

[編集・発行] 沖縄県環境部自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL : 098-866-2243